資料 2-1-1

SEISAのいかだ内部解体図

年齢構成

16〜22歳 …… 21.3%
23〜29歳 …… 24.9%
30〜39歳 …… 20.8%
40〜49歳 …… 18.5%
50〜59歳 …… 11.8%
60歳以上 …… 2.7%

16歳〜87歳までの学生が一緒に学んでいます！

キャンパス

札幌、横浜、名古屋、大阪、福岡を中心に全国25ヵ所以上あるスクーリング会場のほか、みなさんのご自宅等がスクーリング会場になりますので、海外からの受講も可能です。

インターネットにつながるすべての場所がキャンパスです。

在籍者総数

27,705名
（2020年11月時点）

2004年の開学時から学んでいる人は、こんなにいるんだね。

学生分布

北海道 …… 9.8%
東北 …… 3.3%
関東 …… 40.0%
中部 …… 13.0%
近畿 …… 15.6%
中国 …… 3.1%
四国 …… 1.1%
九州・沖縄 …… 14.0%
海外 …… 0.1%

アメリカ・中国・台湾・韓国・ベトナム・フィンランド・ブータン・ブラジル・オーストラリア・エジプト・南アフリカ など さまざまな場所で学んでいます！

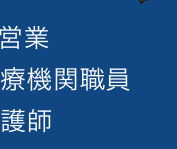
卒業後（学修後）の活躍場所

全国の教育施設（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、塾など）、行政機関、社会福祉施設、スポーツ関連施設・企業、医療関連施設、一般企業、起業、青年海外協力隊、大学院進学 など

あなたの職場にも星槎の仲間が！

男女比率

女性：48.9%
男性：51.1%

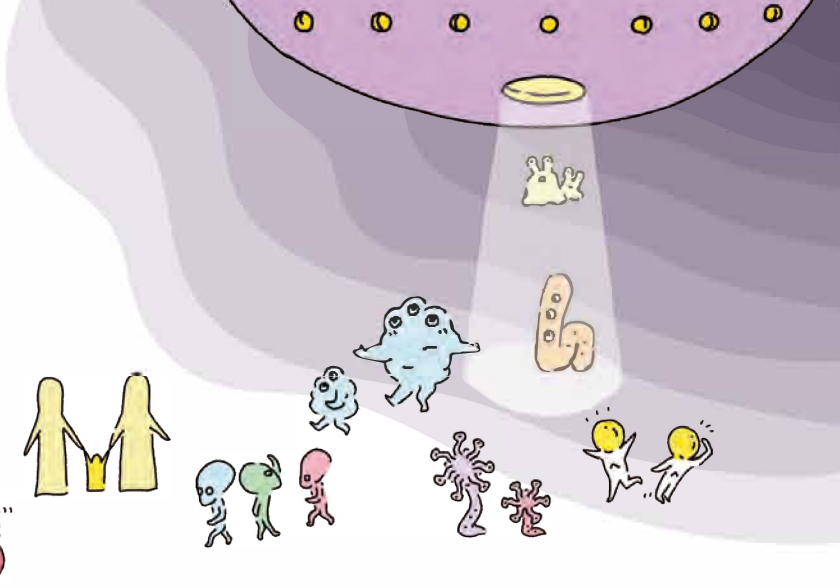


ほぼ半々なんだね〜

学生の約3人に1人が教育に関わる仕事をしています。

職　業

28.6% ▶ 教員
23.5% ▶ 学生（ダブルスクール含む）
13.0% ▶ 主夫・主婦・非常勤職員
10.5% ▶ その他
8.4% ▶ 会社員
4.8% ▶ 福祉施設職員
4.5% ▶ 学校職員
3.2% ▶ 公務員（教員以外）
2.1% ▶ 自営業
0.9% ▶ 医療機関職員
0.5% ▶ 看護師



ようこそ！SEISAへ

「こんな大学があったらいいな」の声を聞いて進化し続けるのが星槎大学です。
在籍の年限がなく、1科目からいろいろな分野を自由に学べる星槎大学は、
あなたにとって一番身近な大学です。
さあ、希望や夢を聞かせてください。ぴったりの学びをご案内します。

「星槎」とは

中国の故事で、ある若者が鎖国という状況の中、知識と見聞を得るために非常に苦労をして諸国をまわり、結果として自国の窮を救うという話があります。これが、古来よりの「海の中から現れた『いかだ』が天空を旅した」という伝説に結びつき、「星槎」という言葉となりました。「槎」は「いかだ」のことで、一本一本、長さや木の種類が違っても、それらが大きな舟となり、悠々と目的に向かって進んでいくことができる。みんながそれぞれの持てる力を発揮し、「星（希望）」を目指して進んでいこうという意味が「星槎」には込められています。

INDEX

3－4	自由にお使いください！　～SEISAをご案内します～
5－6	共生科学部 ～日本で唯一「共生」の観点から分野を超え横断的に学ぶ～
7－10	星槎の仲間たち　～学生の声～
11－12	先生になりたい！　～教員免許状～
13－14	活きる資格がたくさん！　～社会で活躍できる資格多数～
15－16	自分らしく学び続けられる！ 星槎大学の学び方
17－18	テキスト学修／スクーリング
19－20	地球まるごとスクーリング
21－22	科目修得試験／単位修得まで全力サポート！
23－28	見てまわろう！ 星槎の活動見学ツアー
29－30	星槎の高等教育機関／さあ、あなたもぜひ！
	裏：おまけ星槎の仲間になった星人図鑑

自由にお使いください！

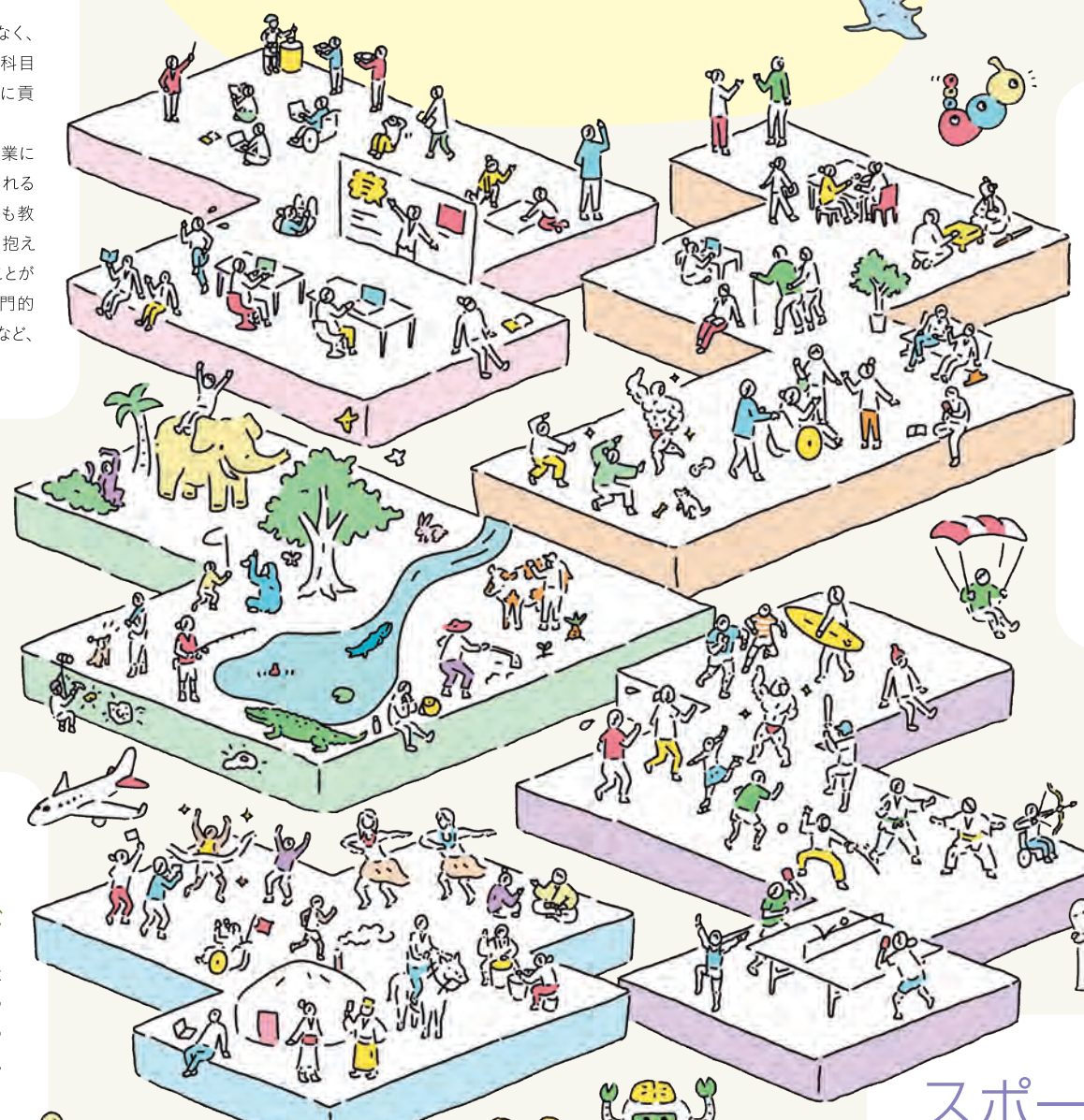
～SEISAをご案内します～

「学ぶって楽しい」「次は何を学ぼう」それが星槎の学びです。
明日から変わるために、人生を変えるために、
毎日を豊かにするために、
そして夢を叶え続けるために。
自由に使いたおしてください。そのために星槎大学はあります。

＼日本で唯一、「共生」の観点から分野を超え横断的に学ぶ／

共生科学部

従来の縦割りで知識伝達型の教育を行う学問分野ではなく、
「共生」をコンセプトに、日常のあらゆる切り口から分野を超えて
横断的に学びを深めることができる新しい学問分野です。



教育

生ききる力を育てる

科目ごとに分断された知識を与えるのではなく、人と人との共生という観点からそれぞれの科目の横断性を意識し、より豊かな社会の創造に貢献する人材の養成を目指しています。
教育に関わる方はもちろん、保護者の方や企業にお勤めの方にも広い知力と教養を身につけられる科目をそろえています。また、教員を目指す方も教員免許状の取得で終わるのではなく、困難を抱えているこどもたちの支援について深く関わることができるよう、特別支援教育について幅広い専門的知識や実践力を身につけることができる科目など、ニーズに合わせた科目を多く開講しています。

課題探求型

言葉だけじゃない「伝え方」を知る
（科目名 アート・デザイン共生学演習）

絵画や工芸などの実習を通じて、多様な表現方法を学び、課題に対するさまざまなアプローチの方法を身につけます。

環境

通信で唯一！ 実践型の学び

地球温暖化、生物多様性保全、環境倫理、循環型共生社会、食と環境、自然災害、森里川海の管理と地域創生など、私たちの「便利な生活」の裏側で起こっている問題は、身近なものから地球規模のものまで、避けては通れない大きな問題となっています。
この地球環境を次の世代に引き継いでいくため、「人」と「自然」とが共に生きるという視点から多角的に学び、複合的な視点で情報収集・状況把握・分析・判断することにより、課題を解決する力を身につけていきます。

課題探求型

やんばるの森と海から学ぶ
（科目名 地球環境共生演習（2））

人と自然とが共生していくために何が大切で、どんな行動が必要なのか。沖縄県北部のやんばるでのフィールドワークを通じて人と自然との共生について学びます。

国際関係

そのニュースの本質を知る

領土問題、宗教、テロ、戦争、紛争、貧困、人権侵害、地球環境、感染症、食の安全、人口問題、難民、グローバル経済など、国際社会が取り組むべきこれらの問題は、私たちの生活にも直接影響を及ぼす喫緊の課題です。
歴史や文化、価値観が異なる国と国、民族と民族が、その違いを認めてお互いを理解し、信頼し合える関係を築き、共に生きていくための方法を、グローバルな視野のもとでローカル（地域や国）の視点から実務に即して学び、社会を変えていく力を身につけていきます。

課題探求型

「何ができるか」を考える
（科目名 ボランティア活動／インターンシップ）

ボランティア活動やインターンシップを通じて自ら課題を見つけ、共生社会の実現に向けて行動できる実践力を身につけます。

福祉

“あたりまえ”の心で 人を思いやる

社会的な障がいがあるということで福祉を考えるのではなく、共に生きるという観点から、あたりまえの心で福祉を考えたい。実践力が問われる時代だからこそ、社会福祉士の国家試験受験資格についても、ただ単に受験資格取得を目指すのではなく、お互いを理解し、相手のために何ができるのかを共感的に考え、実践できる専門家を養成します。
福祉についての学びにとどまらず、教育や特別支援、心理など多様な分野を学ぶことができるカリキュラムを用意。福祉を学ぶ方をしっかりサポートしていきます。

課題探求型

働くことも学びになる
（科目名 共生科学実践特別演習）

企業や団体と連携し、オーダーメイドのプログラムを実施。企業・団体内での人財育成、社内研修等が大学での学びにもなり、単位化につながります。

スポーツ身体表現

スポーツで共生を考える

オリンピックやパラリンピックのような競技性の強いスポーツと共生は成り立つのでしょうか。障がいの有無や年齢、性別を超えて共にスポーツを楽しむことはできるのでしょうか。
スポーツ身体表現では、スポーツの楽しさや面白さを体験しながら、こうした課題を解決する力を育てていきます。
通信制大学で唯一保健体育教諭免許状を取得できる教職課程での学びを通して、運動やスポーツが苦手な人にもスポーツの楽しさを伝えられる力も身につけていきます。

課題探求型

「今」を知る！スペシャルな授業
（科目名 特別講義）

毎年、各分野の特別講義を開講。その時々のホットな話題を中心に専門の教員が熱い講義を行います。毎年違う授業を体感してみてください。

日常のすべてが“学び”になる！

課題探求型の学び

社会において特に必要とされる力は、知識よりもむしろ課題探求能力だと考えています。実社会や実生活の中で、自らが課題を発見し、主体的・協働的に探求し、教科・科目の枠にとらわれない多角的・複合的な視点で事象をとらえ、課題解決していく力を育成するための科目を多数開講しています。急激に変化する社会・経済情勢について学ぶ科目も多く、毎年その時代に合わせたテーマや課題、内容を決めているため、常に新たな学びに触れることができます。

特別ゼミナール

通信制ならではのゼミ！

Web会議アプリケーションを使って、全国どこからでも参加ができるゼミナールです。教員との距離も近く、対話を通じて学び、学修を深めることが可能です。

共生科学実践特別演習

「共に生きる」とは何かを考える

里山体験やモンゴルでの遊牧民の生活体験など、現場に足を運び、実体験を通して文化に触れ、感じたことから学修していきます。

専攻について ～学びの目的に合わせて5つの専攻から選択できます～

共生科学専攻

共生科学部の中心となる、教育、特別支援教育、環境、国際関係が連携するカリキュラムで構成されています。
共生科学を中心に学士取得を目指す方や、中学校社会や高等学校地理歴史、公民、特別支援学校の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

初等教育専攻

幼稚園もしくは小学校、または両方の教員免許状の取得を希望されている方が対象です。

福祉専攻

社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望されている方が対象です。
社会福祉士国家試験受験資格取得を目指す場合、「福祉専攻」でなければ受験資格は得ることができません。

スポーツ身体表現専攻

スポーツを中心とした身体表現に関するカリキュラムで構成され、主として保健体育（中・高）の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

グローカルコミュニケーション専攻

グローバルな視野のもとでローカル（地域や国）の視点から考え行動できることを目指したカリキュラムで構成され、主として英語（中・高）の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

※詳しくは「科目・資格ガイド」をご確認ください。

さまざまな可能性を証明していきたい!

大原 はじめさん
（30代／神奈川県）

プロレスラーの私は学びすすめるうちに、今まで意識してこなかった共生について考えるようになり、一部の人にしかプロレスを発信してないのではないか？ と感じはじめました。そこで、視覚障がいの方々を招待し、プロレスを楽しんでもらおうと「視覚障害者向けライブ音声ガイド解説」という企画を行いました。参加者には大変喜んでいただきプロレスラー冥利に尽きました。星槎大学で学ぶことがなければ考えもしなかった企画です。
これからは、リング内外で挑戦する姿勢を多くの方にみせ、さまざまな可能性を示したいと思っています。また、チャンピオンベルトを目指しつつ、福祉などを学び、今行っているスポーツ協会の高齢者向けの筋力作りの講座にも活かしていきたいです。星槎大学は教員免許状も取得できる環境なので、チャンピオンベルトを巻いて教壇にも立ってみたいなと思っています！

星槎の考え方 人のあたたかさが 入学の決め手です

カートライト 亜子さん
（40代／北海道）

北海道で英語の教員免許状が取得できる通信制大学がなく迷っていた折、星槎大学で取得できることを友人から聞き、通いやすいという点も含め入学を決めました。
また、元々北海道にある星槎の学校の教育理念や活動にも興味を持っており、実際に学校見学、オープンスクールなどにも参加していた為、星槎大学で私自身が学べることを大変うれしく思っています。入学時や入学後も、事務手続きから履修に関する細かな部分まで、事務局の皆様がとても丁寧に教えてくださったので、入学してよかったと感じています。

知識やアイデアの引き出しを増やせる!

岸 京香さん
（20代／東京都）

星槎大学では、学びたいという気持ちを大切にしてくれます。自分のペースでのびのびと学修することができ、何より先生方や事務局のみなさんのサポート体制が本当に充実していて、とても学びやすいです。また、全国各地、幅広い年齢のさまざまな立場の方と共に学ぶことができるため、視野を広げ、知識を深めるのに最適な学修環境が整っています。
これから入学される方と一緒に学べることを楽しみにしています。

学びたい時にいつでも学べる とても素敵な大学

山本 茜さん（30代／福岡県）

私は幼稚園と小学校の免許状を取得後、小学校で働き始めました。学校という場はこどもたちにとって、とても貴重な「自分や他者について知り考える場」であることを強く感じ、一人ひとりの児童の学修スタイルの違いにとても興味をもつようになりました。現在は、ソーシャル・エモーショナル・ラーニング（社会情動的学習）等について学び、実践しながら、特別支援学校教諭免許状の取得を目指しています。

次の目標に向けて 学び続けています!

多部田 剛志さん
（20代／千葉県）

私は、星槎大学で中高保健体育の教員免許状を取得しました。免許状の取得という目標を達成しただけではなく、全国で年齢・性別・職業問わず、本当にたくさんの良い仲間ができました。また、先生方も素晴らしく、おすすめの先生を絞ることができません。
現在は講師として働きながら、今度は小学校の教員免許状の取得に向けて学び続けています。来年度での取得を予定しており、絶対に教員採用試験に合格できるように頑張ります！

＼学ぶ目的は十人十色／ ユニークな仲間が あなたを待っています

安心の “神対応”大学

中澤 和大さん
（20代／茨城県）

学修が思うように進まなかった時期もありましたが、事務局の方が快く相談に応じてくださったおかげで、一緒に学修計画を立てることができました。ここまで学生に寄り添っていただけるとは思わず、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで特別支援学校教員採用試験に合格することができました。常にこどもの目線に立ち、一人ひとりに寄り添う教員を目指していくために、今後も学び続けていきたいと思います。

自分の価値観や世界を広げてくれる

川井 ゆり子さん（20代／神奈川県）

レポートやスクーリングなどの学びを通して、自分の意見を伝える経験を重ねることができ、知識だけでなく、自ら考え、行動する力が身につきました。
また、教育、環境、経済、法律、文化などさまざまな分野を学び、自分の知らなかった世界を知ることで、社会性やコミュニケーション力、道徳性、寛容さ、自然を大切にする心などを修得し、人として成長することができました。

楽しみながら学び 仕事に活かしています!

川前 奈々さん
（20代／長崎県）

私は長崎県佐世保市の観光大使「させぼ観光大使」と市政番組のラジオパーソナリティーを務めています。
「共生」について学び、常に共生の視点で考え、人を大切にすること、思いやること、周りに感謝することを心がけるようになりました。多くの人と出会う観光大使の活動やラジオパーソナリティーの仕事では、星槎大学での学びが活かされています。
そして何より、学修が楽しい！ 星槎大学でしか学べないことが多くあるので、入学してよかったと思っています。

実務経験豊富な 先生が多く 信頼できる!

福田 穂野香さん
（20代／北海道）

どの科目においても、レポート課題に対する評価のコメントが丁寧でわかりやすいです。特に「保育内容の指導法（造形表現）」は、仲間との工作の時間が楽しかったです。学習指導案の書き方を学び、実際に作成したのもいい経験になりました。
私にとって星槎大学は、社会人に必要な基礎的な能力（オンライン環境への慣れ、メール・書類のやり取り、スケジュール管理等）を高めつつ、自身の目指す免許状が取得できる大学です。みなさん一緒に頑張りましょう。

卒業後も 学び続けて いきたい!

荒木 貴裕さん（20代／東京都）

入学して1年目の頃、大学の勉強方法がわからず、不安な日々が続いていました。そんな時、スクーリング後に事務局の方が声をかけてくれました。「自分で良ければ相談に乗るよ」と学び方について親身に話を聞いてくれて、サポートをしてくれました。そして今年卒業まであと一歩となりました。当時は将来やりたいことが決まっていなかったのですが、学んでいく中でこどもに関わるという道がみえてきて、在学中にさまざまな資格を取得することもできました。
卒業後も星槎大学で新たな資格を目指し、自分の夢に向かってがんばっていきます。

たくさんの勇気と 希望をもらえる 素晴らしい場所

野口 まゆみさん
（40代／北海道）

私はプロバスケットボール選手としてプレーしていた経験があり、現在は、北海道の高校で家庭科の教員として働いています。育児休業中に「キャリアアップできないのか」と考え、保健体育の免許状を取得できる星槎大学に入学し、子育てと仕事を両立しながら、順調に単位を修得しました。現在は、特別支援学校の免許状を取得中です。
セカンドキャリア（私の経験）の楽しさを伝えながら、女性だから、もう何歳だからと、やりたいことをあきらめるのではなく、やりたいことをやり続ける！ という姿勢を、たくさんの女性やこどもたちに伝えられる存在でありたいと思います！

学校が安心できる「居場所」でなくてはならないことを実感

水嶋 愛子さん（40代／神奈川県）

特別支援学級の介助員として、充実した日々を過ごしていました。しかし、免許状を持っていない私は教員という仕事を生涯続けたいと悩み始め…。夢の実現へ向け、個別相談会に足を運び、不安や疑問など解消したうえで入学を決意しました。そこで大切な仲間と同じ目標に向かって学び、無事に免許状を取得。現在、公立小学校の特別支援学級担任、3年目に突入しました。今年はコロナ禍の影響でこどももいない、ガランとした静かな教室に足を運ぶ日々……。
現在は通学できるようになりましたが、こどもたちが安心して学校に来ることができるよう、「心の声」に耳を傾け、気持ちに寄り添い、一人ひとりに丁寧な声かけをすることが大切だと感じながら、毎日を大切に過ごしています。

人との接し方や仕事の仕方が変わりました

宮坂 玲子さん（70代／東京都）

星槎大学で学び、仕事で出会う人（スタッフ、業者、顧客など）に対して感情的になることが少なくなりました。心理学の学びが客観的視野を与えてくれたと思っています。カウンセリングのスクーリングでは人の話を傾聴することを学びました。また、保育内容の指導法という科目は孫への対応に活かされており、成長を安心して見守ることができています。
今では職場のスタッフがお子さんの教育問題などで悩み、相談を受けることがあります。これまでの学びを仕事や生活の場で実践し、広げていけたらと望んでいます。

魅力は学びをカスタマイズできるところ

山下 友香さん（20代／香川県）

星槎大学の魅力は、在籍年限がなく、自分の生活スタイルに合わせて履修して学べるところです。また、学びを楽しむコツとして、1つの分野だけでなく、興味のある科目や好きな分野の学修をすることで、さらに知識が増えると思います。
私も福祉だけでなく、語学や安全保障、教育関連など気になる科目は積極的に履修していました。

丸山 晴さん（20代／鹿児島県）

現在は高校で英語の教員として働いています。以前、授業中に注意しても言うことを聞いてくれない生徒がいました。「応用行動分析学」の講義で相手の歴史を知るとその子の行動がわかることを思い出し、実践しました。その生徒の小学生の頃からの話を通して、態度の理由がわかり、その後の関係もよくなりました。また、面接指導では、まず褒めたうえでできていないところを教えてあげることが大切だと教えていただきました。その結果、こどもたちに「丸山先生の面接は必ず褒めてくれるからいく」と嬉しい言葉をもらいました。未だに慣れるのに必死ですが、星槎大学で学んだことを活かしながら日々楽しんでいます。

学んだことを現場で日々実践しています

こどもやママのためにできることを実践していく

山田 利絵さん（50代／神奈川県）

「自分が教育の現場に入り、こどもたちや頑張るママ達の力になろう」と考え星槎大学に入学し、卒業した今、教育機関を経て現在は保育士として働いています。他の先生とは圧倒的に違う特別支援の知識と実行力、そして、何よりどんなこどもも受けとめて「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」、この実践の心がけはこどもや母親、職場の仲間に何か違う風を送っているのでは？ と感じています。
私は、何よりも目の前にいるこどもたちのためにできることを一番に考えて行動できる職員でいたいと考えています。それが当たり前となって、学校や幼稚園・保育所に居場所が作れないこどもがいなくなればうれしい！ その後は母親への『ピアサポート』に取り組む場所を作りたいです。

「学ぶこと」を楽しいと思わせてくれた大学

寺岡 匠さん（40代／神奈川県）

星槎大学は、自分のペースで自分に必要な学びに取り組めます。単に資格取得だけでなく、改めて「学ぶ」ということの面白さや達成感を味わえる場所だと思います。私自身、学ぶことに対しての価値観が大きく変わりました。また同じ目標を持つ仲間とスクーリング等を通してさまざまな交流をすることができます。大きな目標に向けて一人ではなく、仲間と一緒に悩みながらも進んでいける素敵な学修の場です。

日本一あたたかいアットホームな通信制大学

本吉 一生さん（20代／千葉県）

事務局の方たちの丁寧であたたかい対応にいつも助けられていました。困ったことや心配なことがあり連絡すると、すぐにメールや電話でお返事をくれるので、スムーズに学修することができ、最短で目標達成できました。
スクーリングでは実験や体験を伴った授業が多く、童心に帰ることができますので、こどもの気持ちを体感することができました。また、ちょっとしたことでも先生や一緒に学ぶ仲間が褒めてくれるので、とても楽しく嬉しい時間でした。夢を叶えて教員になった今でも、その時に知り合った全国の仲間と繋がっています！

ずっとずっと星槎の仲間

学んだことを実践し続ける先輩がたくさんいます

分野を超えた学びのおかげで幅広い知識が身につきました

横山 恵さん（40代／愛知県）

私は、児童クラブで働いているのですが、特別支援教育の分野と福祉の分野、両方の学びがとても役立っています。こどもの支援を考える直接的な支援方法は「支援教育専門士」取得までの学びが活かされていると思っていますし、こどもの家庭等についての支援は「社会福祉士」を目指すうえでの学びが活かされているなと日々感じています。資格に関わる多方面からの学びにより総合的な支援ができるようになりました。

遅いなんてことはない！

中村 末子さん（40代／神奈川県）

私に「何歳からでも勉強は始められる！」と言う周りの人は、今までしっかり勉強をしてきた人たちでした。学歴などで生きづらさを感じたことがない人に言われるたび、「私のなにがわかるの？」と思っていました。星槎大学には私と同じような状況で働きながら、自分のペースで学び直しをしている仲間がたくさんいます。そんな人たちに影響されて私も学び直したいと思えるようになりました。自分がやろうと思ったときがスタートです。遅いなんてことはありません。学びは新しい自分を与えてくれます！

仲間とともに学ぶ！

齊藤 理沙さん（20代／北海道）

星槎大学はスクーリングが多く、仲間とともに学ぶ機会がたくさんあります。同じ目標を持った仲間と一緒に学ぶことで、良い刺激になり、目標だった教員になることができました。
今まで学んできたことは、仕事上で役に立っていて、先生方と教育の話をすれば、「この話、星槎大学で勉強したな」と思うことがありますし、学修したことをそのまま活かして授業をしたこともあるので、現場で活きる学びができたと実感しています。

多様なニーズに応えられる教員を目指しています！

小山田 理伺さん（40代／山梨県）

念願だった教員採用試験に合格し、4月からは正規職員になります。大学でのいろいろな学修を活かし、一人ひとりの個性に合わせた学修を支援できるようにさらに学び続け、将来は学校に行きたくてもいけないこどもたちに寄り添える先生になりたいです。卒業後の今でもお世話になった先生にメールで近況報告をしていて、交流が続いています。

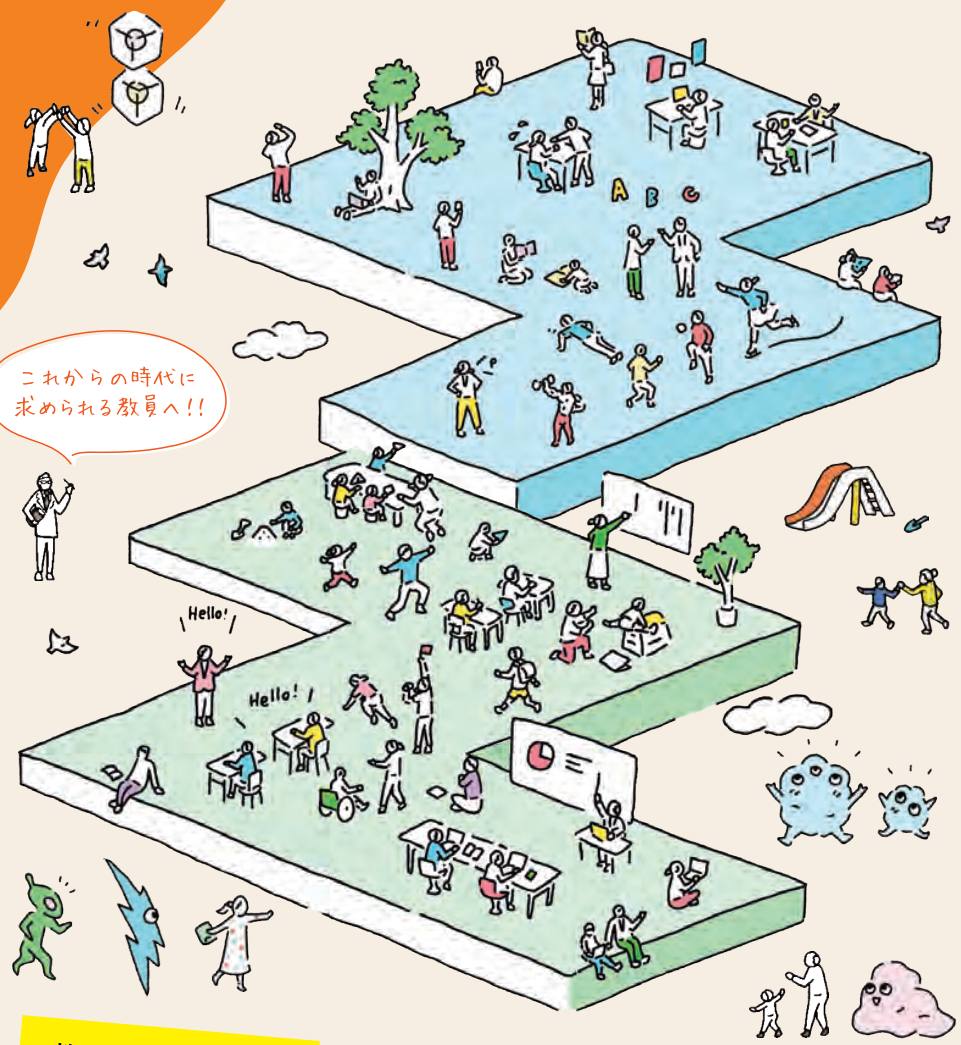
現場で活きることを学びたいならここ（星槎大学）だけ

駒澤 拓真さん（20代／千葉県）

星槎大学で小学校の教員免許状を取得し、現在は地元で柔道を教えながら教員として初任を迎えています。学習指導要領の要でもある“主体的、対話的で深い学び”を講義の中で実践を通じて学ぶことができ、現場で必要なスキルを体感的に学ぶことができました。
オススメの科目はたくさんありますが、特に「図画工作」がおすすめです。
学んだことは、担任をしている今でも活かされています。

＼本学で学ぶ約3人に1人が教育に関わる方です！／

先生になりたい！



教員免許状

本学では、すべての
学校種の教員免許状
取得が可能です

- 幼稚園教諭 I種・2種
- 小学校教諭 I種・2種
- 中学校教諭（社会・保健体育・英語） I種・2種
- 高等学校教諭（地理歴史・公民・保健体育・英語） I種
- 特別支援学校教諭 I種・2種（「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」領域）

教員になるという素敵な夢を実現させましょう！

教職総合支援センター センター長　嶋田 優

本学には、将来教員になりたいという夢を抱いて毎年多くの学生が集い、熱心な学びを積み重ねています。こどもは将来の社会を担っていく大切な存在です。そのこどもたちのさまざまな個性や可能性を見出し、健やかに伸ばしていくことが教育に課せられた大きな使命なのです。本学に集う学生は、それまでの経験や考えも実に多様です。だからこそ、他の大学ではなかなかみられない活気や創造力が生まれます。みなさんも共に学ぶ仲間として一歩を踏み出そうではありませんか。

教員免許状の
取得だけではない、
実践力のある
教員になるために

星槎のネットワークがサポート！

学校ボランティア、教育実習等は星槎グループ内で行うことが可能です。

- 幼保連携型 認定こども園 ピーターパン幼稚園
- 幼保連携型 認定こども園 青葉台幼稚園
- 野川南台保育園
- ティンクル上野川保育園
- ティンクル瀬谷保育園
- ティンクルくぬぎ坂保育園
- 星槎中学校
- 星槎名古屋中学校
- 星槎もみじ中学校
- 星槎高等学校
- 星槎国際高等学校
- 星槎学園 初等部・中等部・高等部
- 星槎大学大学院
- 星槎道都大学

など

保健体育の教員免許状

通信教育課程の大学として唯一、中学校・高等学校の保健体育の免許状取得ができます。これからの教員には「生きる力」を育成する教育を行うことが期待されていますので、社会人としての経験や、プロスポーツ選手などの貴重な経験は、学校教育の現場で活かすことができます。

インクルーシブ教育

これからの教員に求められる能力として「発達障がいを含む特別な支援を必要とする児童・生徒等への理解と対応」が挙げられます。星槎大学では、特別支援教育の最新動向や実践について専門的に学べる多様な科目や資格を開設しています。現職教員の方はもちろん、行政や教育、医療、福祉、スポーツに関わる方、保護者の方も多く学んでいます。

教育実習の心強い味方

教育実習年度には、実習担当教員が学生一人ひとりに個別のサポートをします。これからの時代に求められる実践力のある教員を養成するため、100%の個別指導体制を整えています。教育実習に向けての相談や指導案づくりについてのアドバイスなど、実践力を高める指導を教職総合支援センターと連携して行っています。

教員採用試験対策講座

毎年、春と秋に教員採用試験対策講座を開講しています。小論文の添削指導のほか、模擬授業や模擬面接の様子を教員とともに自己分析することで、課題の改善と長所の活かし方を学び、自信をつけて教員採用試験に挑むことができます。また、採用試験合格者の体験談は、毎年好評を得ています。

学修方法をカスタマイズ

所有免許状にプラスして他の免許状取得を目指したい、同時に資格取得を目指したい、他大学で一部修得済みの単位があるので残りの単位のみ修得したい、など一人ひとりの状況に応じて、個別に適切な取得方法、必要科目をご案内しています。

充実したスクーリング

教員免許状取得のための必修科目の多くはスクーリングが必須となっています。そのため、最新の教育事情を題材とした講義を受講できることはもちろん、その場で疑問点を解決し、次の日から実践できることも本学教職課程の魅力のひとつです。

星槎教育実践研究会

学部生、大学院生、卒業生やグループ内の教育機関の教職員が共に教育実践研究を行うことにより、優れた実践的指導力と高度な専門性を兼ね備えた教員になることを目指します。また、お互いの交流の場として活用されています。

学校ボランティア

教育実習前・後に学校ボランティアとして学校現場に足を運ぶことを積極的にご案内しています。学校現場は常に変化していますので、状況や児童・生徒の様子を知り、自己の課題を受け止め、教育への考えを深めること、実践力を高めることを目的としています。

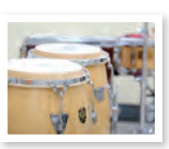
文部科学省認定

教員免許状更新講習

星槎大学ならではのユニークな講習がいっぱい！

全国の先生方に、より深く、より楽しく学んでいただけるよう、毎年各分野の第一線で活躍されている方やさまざまな外部団体と連携し、実践的でユニークな講習を多く開講しています。また、お忙しい先生方の負担を軽減できるよう、レポートや試験を自宅等で実施し、3領域30時間を修了することもできます（2021年度までの特例措置）。星槎大学は講習内容、受講方法を多様化させ、「こどもたちの笑顔」のために日々努力されている先生方がスムーズに講習を修了できるよう、応援し続けています。

全国トップクラスの受講生数！



星槎大学では延べ
170,000名の
教員の方が受講されました

受講生の声

実践例や現場視点の話が多く、共感しながら受講できました。特に特別支援系の内容は深く学修していきたいと感じました。（30代男性）

外出がしづらい中、自宅で試験まで完結可能な通信教育講習があり助かりました。テキストもわかりやすく、レポートも自分の経験を交えることができるテーマだったため、とても取り組みやすかったです。（50代女性）

【講習テーマ実績】

- 旭山動物園との連携による「いのち」の授業を企画する講習
- 生きる力を育む食育活動の実践例を考える講習
- スポーツを通して、教育現場で活用できる指導方法を考える講習
- 沖永良部島で自然をヒントに「解」を導く思考を学ぶ講習
- 新聞を使った教育活動・指導案作成を学ぶ講習
- 音楽を通して教科横断型授業の展開を学ぶ講習

【受講生ポータルサイト】

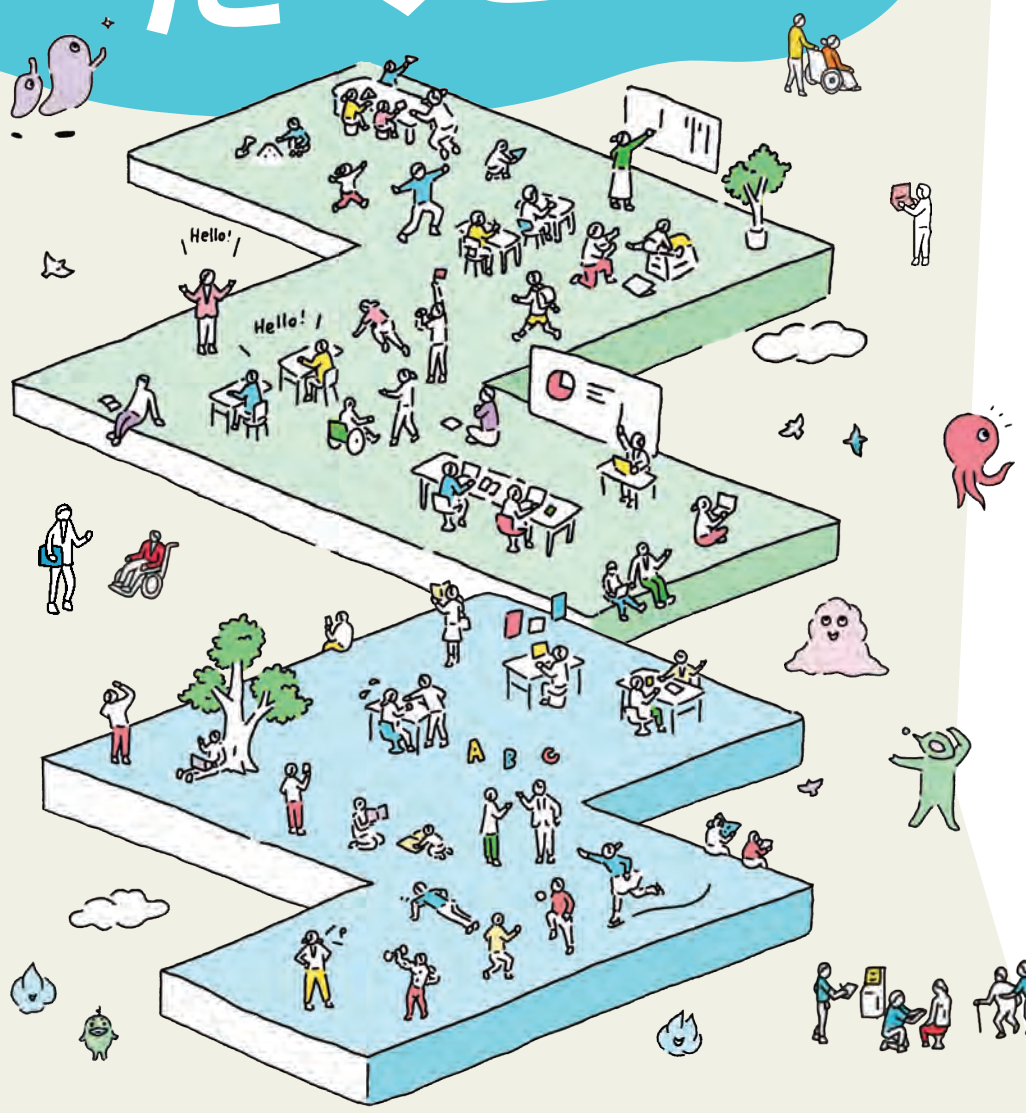
講習を受講された先生方への特典として、専用サイトを開設しています。本学の活動や、教育に関するさまざまな情報を掲載しておりますので、ぜひ受講後にご活用ください。

詳しくはWebサイトへ▶
http://kyoumen.seisa.ac.jp

教員免許状更新講習に関するお問い合わせ　TEL：045-972-3296（平日10:00～17:00）　E-mail：info_koushin@seisa.ac.jp

＼＼ 知識を得るためだけじゃない！ 実践力を身につける ／／

活きる資格がたくさん！



社会福祉士（国家試験受験資格）

共に生きる観点から“あたりまえ”の心で福祉を考える

身体や精神の障がい、または環境上の理由のために日常生活を送ることが難しい方々に対して、福祉についての相談を受け、助言や指導などの援助を行うことが社会福祉士の主な仕事です。こどもから大人まで幅広い年代を対象としており、分野も多岐に渡るので、今後の日本社会において、ますます活躍の場が広がる資格です。

実習のフォロー体制

本学では、実習をしっかり行い、実践力を身につけてもらうため、学生一人ひとりに担当教員がついて、サポートしています。また、実習日程は週3日以上で調整。実習先は「大学の登録施設」、「新たな施設を自己開拓」のいずれかを選べるため、自由度が高く、ご都合に合わせて実習を行うことができます。

福祉特別講義

毎年「福祉特別講義」を開講。昨今の多様化する福祉問題について考えていく講義を行っています。さまざまな福祉現場で活躍している卒業生や専門家をゲストスピーカーに迎え、福祉問題の現状を把握し、その問題の解決策を見出していきます。

星槎大学ならではの福祉専攻

資格を取得することだけを目的とせず、社会のなかで関わりあっている分野を学びながら、実践的に活躍できる社会福祉士を目指します。また、個別対応できるよう、少人数制の専攻となっています。そのため、学生と教職員との距離が近く、アットホームな雰囲気であるのも特長の一つです。

【社会福祉主事 任用資格】

一般的に福祉事務所などの行政機関で働く場合に必要となる資格です。
また、福祉施設で働く場合の資格としても準用されています。

※指定された社会福祉に関する科目の中から3科目以上修得し、卒業することにより取得できます。
詳しくは「科目・資格ガイド」をご覧ください。

文部科学省認定

履修証明プログラム

履修証明制度とは、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）です。修了者には、単位を認定することができ、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。
学びたい分野の知識や技術を体系的に学ぶことで専門性の向上につながるだけでなく、学んだことを履歴書やジョブカードに書くことができるので、キャリアアップや転職、再就職に活用できます。

（学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条等）

支援教育専門士

特別支援教育、発達障がいの基本から判定法、支援法などの実践まで

特別支援教育、発達障がいについての基本的な仕組みから、医学的見解や支援の方法、アセスメントの方法まで幅広く開設しており、教育、医療、福祉、スポーツに関わるすべての方々に現場で役に立つよう構成されています。特別支援教育について体系的な知識・技術等を修得できる独自のプログラムです。

福祉スポーツ指導員

福祉分野でスポーツの特性をいかして働くことを支援するプログラム

福祉現場で身体を動かすことの楽しさはもちろん、競い合う楽しさやコミュニケーションスキル向上を目指したスポーツの指導や支援の専門家を養成していきます。福祉業界で働きたい方や、教育関連の仕事に就きたい方、指導者としてのスキルを身につけたい方などにおすすめの資格です。

自閉症スペクトラムを理解しよりよいサポートの方法を学ぶ

AS（自閉症スペクトラム）サポーター

【日本自閉症スペクトラム学会認定】

自閉症の理解とともに自閉症スペクトラムの人たちとの共生をすすめるため、基本的な知識とサポートの方法を修得した方に、日本自閉症スペクトラム学会が認定する資格です。

教育とカウンセリングの両方に見識と技能を有する教育の専門家

教育カウンセラー／ピアヘルパー

【日本教育カウンセラー協会認定】

指定科目の単位を修得することにより、教育カウンセラー・ピアヘルパーの受験資格を得ることができます。教育カウンセラーは、「教育とカウンセリングの両方に見識と技能を有する教育の専門家」であり、こどもたちの「生きる力」を育む支援をする資格です。

すべてのこどもの学校生活を支援する

准学校心理士

【学校心理士認定運営機構認定】

学校生活での問題について、カウンセリングなどによるこどもへの直接的援助を行うとともに、こどもを取り巻く保護者や教員、学校に対して「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行うことのできる方に対して認定する資格です。

明日から授業で使える実践力をつけこどもたちの力を引き出す

小学校外国語活動指導者

小学校の現場では、これまで以上に英語力が求められています。この講座では、実践力を身につけるためのさまざまな指導方法を楽しく学んでいきます。英語を専門に学んでいない方や、苦手だと感じている方もぜひ挑戦してください。
同時に「こどもサポーター」も取得できます。

あなたに合った学びをカスタマイズ

自分らしく学び続けられる！

一人ひとりの生活リズムが違うように、学び方やペースも人それぞれ。だから、入学時期も学修量も学費も目標も自分流にアレンジできる環境を作りました。
「誰でも」「いつでも」「どこでも」学ぶことができる本学で、あなたらしい学びを一緒にスタートしませんか？

在籍年限がない!

無理のないペースで目標に向けて一生涯学び続けることができます。

全国どこからでも学べる

全国に25ヵ所以上のスクーリング会場を設置。全国でたくさんの仲間が学んでいます。

卒業までの学費は100万円以下

卒業までの学費は総額で約100万円。
（1年次入学の場合、教材費は除く）
※私立大学の総額約400～600万円

サポート体制が充実!

通信制だからこそ、安心して学んでもらえるように多くのサポート体制を用意しています。

2～4年次への編入学が可能

他の大学や短期大学、専門学校での学びを活かせます。

オンラインで、いつでもレポートや試験が提出（受験）できる!

パソコンでも手書きでもOK。

学費の納入方法を自分の状況に応じて選択できる!

履修単位数に応じた従量課金制と定額制のいずれかを選択できます。

いつでも学び始められる

年間いつでも出願を受け付けています。
※出願時期や学修スケジュールにより、4月生または10月生としての入学になります。

300以上の開講科目

好きな科目を自由に選んで受講できます。

1科目から学べる

学ぶ科目分だけの学費負担だから、自分流の学びを自由にアレンジできます。

自宅で受講できる!

インターネットを介してライブやオンデマンドにて自宅で受講できる科目を多く開講しています。

ダブルスクールが可能

通信教育課程の特長を活かし、他の大学や専門学校に通いながら学ぶことができます。

レポート・試験が何回でもやり直せる!

※年度内の回数制限なし

学修のすすめ方

生活スタイルは人それぞれ。星槎大学では、自分のライフスタイルやスケジュールなどの都合に合わせて学修をすすめていくことが可能です。
都合の良い時間を自由に使って学びすすめていくテキスト学修、土日祝日を中心に開講しているスクーリング受講（自宅、会場等で受講）、そして自宅等で受験できる科目修得試験、この3つを軸に科目ごとに単位修得を目指していきます。

結果が出るから続けられる！

スクーリング**あり**の科目
スクーリング**なし**の科目
→ テキスト学修（自学自習）によるレポート作成
※スクーリング受講後にレポート提出する科目もあります。
通信教育の基本！学んだことを自分の言葉でレポートにしてみよう！
→ スクーリングの受講
土日祝日を中心に、自宅やオフィス、最寄りの会場等で受講できる！
→ 自宅等で受験する科目修得試験
※試験日や制限時間なく自由に受験できます。
試験日や制限時間がないので、自分の力を120%発揮！
→ 単位修得
半年に1度、頑張った結果が単位になる！

■入学区分

【正科生】

大学の卒業や資格の取得を目指す場合など、複数年にわたって学ばれる方に適している入学区分です。
正規の学生として要件を満たすと、卒業時に「学士（共生科学）」の学位を取得することができます。

正科生として学ばれる場合は、学びの目的によって専攻が異なります。

- 共生科学専攻（2～4年次編入学が可能）
- 初等教育専攻（3年次編入学が可能）
- 福祉専攻（3年次編入学が可能）
- スポーツ身体表現専攻（3年次編入学が可能）
- グローカルコミュニケーション専攻（3年次編入学が可能）

入学編入学	卒業に必要な単位	卒業に必要な在学期間
1年次	124単位（30単位）	4年以上
2年次	94単位（23単位）	3年以上
3年次	62単位（15単位）	2年以上
4年次	32単位（8単位）	1年以上

（　）内はスクーリング単位。入学・編入学年次により、必要単位が異なります。

《特別科目等履修生》 本学では卒業して「学士（共生科学）」取得後も、特別科目等履修生として学び続けることができます。免許状や資格の取得、生涯学習、自分磨きの場として多くの方が学んでいます。

※専攻により取得可能な教員免許状等が異なりますので、複数の免許状取得を目指される場合はご相談ください。詳しくは、「学生募集要項」「科目・資格ガイド」をご覧ください。

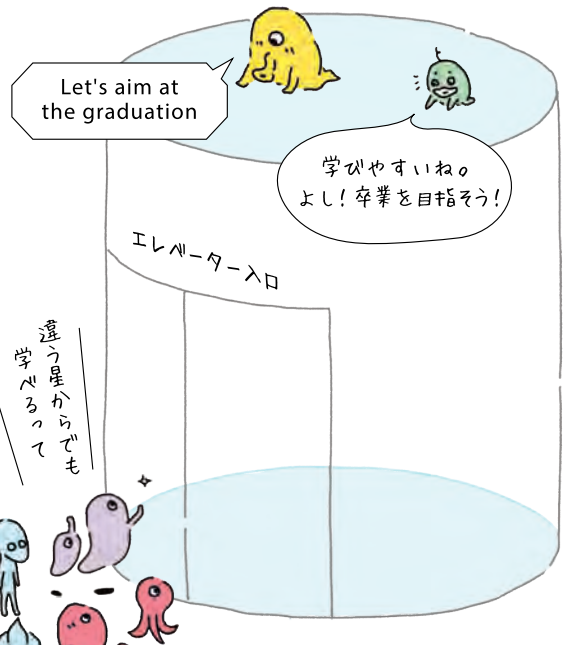
【科目等履修生】

必要な科目のみを1年間で学ぶ場合や、他の大学などに通いながら星槎大学の科目を学んでみたい場合などに適している入学区分です。
また、教員としての勤務経験を活かして教員免許状を取得する資格履修生もこの入学区分に含まれます。科目等履修生として修得した単位は、正科生としての入学後も活かすことができます。

【特修生】

※正科生に入学する場合は満18歳以上でなければなりません。

特修生として本学で16単位以上修得することにより、本人の申請に基づき審査のうえ、本学の正科生1年次入学の資格が得られます。
本学でのみ有効なものであり、他大学に入学する場合は適用されません。



「読む」「考える」「書く」が楽しい！

テキスト学修（レポート）

自分の考えを文章にすることは大変ですが、できあがってみると実に嬉しいものです。
もし、テキスト学修に課題を感じたら、LMS（Learning Management System）でマンツーマン指導員や科目担当教員に質問をしたり、事務局へ相談をしたり、学生専用SNSで学生同士意見交換するなどして、計画的にレポート作成をすすめていきましょう。

レポート作成から提出の流れ

各科目のテキストと学修指導書により学修をすすめ、テーマにしたがってレポートを作成します。
レポートは担当教員により添削指導されます。

テキスト購入 ▶ テキスト・学修指導書を使って学修 ▶ レポートの作成～提出 ▶ 添削されたレポートは学生ポータルサイトで確認 ▶ 合格

再提出 → レポートの作成～提出

これを読んだら大丈夫！「学修指導書」

各科目の学修のすすめ方、参考資料、レポートテーマなどがまとめられているほか、「学修をすすめるうえでの『キーワード』」や「レポートのテーマ・評価基準」が科目ごとに記載されている学修指導書。テキスト学修をすすめるうえで心強い味方となりますので、テキストと併用し、レポート作成を行ってください。
学修指導書は学生ポータルサイトから無料で閲覧・ダウンロードできます。ご自身でダウンロードできない場合は、印刷サービス（有料）も行っていますので、ご活用ください。

レポートの回数と量

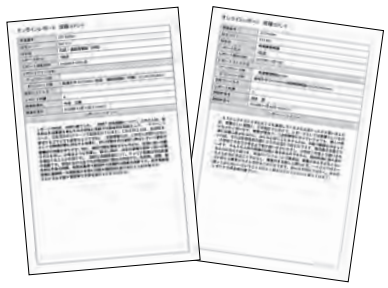
レポートの回数は単位数により異なります。

単位数	レポートの回数	レポートの量
1～2単位	1回	1,600字程度
3～4単位	2回	

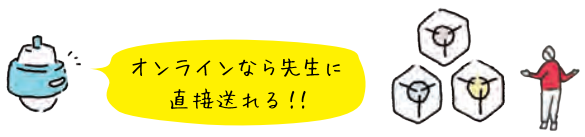
※科目により回数・量等が異なる場合があります。

レポートの作成は、「パソコン」「手書き」の2つの方法があります。完成したレポートは、「オンライン」または「郵送」にてご提出ください。

丁寧であたたかいレポート添削



担当教員が一つひとつ丁寧に添削し、評価を行った後、添削内容を学生ポータルサイトに掲載します。
レポートを提出してから返却されるまで科目によって異なりますが、1ヵ月ほどかかりますので、早めの提出を心がけましょう。再提出になった場合は、担当教員のアドバイス（添削）をしっかり確認し、合格を目指してください。年度内であれば費用はかからず、何度でも提出可能です。担当教員からの添削は励みにもなりますし、合格後は達成感や成長を感じることができますので、計画的にじっくりテーマと向き合って作成してください。



きっかけをくれる！

スクーリング

スクーリングとは、自宅や全国の学習センター、その他臨時会場等にて教員から授業（面接授業・メディアを利用して行う授業）を受ける履修方法のことです。「スクーリング単位」が設定されている科目は、スクーリングの受講が必須となっています。「卒業に必要な124単位のうち、30単位以上はスクーリングによる単位を修得すること」と大学通信教育設置基準で定められています。
スクーリングは1単位につき原則2日間（0.5単位の場合は1日）の受講が必要ですので、年間のスケジュールを確認し、計画的に学修をすすめることが重要です。

スクーリング受講までの流れ

スクーリングを受講するには、科目ごとに、いつ・どの方法で受講したいのか申込む必要があります。スクーリング受講の流れについては、以下をご覧ください。

ホームページや学生ポータルサイトから
スクーリングスケジュールを確認し、
日程、受講方法を決める。

↓

学生ポータルサイトにログインして、
受講申込みをする。

↓

学修指導書に記載している事前学修を行い、
当日の持ち物など、準備をすすめる。

↓

自宅や会場でスクーリングを受講する。

※スクーリングの受講申込みには、該当科目の履修科目登録が必要です。

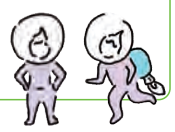
＼自分に合った受講方法を選択！／

星槎のスクーリングスタイル

スクーリングスケジュールを確認し、都合に合わせて受講することができます。ホームページや学生ポータルサイトから科目ごとの開講日程等をチェックすることが可能です。

1 会場スクーリング

土日祝日を中心に開講しています。札幌、横浜、名古屋、大阪、福岡を中心としたスクーリング会場にて受講することが可能です。



2 Webライブスクーリング

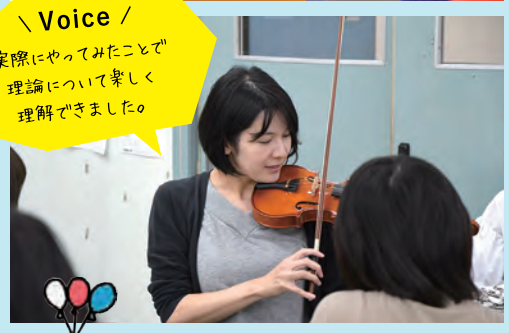
インターネットを介して、Web会議アプリケーションを利用したスクーリングで、自宅等からライブでの受講が可能です。会場から遠方にお住まいの方や海外の方も受講しやすくなっています。

3 オンデマンドスクーリング

視聴期間内であれば、いつでも、どこでも、何度でも、受講できる動画視聴によるスクーリングです。お好きな時間に受講できるので、忙しい方も学びやすくなっています。

※科目によってスクーリングスタイル（Webライブスクーリングとオンデマンドスクーリングなど）をそれぞれ合わせて受講する科目などもあります。
※スクーリングの日数は原則として1単位＝2日間（0.5単位の場合は1日）になります。ただし、実技科目については原則1単位＝4日間となります。
※スクーリング時間は原則10:00～17:00となります（一部の科目はスクーリングの開始・終了時刻が異なります）。
※受講方法は科目・日程ごとに異なります。

地球まるごと学修圏



\ Voice /
実際にやってみたことで
理論について楽しく
理解できました。

文化を伝える

\ Voice /
休み時間に食事をしながら
先生とたくさん話ができたので、
1日ずっと楽しかったです。

人を知って
文化を知る

教員や仲間との貴重で楽しい時間

実践力を身につける！

地球まるごと

スクーリング

\ Voice /
オンデマンドスクーリングでは、
空いた時間に何度も視聴できたので
よく理解できました。

実際に体験することが大切

経験による具体的な
アドバイス

スクーリングが充実している本学では、土日祝日を中心に経験豊富で個性豊かな教員が実践力を身につける講義を全国で行っています。また、**300**以上ある開講科目のうち、**200**科目以上を自宅等からインターネットを介して受講することが可能です。
星槎大学ならではの楽しく実践力が身につくスクーリングを、全国の仲間とともに受講しませんか？

“やってみる”が第一歩

年齢も立場も超えて、
お互いを高め合える！

共に成長できる仲間がいる

星槎のスクーリングはココがスゴイ！

世界中どこにいても受講できる！

インターネットを介して自宅や職場等からライブで受講できる科目が200以上あるため、世界中どこにいても受講することができます。また、全国25ヵ所以上に会場があり、仲間とともに学びを深めることも可能です（一部科目を除く）。

選択できる受講方法！

「自宅等からライブで受講」、「オンデマンドでいつでも、どこでも何度でも受講」、「会場で受講」を科目の特性に応じて選択できます。学生が受講しやすいように受講方法を選択できるよう環境を整えています（一部科目を除く）。

経験豊富で熱意あふれる教員からの直接指導！

専門的な知識や技能を熱意を持って丁寧に伝える教員が勢ぞろいしています。スクーリングはわかりやすく、面白い。「もっと学びたい」と思うこと間違いなしです。ぜひ、本学の個性が光る経験豊富な教員に会いに来てください。

受講するだけではもったいない！全国で仲間を作る！

全国から学生が集まるスクーリングは、情報交換の場としても活用されています。仲間同士で意見を言い合い、互いを認め合うことは、新たな気づきに繋がります。「スクーリングから人生が広がる」。これが星槎のスクーリングです。

目標があるから
がんばれる！

\ Voice /
不安でしたが、先生の丁寧な
授業展開のおかげで
楽しく受講できました。

\ Voice /
Web会議アプリケーションで
いろいろな地域の人と
ディスカッションが
できて楽しかった。

フィールドワークで学ぶ

\ Voice /
現場で考えながら学べる
非常に実践的な内容
でした。

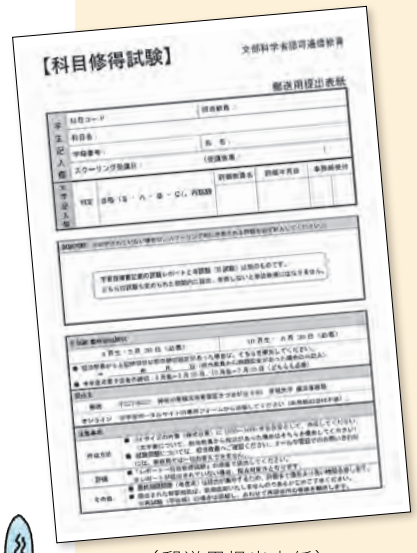
\ Voice /
内容が濃く、笑いもあり、
全く飽きませんでした。

自分の力を発揮する！

科目修得試験！学びの集大成

成果を実感！
学びの集大成！

星槎大学では、課題解決能力を問う試験を行います。
資料を用いながら今まで学んだことを自分の言葉で文章（レポート）にして表現していきます。
合格すると単位の修得となります。



（郵送用提出表紙）

科目修得試験は、レポート方式による試験です。試験課題、提出期限などは、スクーリング後、もしくはレポート提出後、学生ポータルサイトにて確認できます。自宅等で受験（解答を作成）し、オンラインまたは郵送にて提出します。再提出になった場合でも年度内であれば、何度でも提出することができます。

スクーリングありの科目
スクーリング受講後、学生ポータルサイトから試験課題を確認することができます。

スクーリングなしの科目
レポート提出後、学生ポータルサイトから試験課題を確認することができます。

↓

自宅等で受験
自宅等で受験（解答を作成）します。

↓

提　出
オンラインまたは郵送で期限までに提出します。
※科目修得試験の評価はレポート合格後となります。

↓

再提出 ／ **合　格**

／ 年度内なら何回でも提出可能 ＼

＼ みなさんの学びを応援します！ ／

単位修得まで全力サポート！

通信制だからこそ、安心してしっかりじっくり学んでもらいたい。
そんな気持ちから、多くのサポート体制を用意してみなさんをお待ちしています。
不安を解消し、より自分らしい学びを星槎大学で実現してください。

マンツーマン指導員

一人ひとりの目標達成に向けて
学修をサポートする心強い味方

正科生一人ひとりを各教員が担当し、みなさんの履修状況を把握して、しっかりサポートするのが「マンツーマン指導員」。担任の先生がついているので安心して学べます。各科目の担当教員や事務局とも連携して、共に目標達成を目指します。

星槎大学附属総合キャリア支援センター

星槎大学附属総合キャリア支援センターでは、学生のみなさまがよりよい学生生活を送り、人生設計できるように、キャリア発達支援室・キャリアカウンセリング室・キャリアサポート室が協力し、サポートしていきます。
専門のカウンセラーやアドバイザーが教員と連携していますので、就職のことだけでなく、学修がうまくすすめられないときや、何かで困ったり悩んだりしたときも、一人で抱え込まずに、お気軽にご相談ください。

総合キャリア支援センター

キャリア発達支援室	キャリアカウンセリング室	キャリアサポート室
・発達相談 ・心理検査アセスメント ・合理的配慮申請	カウンセリング （学修相談・人間関係や生活上の悩み等）	・進路相談 ・就職情報の提供 ・履歴書の書き方の指導

共生入門・プレゼミ

学びの不安を解消！
学修のすすめ方やポイントを
教員が直接伝授

「共生入門」では共生をテーマに本格的な科目学修に入る前の事前トレーニングとして考え方の基礎を学びます。「プレゼミ」では、レポート作成に重点を置き、教員からの詳しい解説とともに実際に作成していきます。

学修指導書

科目の取扱説明書！
科目ごとの学修指導書は熟読必須！

科目ごとにレポートのテーマや学修の手順、試験の方法や到達目標を細かく記載しているのが学修指導書。学修をすすめるうえでまず、学修指導書をじっくり読むことをおすすめしています。安心して学びすすめるための大切なパートナーです。

事務局相談窓口

事務局もみなさんの学びを全力で応援します！

土・日・祝日も
相談対応有

平日だけでなく、土日や祝日も相談を受け付けています（オンライン、電話、Web質問フォームなど）。また、定期的に北海道から沖縄まで相談会を実施していますので、直接会って学修相談も可能です。いつでも安心して学びすすめてもらえるよう、事務局もみなさんの学修を応援しています。お気軽にご相談ください。

LMS（Learning Management System）

**通信制と通学制の
ハイブリッド学修支援！**

大学から付与されたGoogleのIDでログインし、インターネット上の教室にて、学生に対して学びの支援を行うことができる学修管理システムです。教員による効率的できめ細やかなサポートを受けながら、単位修得を目指すことができます。また、教員や学生同士のコミュニケーションツールとしても活用できるので、わからないことを相談しながら仲間とともに学びすすめることが可能です。

高等教育の修学支援新制度

本学は、高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）の対象校です。
対象者は、世帯年収に応じて入学金や授業料の免除または減額と給付型奨学金の両方の支援を受けることが可能です。詳細については、日本学生支援機構のHPを確認してください。また、そのほかに貸与型の奨学金（日本学生支援機構）や、オリエントコーポレーション（オリコ）と提携した教育ローンなどもご案内しています。

（文部科学省HP）

通信での学びを支える独自のSNS

文部科学省「学生支援GP」を獲得！

通信制での学びをサポートする優れた取り組みとして、通信制大学で初めて「学生支援GP」（新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム）に選定された星槎大学独自のSNS。日本全国、海外に広がる5,700名を超える学生同士、教職員を結ぶ心強いネットワークです。

《星槎の3つの約束》

人を認める
人を排除しない
仲間を作る

創設者　宮澤　保夫

本学は、共生科学を唯一の学部とするユニークな通信制大学です。共生科学、初等教育、福祉、スポーツ身体表現、グローカルコミュニケーションの5つの専攻があり、幼稚園、小学校、中学校の社会、高等学校の地理歴史、公民、中学校・高等学校の保健体育、中学校・高等学校の英語、特別支援学校の教員免許状の取得ができます。どうか皆様、色々なものを学びながら天空を目指して進む星の槎（いかだ）のような大学で、有意義な学生生活を送ってください。

学長　山脇　直司

《建学の精神》

社会に必要とされることを創造し、
常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。

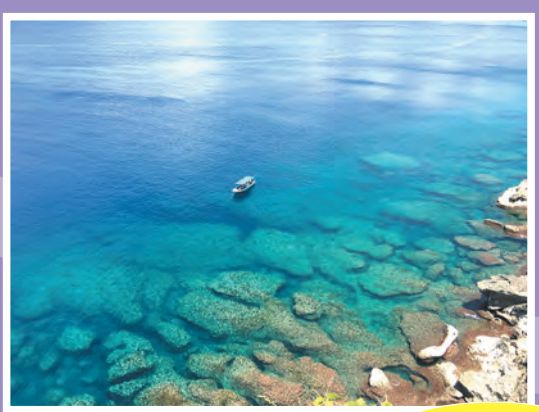
《教育の基本理念》

21世紀に適応する広い知力の育成
心の耕作
課題探求能力の育成
特別支援教育を担う教師等の育成

星槎大学は、人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献することを目的とし、『共生』という理念で結ばれる、教育、福祉、環境、国際関係及びそれらを横断する広い知力、共生する心の耕作、様々な問題を前向きに解決しようとする課題探求能力の育成、特別支援教育を担う教師等の育成を目指しています。

星槎の活動
見学ツアー
～星槎の活動ミュージアム～

キャンパスもパソコンも飛びだした学びが、毎日のように全国で行われています。講義だけが学びじゃない。芸術や文化に触れ、体験・実践を通して、分野を超えて横断的に学ぶことは、「社会に伝える力」を養うことにつながります。星槎でしかできない学びを一緒にしてみませんか。



島全体が大学!?
地域の特色をいかした独自のカリキュラムで学べるんだって！

沖永良部島 サテライトカレッジ

2017年、沖永良部島にサテライトカレッジを開設しました。島内在住の石田教授による講義の他、若年層の人口流出ストップなど、地域活性化を目的としたさまざまな活動をすすめています。

星槎大学100歳プロジェクト
（神奈川県大学発・政策提案制度）

100歳まで生きることが当たり前になりつつある社会の中で、生き方や誰もが参画できる地域コミュニティのあり方を考え、実現するためのモデルづくりをしています。箱根からスタートし、今後は県西地域、そして全国に広めていく予定です。

全国の歴史的建造物を会場とした「星槎塾」

京都の伝統建築として親しまれている町家「仁風庵（国登録有形文化財）」や、鎌倉の高徳院、南砺など、全国各地の歴史的建造物などを会場として定期的に開催している星槎大学オープンカレッジは、毎回多くの方にご参加いただいています。

その「場所」ならではの講座が開催されているんだね。

こどもも大人も、一緒に学ぶことができるんだ。

出前授業 学習・造形ワークショップ

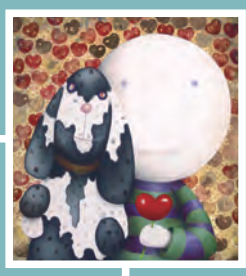
夏休みの宿題や工作などのお手伝いを近隣の小学校で行っています。同時に、保護者の方にむけて教育相談も行っています。

鎌倉「建長寺」での朗読会

建長寺の敷地内にある正受庵で「親と子の朗読会」を開催。大人の参加者も多く、改めて「ことば」のもつ力の素晴らしさを感じることができる朗読会です。

マッケンジー・ソープさん 星槎大学客員教授に就任

読み書きが困難なディスレクシアと向き合いながら、「愛と真実」で貫かれた数々の作品を生み出しているマッケンジー・ソープさんが星槎大学客員教授に就任。今後、いろいろな活動を一緒に行っていきます。



青葉6大学連携講座& シンポジウム

2017年度より人的資源、知的財産、施設などを活用して連携を強化し、まちの魅力をさらに高める取り組みを推進していくことを目的に横浜市青葉区と連携協定を締結。いろいろな講座やシンポジウムを開催しています。

かいしゃだいがく

本学が提案する企業・団体・地域向けの「人財採用・育成」プログラム。企業（団体・地域）内に通信制大学で学ぶ仕組みを設定することで、働きながら大卒資格を取得するプログラムや、社内研修のアウトソーシングなど、理念や方針に合わせてオーダーメイドの学びを提供しています。

ヨコハマ大学まつり

大学・都市パートナーシップ協議会に参加している横浜市内の大学が一同に集まり、市民のみなさんに大学を知っていただくため、みなとみらい21地区から横浜市全域に新たな魅力を発信するイベントです。

カッコイイおとなプロジェクト

「かながわ人生100歳時代ネットワーク」の活動の一つである「カッコイイおとなプロジェクト」。こどもが主役の造形教室を開催し、たくさんのこどもたちが作品を作り上げました。

アコモデーションコース

自分流に学びをカスタマイズできる通信制の特長を活かしつつ、通学制に準じた学修形態で、学修サポートを受けながら学びたい方を対象としたコース。それぞれのニーズに合わせた学び方が可能で、本コースの陸上競技部では、「走る」ことを通じて学びを深めながら、専門家の指導のもと本格的に陸上競技に打ち込むことができる環境を整えています。

緑区講演会

横浜市緑区と連携し、人権研修や職業講話、職員研修など、ニーズに合わせた講演を行っています。具体的な話を盛り込んだ講演はすぐに実践できると好評です。

丹波コミュニティカレッジ

「あたり前にとらわれないキャンパス」それが学生と一緒に考えた丹波コミュニティ・カレッジです。学生が主体性を発揮し、授業を受けて自分たちでできることを考え、アクションを起こしています。

SEISA プレアカデミー

与えられた教科書から知識を得るだけでなく、学校で学んださまざまな教科を横断的に学び、自分自身が興味・関心のあるコト・モノをドキドキ・ワクワクしながらトコトン学び、これからの未来を創る力を身につけていきます！

地球生命研究所との連携

東京工業大学地球生命研究所（通称ELSI）は、宇宙や生命に関するトップクラスの研究者の方々が世界中から集まり、私たち人間が抱えているBig questions（ビッグ クエスチョンズ）にみんなでチャレンジしています。本学では、教員免許状更新講習や中高生が取り組む「宇宙教育」の分野で連携した取り組みをすすめています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

公益財団法人
世界こども財団
FGC - Foudation for Global Children

世界のこどもたちに、将来の夢と希望を

日本で、世界の国々で、日々を懸命に生きているこどもたち。しかし、医療や教育が行き届かないために、その可能性を奪われてしまうこどもたちも数多くいます。1970年代から続く星槎グループの国際支援・交流活動をさらに進めるため、2010年に世界こども財団を設立。医療・教育・スポーツを通して、こどもたちや青少年の健全育成、そして自立を支援するために、国内外で草の根の支援活動を続け、2015年にはその実績により、内閣府より公益財団法人として認可を受けました。

世界こども財団の活動、最新情報につきましては、Webで確認できます。

“誰一人取り残さない”
星槎の取り組みは
世界から宇宙まで
繋がっているんだね。

SAAB
SEISA Africa Asia Bridge

全国の仲間とともに、アフリカ・アジアの方と交流し、将来アフリカ・アジアとのつながりの「架け橋」となることを目的とした国際交流イベントです。
2019年は、32ヵ国以上の参加国数、そして来場者の方々は大使館関係者、外務省、神奈川県、横浜市などの関係機関に加えて地域の方々など、約8,000名の方が参加しました。
また、2020年は新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン中心の開催となりましたが、30ヵ国、約20,000名の方が参加しました。

UNAI
（国連アカデミック・インパクト）

星槎大学は、世界の高等教育機関との連携である「国連アカデミック・インパクト」に加盟しており、普遍的人権擁護や国際的諸課題の解決に向けた、教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいます。

ブータン王国との教育文化交流
STAR program

ブータン初の私立大学であるRoyal Thimphu College（RTC）とのMoU（覚書）の締結により、交換留学など両国の未来をつなげるプログラムを実施しています。

宇宙の教室
「宇宙で学ぶ」＝「命を学ぶ」

宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙教育センターと宇宙教育についての連携協定を締結しました。宇宙を素材にした学びから「命の大切さ」を学びます。

スポーツでも
世界の国々と
つながっているよ！

オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたSEISAの取り組み

星槎グループは、スポーツを通じた世界の青少年の育成にも力を入れています。2014年、星槎大学が公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会と連携・協力体制のための協定を締結しました。2015年にはアフリカのエリトリア国オリンピック委員会（ENOC）と、2017年にはブータン王国オリンピック委員会（BOC）と、2018年にはミャンマー連邦共和国オリンピック委員会（MOC）と、神奈川県での事前キャンプに関する協定を締結。各国に対してアスリートの強化やスポーツ留学生の受け入れなど、多彩な支援プログラムを実施してきました。さらに、星槎グループのすすめている日本へのスポーツ奨学生のプログラムは、国際オリンピック委員会（IOC）および日本オリンピック委員会（JOC）の認可をいただき、公式の「オリンピック・ソリダリティ特別プログラム」へと発展しています。今後もオリンピック・パラリンピック東京大会をひとつの契機として、さらに未来へとつづく支援と交流をすすめていきます。

2015年9月2日エリトリア国と事前キャンプ招致協定を締結。

2017年4月13日ブータン王国と事前キャンプ招致協定を締結。

2018年4月24日ミャンマー連邦共和国と事前キャンプ招致協定を締結。

ブータン王国
KINGDOM OF BHUTAN

（左）ブータンのパラアスリートを支援
（右）アーチェリーのトレーニングに励むブータンからの留学生

エリトリア国
STATE OF ERITREA

（左）エリトリアのアスリートと園児たちの交流
（右）独立記念日を祝うエリトリアの陸上競技留学生

ミャンマー連邦共和国
THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR

（左）星槎道都大学で合宿をした柔道代表チーム
（右）ミャンマーからの空手競技留学生

スポーツのキャリアを活かせる！
セカンド・キャリア・プロジェクト

2012年からスタートし、120名以上の方が新たな目標にむかって学んでいます。

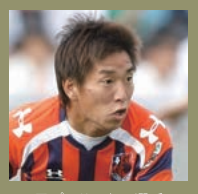
プロスポーツや企業スポーツの選手はもちろん、アスリートとして活躍されている方が、その貴重な経験を生涯を通して社会のために活かすことができるよう応援するのが、このセカンド・キャリア・プロジェクトです。教員免許状を取得して学校教育の場でこどもたちの教育に関わる、スポーツマネジメントのプログラムを履修して、スポーツ関連の企業や団体の経営、スポーツイベントの開催・運営に関わるなど、さまざまな目標を応援しています。

セカンド・キャリア在籍実績
野球（日本プロ野球 OB 会、日本女子プロ野球機構、日本野球連盟、BC リーグ、四国アイランドリーグ、北海道ベースボールリーグ 他）、サッカー（Jリーグ、なでしこリーグ他）、バスケットボール（B.LEAGUE、日本女子リーグ）、バドミントン、ラグビー、バレーボール、陸上、水泳、スケート、レスリング、ボクシング、アーチェリー、ボート、サーフィン、ダンス、柔道、剣道、空手、ハンドボール、アイスホッケー、器械体操、卓球 … 他

元プロ野球選手
島袋　洋奨

２つ目の夢を叶えるチャンスを与えてくれた

私がプロ野球選手を引退してから持った夢（目標）は、母校で保健体育の教員として、生徒たちに野球を教えることです。
小学生の頃から野球を通してスポーツの「勝ち負け」以外のことを多く学んできました。野球を通して実際に学んできた、体を動かす楽しさや難しさ、そしてスポーツを通して周りの人（家族、友人など）に良い影響を与えることができるということを伝えていける保健体育の教員になりたいと思っています。
引退後、教員になると決めたものの、はじめは不安なことがたくさんありました。しかし、仕事終わりの時間に合わせての細かい指導やサポートのおかげでスムーズに学修をすすめることができています。また、セカンドキャリアのサポートが充実しているので安心して新しい夢を追いかけることができる環境だと実感しています。大学で知識を深め、母校で生徒と一緒に成長していきたいと思います。



元プロサッカー選手
川邉　隆弥

プロ選手の次はこどもたちに夢を持たせることのできる教員へ

私は、現在日本サッカー協会が主催しているスポーツこころのプロジェクトの「夢先生」という立場で全国の小学校・中学校へ行き「夢を持つことの大切さ」や、「挫折をどのようにして乗り越えてきたのか」という授業をしています。そこで出会うこどもたちの目の輝きや可能性が満ち溢れている姿を見て「プロサッカー選手としての多くの経験を伝え、こどもたちに夢を持ってもらいたい」と思い、教員になることを目指し、今の生活スタイルに一番合っている星槎大学に入学しました。競技に専念しながら自分のやりたいとき・やれるときに学びながら、資格取得を目指せる最高の環境であると私は思っています。
現在の私の夢は、学校の教員になってサッカー部の監督になり全国でも強いと言われる部活の監督になることです。文武両道の教員になり、学校生活や友人関係、将来について悩んでいるこどもたちから「この先生になら話したい」という存在になりたいと思います。

未来を変えていく社会人の大学院
星槎大学大学院

星槎大学大学院では、教育やその関連分野の専門的知識・技能を身につけ、教育に関する学術研究および課題解決のための実践研究を行います。実践と理論を往還して自律的に研究を遂行することを通じて、次世代の教育を形作り、共生社会の進展に貢献できる人材を育成します。

・平均年齢：47.9歳　・仕事をしながら学んでいる人：138名／143名

・職業：学校教員81名 ／ 看護教員24名 ／ 看護師12名

教育学研究科博士後期課程（通信制）
学位：博士（教育）
現場に根ざした実践研究を進め、成果を現場に ～理論と実践の往還～

教育学研究科修士課程（通信制）
学位：修士（教育）　給付金対象講座
共生の視点から教育を検証する

看護教育研究コース／メディア・ジャーナリズム研究コース／国際協力・共生研究コース
《教育学研究科で取得可能な免許状》
◎小学校教諭専修免許状　◎特別支援学校教諭専修免許状（知的障害者）

教育実践研究科（通学制）
学位：教育修士（専門職）　給付金対象講座
現場の課題を見つめ直し、実践力を高める

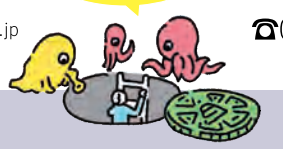
《教育実践研究科で取得可能な免許状》
◎小学校教諭専修免許状
◎中学校教諭専修免許状（国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭）
◎高等学校教諭専修免許状（国語・地理歴史・公民・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・情報・商業・福祉・家庭）

星槎大学大学院の特長
- 教育現場での課題について研究を通じて解決できます。
- 教育だけでなく、幅広い分野の研究ができます。
- 仕事を続けながら学ぶことができます。
- 自宅から講義を受講できます（一部科目を除く）。

教育セミナー開催中▶自宅から受講できます。詳しくはHPをご覧ください。

お問い合わせ・資料請求は

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通11番地　横浜情報文化センター5階
☎045-212-3830　https://gred.seisa.ac.jp　E-mail：info_gr@seisa.ac.jp



成長を全力でサポートする大学
星槎道都大学

大学は「なりたい自分」「やりたいこと」を実現できる場所。
大学に行くのは何のため？
高い専門知識や技術を学びたい。
好きなことを仕事にする。
安定した職業に就く。
資格を取って手に職をつける。
……など目的はさまざま。
共通するのは将来にプラスになるかどうか。社会に出て求められる力は、ひとつではありません。

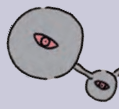
星槎道都大学では、就きたい職業に合わせたプログラムや、興味がある分野を深めるプログラム、資格を取るためのプログラムなど、多彩な学びを展開しています。
自分の強みを増やし、得意分野の幅を広げて、さらにコミュニケーション力や英語力を磨くなど将来にプラスになる4年間を組み立てていくことができます。

経営・社会福祉・デザイン・建築の3学部4学科からなるメジャー・プログラム33コース×サブメジャー・プログラム24プログラム＝792の学び方があります。

将来の夢、学びたいことを是非聞かせてください。
あなたにぴったりの組み合わせを一緒に見つけていきましょう。

お問い合わせ・資料請求は

〒061-1196 北海道北広島市中の沢149番地
☎011-372-3111　https://www.seisadohto.ac.jp



【星槎グループ】
〈公益財団法人 世界こども財団（FGC）〉
〈学校法人国際学園〉
- ●幼保連携型 認定こども園 ピーターパン幼稚園
- ●幼保連携型 認定こども園 青葉台幼稚園
- ●星槎中学校
- ●星槎名古屋中学校
- ●星槎もみじ中学校
- ●星槎プレアカデミー事業
- ●星槎高等学校
- ●星槎国際高等学校（広域通信制）
  芦別、旭川、北広島、札幌、札幌北、帯広、仙台、郡山、川口、立川、八王子、横浜鴨居、厚木、湘南、小田原、甲府、静岡、浜松、名古屋、富山、福井、大阪、広島、高松、丸亀、福岡東、福岡中央、北九州、沖縄、那覇
- ●星槎大学大学院
- ●星槎湘南大磯キャンパス
- ●星槎箱根キャンパス
- ●星槎小田原キャンパス
- ●星槎高尾キャンパス
- ●星槎川口キャンパス
- ●星槎富山キャンパス
- ●星槎札幌もみじキャンパス
- ●星槎稲取研修センター
- ●星槎レイクアリーナ箱根
- ●地域コミュニティFM放送局 湘南マジックウェイブ（SMW85.6MHz）

〈星槎学園 初等部・中等部・高等部〉
- ●北斗校
- ●湘南校
- ●横浜ポートサイド校
- ●大宮校

〈学校法人 北海道星槎学園〉
- ●星槎道都大学

〈社会福祉法人 星槎〉
- ●野川南台保育園
- ●ティンクル上野川保育園
- ●ティンクル瀬谷保育園
- ●ティンクルくぬぎ坂保育園

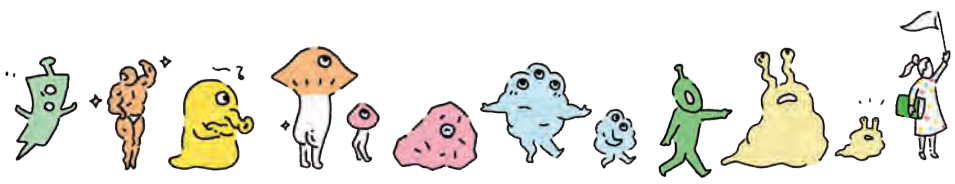
〈NPO法人 星槎教育研究所〉
〈NPO法人 星槎さっぽろ教育センター〉
〈NPO法人 創作和太鼓集団「打鼓音」〉
〈NPO法人 劇団「新制作座」〉
〈株式会社リブロ〉
〈農業生産法人 星の島〉
〈横浜・ブータン王国友好協会〉
〈医療・教育未来創生研究所〉
〈神奈川県青年海外協力隊支援協会〉
〈一般社団法人 スペースウェザー協会〉
〈一般財団法人 星槎湘南大磯総合型スポーツクラブ〉
〈一般財団法人 星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ〉
〈一般社団法人 外国人介護福祉士協会〉
〈宇宙研究支援（アラスカ大学・NASA）〉
〈星槎アスレチッククラブ〉
〈有限会社 湘南マジックウェイブ〉

天空を旅する星の槎（いかだ）、宇宙人も見学に！

「世界中のすべての人が笑顔になるために！」
星槎が取り組んできた活動を紹介してきた表紙のイラストも2021年度で5年目を迎えました。遠く宇宙に旅立った星の槎（ほしのいかだ）はどうやらUFO（違う星に住む星人たち）とも遭遇したようです。

「誰でも」「いつでも」「どこでも」学ぶことができる大学。

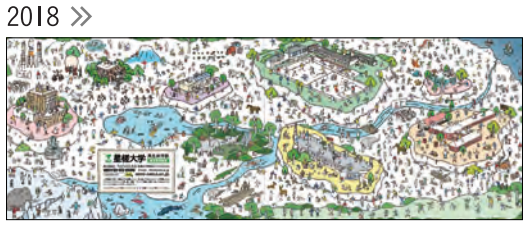
国際宇宙ステーションに滞在しながら地球、いや宇宙の仲間と一緒に学び合う、そんな日も遠くないのかもしれません。



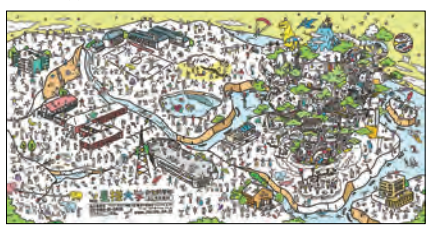
2021 »

2017 »

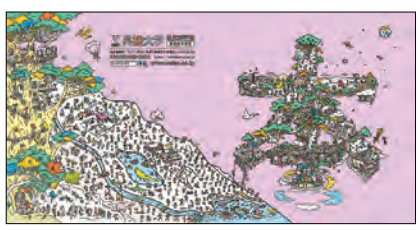
2018 »



2019 »



2020 »



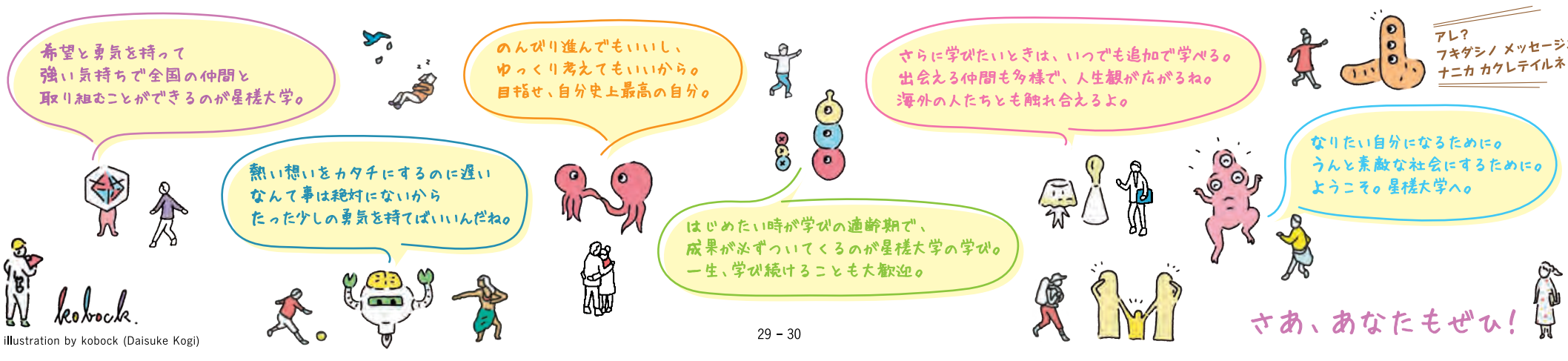


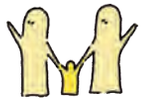
illustration by kobock (Daisuke Kogi)

星槎ノ仲間ニナリマシタ

星槎人図鑑

星槎へようこそ！
あなたはなに星人？

仲間とともに学ぶ星人



子育てしながら学ぶ星人

自分のペースで卒業星人

保健体育の教員を目指す星人

資格取得に燃える星人

こどもが好きを
仕事にしたい星人

福祉の現場で思いやりを
大事にする星人

次世代アスリートを育てる星人

三世代で学ぶ星人

海外(違う星)から学ぶ星人

大学中退から入学星人

広い世界を感じたい星人

15歳から大学生と
一緒に学ぶ星人

ダブルスクール星人

宇宙へ飛び出す星人

生涯学習する星人

環境保全星人

フェイクニュースを暴く星人

共感理解星人

特別支援教育を
極めたい星人

毎年1科目ずっと
学び続けるぞ星人

70歳から学ぶ星人

SDGsを考える星人

ラジオパーソナリティー星人

アスリート星人

バリバリ社会人星人

イマドキの星人

令和NEW星人

主婦主夫星人

現役教員星人

文化、歴史を知りたい星人

心理探究星人

学んで即実践星人

インクルージョン星人

共に生きる社会を創る星人

LGBTを考える星人

人のために役に立ちたい星人

10年以上学び続けている
先輩星人

学び始めたら
人生変わった先輩星人

SEISA 星槎大学 共生科学部 通信教育課程
横浜事務局　〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80
0120-82-2686　E-mail : info@seisa.ac.jp
せいさだいがく 検索　www.seisa.ac.jp

資格取得したら
学びたいことが増えた先輩星人

学ぶのが楽しくて
仕方がない先輩星人

セカンドキャリア
大成功先輩星人

開講科目は
300
以上!

科目・資格ガイド

星槎大学の科目&資格がよくわかる!

教員紹介／費用がひと目でわかる科目紹介／取得可能免許状・資格の詳細

SEISA 星槎大学

星槎の 科目・資格が 知りたい！

どんな科目があるの？

いくらくらいかかるの？

どんな先生がいるの？

どんな資格が取れるの？

星槎へようこそ！
答えはこの冊子の中にあります。

星槎大学は科目選択の自由度がとても高い大学です。

「人と人との共生」「人と自然との共生」「国と国との共生」の観点で
身近なことから学びを科学していく共生科学部。
「教育」「福祉」「環境」「国際関係」「スポーツ身体表現」という
5つの分野を中心に専門的・横断的に学ぶことができます。
1科目から学べる星槎大学の科目を
“自分磨き”“生涯学習”“夢の実現”にぜひお役立てください。

毎日、朝早くから校舎の前を掃除している宮澤を見て、こどもたちも保護者もずっと「掃除のおじさん」だと思っていました。それが星槎を創った人だと知った一人の生徒が感謝を込めて描いたイラストです。

星槎　創設者
宮澤（みやざわ）　保夫（やすお）
◎担当科目：星槎学

私は「星槎学」の担当をしています。星槎学とは「学問」というより、「生きかた」を模索することを学び、実践することなのだと思っています。星槎の活動を通して、経験的にこどもたちに教えてもらった「学び」とは何か、行動を起こすために大切なことは何かを私の言葉でみなさんにお伝えします。これから生きていくうえでどんな方にも必要となる学問です。ぜひみなさん、受講してください。

INDEX

科目編

多彩な科目は300以上！

～5つの分野を横断して自由に選択できる～

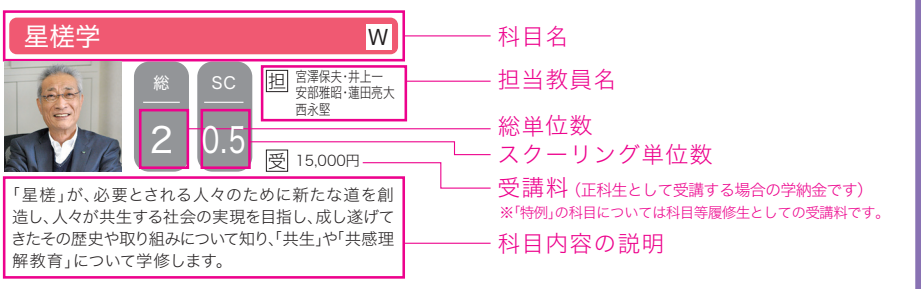
3 科目紹介の見方

4 教員紹介

10 科目一覧

18 科目紹介

科目紹介の見方



①本誌に掲載されている科目紹介の内容を見て興味関心のあるものを選択してください。
②スクーリングスケジュール（スクーリングの有無）、科目内容、単位数、学納金を確認し、履修したい科目を決めてください。

学長

山脇　直司（やまわき　なおし）

◎専門分野：実践哲学、公共哲学、社会思想史
◎担当科目：共生科学概説（1）、公共哲学、公共演習

平均年齢は30歳代半ば。多様なバックグラウンドをお持ちの方々が学ぶユニークな星槎大学で、共生社会について学び、考え、論じ合いましょう。

副学長
学部長
大学院教育学
研究科修士課程長

鬼頭　秀一（きとう　しゅういち）

専門分野／環境倫理学
担当科目／共生科学概説（2）
環境倫理、風土と内発的発展
地球環境共生演習（2）
共生と場所文化

人と自然の共生を考えると、単に自然との関係だけでなく、自然環境や自然資源に対する人と人との共生の重要性が見えます。気候正義に代表される環境正義も含めて考えていきたいですね。

大学院教育学
研究科長
博士後期課程長

今津　孝次郎（いまづ　こうじろう）

専門分野／学校臨床社会学、教育社会学
発達社会学

現実の見方として「クリティカル」ということばに惹かれます。一般に「批判」や「批評」と訳されますが、それは上辺の意味合いで、本当は「根底から捉え直す」というニュアンスだ、と私は受け止めています。

大学院教育実践
研究科長

大野　精一（おおの　せいいち）

専門分野／教育相談、生徒指導
キャリア教育、教師教育
担当科目／教育相談（中等）

学びの仲間を心から歓迎します。明日からではなく、今から始めてください。一歩一歩、日々進むことが大事です。「富士山の頂上」にはこうして登れます。

卓越教授

スマナ・バルア

専門分野／地域医療、国際保健計画学

医師・医学博士。フィリピン国立大学医学部レイテ分校にて助産師、看護師、医師の資格を取得後、東京大学医学部大学院で国際保健計画学を学び、修士号、博士号を取得。元WHO南東アジア地域事務所医務官、元WHOハンセン病対策チームリーダー。

教員紹介

大学 M P D

教　授

阿部　利彦（あべ　としひこ）

専門分野／特別支援教育、教育のユニバーサルデザイン
学校カウンセリング
担当科目／発達障害教育指導法（2）、多様な生徒の支援演習
多様な幼児・児童の支援演習

わからない事に正直になれる、そして仲間の多様な考えに共感する場を大切にしています。仲間の意見を聞くときっとあなたの宝物が増えると思います。

大学 M P D

教　授

石原　朗子（いしはら　はるこ）

専門分野／高等教育論、通信教育論、教育社会学

私もかつて社会人学生でした。働きながら学ぶことは大変ですが、自らの課題意識と学びがつながる喜びもあります。
みなさん、一緒に学んでいきましょう。

大学 M P D

教　授

天野　一哉（あまの　かずや）

専門分野／教育、コミュニケーション、メディア、ジャーナリズム
担当科目／共生科学概説（1）、共生のための教育、アカデミック・スキル
共生とメディア、世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント
アクティブラーニング演習、教職概論（初等）

「喰いもの」にされない資質能力を身につけ、信頼と民主主義を基盤とする公正で自由かつ平和な「共生社会」に変革するために、ともに学びましょう。

大学 M P D

教　授

伊藤　玄二郎（いとう　げんじろう）

専門分野／近代日本文学論、出版メディア論、国際文化交流史
担当科目／比較文化論

「比較文化論」。厳めしい響きがあるかもしれませんが、そう難しい内容ではありません。知らない事を知ることによって自分の世界が開けていくのです。

※担当科目欄は、大学（共生科学部）の科目のみ記載しています。※それぞれの枠は科目を担当する学部・研究科（専任もしくは兼担）を示します。

大学 ＝共生科学部　M ＝教育学研究科（修士課程）　P ＝教育実践研究科（専門職学位課程）　D ＝教育学研究科（博士後期課程）

教　授

うちだ　ちよこ
内田 千代子

専門分野／精神医学、学校メンタルヘルス
担当科目／発達障害と医療

言うは易く行うは難し、という諺があります。「人を認める」「人を排除しない」ために、我々は、人を知る、物事を知る努力をしなければなりません。そのような学びの基礎を修得できるよう応援していきます。

教　授

おおすみ　しんぺい
大隅 心平

専門分野／学校・学級経営、特別活動、道徳教育
　　現代社会におけるこども論
担当科目／道徳の理論・指導法（初等）、生徒・進路指導論（初等）

「主体的・対話的で深い学び」を目指すこれからの教育において、道徳教育や生徒指導はその基盤を形づくり、学びに向かう力を育みます。共に学び合う相互の関係を介して一人ひとりの成長を支える基礎について学び、実践的な指導力を身につけましょう。

教　授

かねこ　はじめ
金子 肇

専門分野／初等教育（算数）、教育課程、生徒指導
担当科目／初等教科教育法（算数）

人口知能（AI）の飛躍的な進化をはじめ、社会が急速に変化し続ける状況の中で、これからの学校教育の果たす役割を真剣に考えませんか。

教　授

さいとう　のりこ
齋藤 憲子

専門分野／初等教育（家庭科）
担当科目／教科（家庭）、初等教科教育法（家庭）、教育実習（初等）（1）・（2）
　　教職実践演習（初等）、学校ボランティア（初等）Ⅰ・Ⅱ

共生の理念のもと、時間をかけて、じっくりと自分を見つめてみましょう。そして、自分らしく目標に向かって一歩ずつ歩みを進めてください。私たちはみんな、あなたの応援団です。

教　授

ささき　しん
佐々木 伸

専門分野／国際関係、中東とテロ問題、米国政治
　　メディア・ジャーナリズム
担当科目／中東と国際社会、国際ジャーナリズム論

グローバリズムとインターネットの広がりで世界はますます複雑化、わかりにくくなっています。そうした絡み合った国際情勢を解きほぐし、世界で何が起きているのかを一緒に考えていきましょう。

教　授

しまだ　まさる
嶋田 優

専門分野／初等教育
担当科目／教科（国語）、初等教科教育法（国語）
　　教育実習（初等）（1）・（2）、教職実践演習（初等）
　　学校ボランティア（初等）Ⅰ・Ⅱ

星槎大学で学ぼうとするみなさんには、いろいろな経験を重ねて、未来への展望を拓こうとされる方が大勢いらっしゃいます。共に未来への扉を開きましょう。

教　授

ちだ　みつひさ
千田 光久

専門分野／特別支援教育
担当科目／特別支援教育論、教育実習（特別支援）

特別支援教育は共生社会の形成に向けて重要な科目です。共生社会を形成するという高い志を持ち、みなさんと共に学びの時間を充実させていきましょう。

教　授

てしま　じゅん
手島 純

専門分野／教育学、社会科教育、通信教育論
担当科目／教職概論（中等）、社会科公民科指導法Ⅰ～Ⅳ
　　教職実践演習（中等）、特例・教職入門

現在、社会の変化はとても迅速で、しかも混乱しているように思われます。それを分析し、構造を把握する必要があります。共に考え、未来へつなげましょう。

教　授

おおしま　えいいち
大嶋 英一

専門分野／国際関係、国際協力、中国政治
担当科目／共生のための国際協力、国際関係論
　　戦争と平和

世界では今も紛争や貧困が絶えません。日本に住む私たちはさまざまな課題を抱えつつも、世界的に見ればとても平和で豊かな生活を享受しているのです。共生的な世界を築くために私たちは何をすればよいでしょうか？ 一緒に考えていきましょう。

教　授

かしなが　たくぞう
樫永 卓三

専門分野／保育（造形表現）、図画工作
担当科目／教科（図画工作）、初等教科教育法（図画工作）
　　保育内容の指導法（造形表現）、特例・保育指導法

これから始まるそれぞれの学修を先ずは楽しみながら取り組んでみてください。慌てず、焦らず「ゆとり」という心の柔軟性が、素敵な閃きをたくさん引き出してくれます。

教　授

こだま　ゆうこ
児玉 ゆう子

専門分野／看護学、基礎看護学

積み重ねてこられた看護実践と知識を教育学の枠組みや共生という本学の理念のなかで、さらに深めてみませんか。

教　授

さかた　えいこ
坂田 映子

専門分野／音楽教育
担当科目／教科（音楽）、初等教科教育法（音楽）
　　保育内容の指導法（音楽表現）、教育実習（初等）（1）・（2）
　　学校ボランティア（初等）Ⅰ・Ⅱ

学校教育等でなぜ音楽を学ぶかについてみなさんは考えたことはありますか。人間教育に欠くことのできない感性や情操を一緒に学んでいきましょう。

教　授

しぶや　さとし
渋谷 聡

専門分野／スポーツ心理学、陸上競技
担当科目／共生のためのスポーツ、ボランティア活動Ⅰ～Ⅲ
　　インターンシップⅠ～Ⅲ、スポーツ（1）・（2）、陸上、バレーボール
　　陸上演習、スポーツ心理学、スポーツメンタルトレーニング
　　インクルーシブスポーツ、スポーツ調査演習
　　保健体育科指導法Ⅰ・Ⅲ、教職実践演習（中等）

スポーツには、さまざまな分野や切り口があります。いろいろな経験を通して、「気づき、考え、話し合い」、スポーツの楽しさを学びにつなげていってください。

教　授

すぎやま　なおこ
杉山 尚子

専門分野／心理学（行動分析学）
担当科目／心理学（1）・（2）、行動分析学

社会経験に根ざした課題発見がみなさんの強みです。共に学びましょう。

教　授

つぼうち　としのり
坪内 俊憲

専門分野／自然環境保全、野生動物保全管理、環境教育
担当科目／共生科学概説（2）、共生のための地球環境行動
　　いのちと食、生物多様性と資源利用
　　問題解決のための国際協働論、地球環境共生演習（1）
　　持続可能な地域開発、NGO・NPO論

多くの国で保全業務に携わってきました。保全現場についてみなさんに伝え、生き物と共に生きる未来を作ることを学び、考え、行動を起こしましょう。

教　授

ながい　あやまさ
永井 礼正

専門分野／算数、数学、算数教育、数学教育、データサイエンス
担当科目／数学的活動、統計リテラシー、教科（算数）

膨大な情報量、多様な価値観、変容の速度などに将来戸惑うことがあるかもしれません。大学での時間は、そんな時みなさんの自信になってくれるでしょう。

2020年11月現在

教　授

仲　久徳（なか　ひさのり）

専門分野／教育方法、教材及び授業開発・評価、情報教育
担当科目／教育方法・技術論（中等）、授業実践演習（中等）
教育方法・技術論（初等）、授業実践演習（初等）
特例・教育の方法と技術

学習指導要領の改訂により、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。また、今後はＡＩ時代を見据えた授業のあり方等も検討していく必要があります。基本的な授業づくりの方法とともに時代の要請に応じた授業づくりの方法について一緒に学んでいきましょう。

教　授

西村　哲雄（にしむら　てつお）

専門分野／理科教育
担当科目／初等教科教育法（理科）

自然との共生は、待ったなしです。日常生活におけるさまざまな自然現象に常に関心を持ち、そのメカニズムや共生のあり方について学修しましょう。

教　授

平岡　麻里（ひらおか　まり）

専門分野／イギリス教育史、日英教育交渉史
英語教育（English for Specific Purposes）
担当科目／実践英語コミュニケーションⅡ、英語表現（conversation）
英語演習（1）、地域研究（3）

何のために英語を学ぶのでしょうか。どうして日本のこどもたちに英語を学んでほしいのでしょうか。単に「英語が好き」「海外に興味がある」を越えた先にある自身と日本、そして世界の未来を一緒に考えていきましょう。

教　授

保屋野　初子（ほやの　はつこ）

専門分野／環境分野
担当科目／共生科学概説（2）、環境社会学、水環境論
地球環境共生演習（2）

環境問題は、人間社会の自然へのかかわり方や社会の仕組みから生じ、問題が現れる「現場」があることが特徴です。そこを見ることで解決への道筋、私たちがどう行動すべきかが見えてくるでしょう。

教　授

丸本　茂樹（まるもと　しげき）

専門分野／学級経営、特別活動、学校経営
担当科目／教職実践演習（中等）、特別活動の指導法（初等）
教職実践演習（初等）

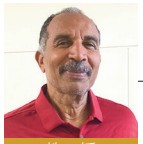
教員に求められているのは、教育に対する熱い思い、豊かな人間性、児童生徒のよさや可能性を引き出す力、組織の一員として自覚を高めることです。実践的な指導力を身につけ信頼される教員を目指しましょう。

教　授

三輪　建二（みわ　けんじ）

専門分野／生涯学習論、成人教育論、省察的実践論、教育学
担当科目／生涯学習論

星槎大学は学生の平均年齢が30代半ばの生涯学習の大学です。高校から入った方も社会人も、一緒に学び、考える機会を作り出したいと思います。



教　授

リチャード・キース・ゴードン

専門分野／英語教育、カリキュラム開発
外国にルーツを持つ生徒教育、共生実践

安心できるあたたかい雰囲気で学びを重ねるアカデミックな旅にようこそ！ みなさんのために何かできることはないかと思っていますので、遠慮なく声をかけてください。

准教授

伊藤　一美（いとう　かずみ）

専門分野／認知心理学、発達障害、特別支援教育
担当科目／認知心理学、言語発達学
知的障害児・者の心理・生理・病理

さまざまなこどもたちが共生できる学校を目指しています。こどもたちを中心においた学校教育、インクルージョンの概念について、共に考えましょう。

教　授

西永　堅（にしなが　けん）

専門分野／臨床心理学、特別支援教育、インクルージョン
担当科目／星槎学、発達障害概論、知的障害児・者への支援
発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ・Ⅱ

インクルージョンは、みんなが同じではなく、みんなそれぞれ違っていいという考え方です。「同じ」だけではなく「違い」をぜひ磨いていきましょう。

教　授

仁平　義明（にへい　よしあき）

専門分野／教育臨床科学（ほめ、いじめ、レジリエンス、心の回復）
担当科目／教育心理学（中等）

いじめ・虐待・貧困の影響は、しばしば生涯続きます。けれど、負の連鎖に陥らず健康な「心の回復」をしていくこどもがいます。だれかが、その子たちに人間を信じさせ、未来を見せ、希望を与えたからです。教育の目的はそこにあります。

教　授

細田　満和子（ほそだ　みわこ）

専門分野／社会学、生命倫理学、公衆衛生学
担当科目／共生のための国際協力、ボランティアの基礎、社会学
医療社会学、公衆衛生学

私たちは誰かに支えられながら誰かを支えながらこの社会に生きています。共に生きる社会に気づき、そこから学んでいく航海に一緒に出掛けましょう。

教　授

松枝　美智子（まつえだ　みちこ）

専門分野／看護学、精神看護学、看護教育学

看護学は実践の科学ですが、臨床や教育の現場を離れ学ぶ時間を持つことで、普段見慣れた看護現象が違った景色（意味）として捉えられることがあります。私は、星槎大学での学びが皆さんの視野を拡げることにきっと役立つと確信しています。

教　授

三田地　真実（みたち　まみ）

専門分野／行動分析学、ファシリテーション
担当科目／ファシリテーションの基礎、応用行動分析学

星槎の共生の理念を、頭でしっかり論理的に考えつつ、体もしっかり動かし実現できることを目指して、授業を展開しています。是非、一緒に学修しながら実行しましょう！

教　授

大和　洋子（やまと　ようこ）

専門分野／比較教育学
CLIL（Content and Language Integrated Learning）教授法
多文化共生、国際教育課程
担当科目／異文化理解、英語演習（2）、教職実践演習（中等）
英語科指導法Ⅰ、英語科指導法Ⅳ

幅広い年齢層の、さまざまなバックグラウンドを持つ人が集まる星槎の魅力は多様性にあると思います。好奇心にあふれ、感動する心を忘れなければ、歳は関係ありませんね。気持ちは常に若く、互いに学び合いましょう。

准教授

浅見　奈緒子（あさみ　なおこ）

専門分野／科学教育、理科教育、天文学、科学コミュニケーション
担当科目／科学コミュニケーション、教科（理科）

「科学的知識」だけではなく「科学の考え方」を知り、実践して、理科を学ぶことの意味、楽しさ、世界が広がることを一緒に伝えていきましょう。

准教授

岩澤　一美（いわさわ　かずみ）

専門分野／発達障害、特別支援教育
担当科目／特別の支援を必要とする生徒の理解
特別の支援を必要とする幼児・児童の理解

発達に特性のあるこどもたちに、家庭であるいは学校でどのような支援ができるのか。それはそれぞれのこどもの持つ「困り感」を理解することから始まります。この「困り感」を見る目を一緒に養っていきましょう。

※担当科目欄は、大学（共生科学部）の科目のみ記載しています。※それぞれの枠は科目を担当する学部・研究科（専任もしくは兼担）を示します。

大学 ＝共生科学部　M ＝教育学研究科（修士課程）　P ＝教育実践研究科（専門職学位課程）　D ＝教育学研究科（博士後期課程）

准教授

斎藤 俊則（さいとう としのり）

専門分野／情報教育、メディア・リテラシー
担当科目／情報処理、教育方法・技術論（初等）

ICTの基盤に立つ社会で誰もが「自由」を享受するためには何が必要でしょうか。「素人がICTの中身を学ぶ必要はない」と言いますが、本当でしょうか。

准教授

砂田 淳一郎（すなだ じゅんいちろう）

専門分野／老人福祉、介護労働、社会保障
担当科目／入門・生活と社会保障、保健医療と福祉
ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク演習（専門）
ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ

星槎大学へようこそ！ 今後みなさんと一緒に「共生」の視点から「福祉」を考え、学修できることを楽しみにしております。共に学び、歩んでいきましょう！

准教授

中安 恆太（なかやす こうた）

専門分野／児童福祉、社会的養護、里親・ファミリーホーム
担当科目／貧困と社会的養護、相談援助入門、児童・家庭福祉
ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク演習（専門）
ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ

今まで培ってきたさまざまな経験を学問と結びつけながら学修していきましょう。そして、共に成長できることを楽しみにしています。

講　師

川面 聡大（かわつら そうた）

専門分野／コーチング学、陸上競技
担当科目／スポーツ（1）・（2）
陸上、陸上演習、コーチング演習

スポーツを楽しみ、全力で取り組むことによって、さまざまなことを経験し、学ぶことができます。その学びを通して、人間的に成長していってもらいたいと思います。

講　師

髙木 由起子（たかぎ ゆきこ）

専門分野／アダプテッド・スポーツ、教科教育、コーチング学
担当科目／共生のためのスポーツ、ボランティア活動Ⅰ～Ⅲ
インターンシップⅠ～Ⅲ、スポーツ（1）・（2）、体つくり運動
水泳、球技演習、コミュニティスポーツ論
保健体育科指導法Ⅱ・Ⅳ

新学習指導要領により、共生社会の実現に向け、障がいのある生徒とない生徒が共に体育授業を行う「インクルーシブ体育」の実現が求められています。星槎大学で一緒に学びませんか。

講　師

古川 潔（ふるかわ きよし）

専門分野／発達障害児・者の支援　個性化教育
担当科目／発達障害教育指導法（1）

星槎大学へようこそ。多様な立場、考え方の人たちとの出会いが通信制大学のおもしろさです。学びを人生に適用し、新たな道を切り開いていきましょう。

助　教

津田 絵美（つだ えみ）

専門分野／看護学

本学では共生の理念に基づいて、多様なカリキュラムを組んでいます。これまでの実践能力と知識を教育学の枠組みの中でさらに深めてみませんか。

准教授

斎藤 やす子（さいとう やすこ）

専門分野／学校カウンセリング（教育相談）、キャリア発達、メンタルヘルス
担当科目／カウンセリングの基礎、学校ボランティア（中等）Ⅰ・Ⅱ
教育カウンセリング、特別の支援を必要とする生徒の理解
現代社会とメンタルヘルス、教育実習（中等）Ⅰ（1）・（2）
教育実習（中等）Ⅱ

これから始まる学生生活の楽しさは、スクーリングで学び合う多世代の仲間との出会いです。楽しみながら学んでください。

准教授

ダニエル・ジョセフ・ウッズ

専門分野／英語教育、教材研究
担当科目／英語コミュニケーション（1）・（2）
実践英語コミュニケーションⅠ
英語表現（writing）（presentation）
異文化間コミュニケーション

We welcome you to this English study class. We will study "modern" English and practice the best way to communicate with people. You can learn the joy and satisfaction of using English.

准教授

東 智美（ひがし さとみ）

専門分野／東南アジア地域研究、開発学、国際関係
担当科目／アジアの近代と社会、グローカル社会論
地域研究概論

海外の環境・社会問題やそれらの問題と私たちの関わりを学ぶことで、社会のなかで起こる出来事を多角的に見る視点、批判的な思考力、他者との共感力を磨いていきましょう。

講　師

佐藤 由加子（さとう ゆかこ）

専門分野／特別支援教育

学級の中の個性豊かな一人ひとりが自分らしく過ごす方法を考えます。ぜひ一緒に学びましょう。

講　師

土岐 玲奈（ときれいな）

専門分野／学校臨床学、教育相談、教育心理学

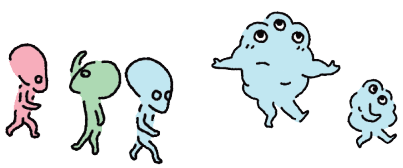
知識のインプット／アウトプットだけではなく、自分のものの見方、感じ方を知ることも大切な学びです。自分自身を深く知り、認めることは、人を認め、共に生きることのベースになります。共に学びを深めていきましょう。

講　師

堀川 徹（ほりかわ とおる）

専門分野／日本古代史、日本史教育
担当科目／歴史概説Ⅰ、日本史Ⅰ・Ⅱ、日本史演習

「歴史を学ぶ」とはどういうことでしょうか。暗記をすること？それとも？歴史的な知識を得るだけでなく、「歴史学」そのものや「歴史を学ぶ意義」についても共に考えてみましょう。



2020年11月現在

特任教授

あらい いくお
新井 郁男
《専門分野》教育社会学
生涯学習論
教育経営論

いしだ ひでき
石田 秀輝
《専門分野》環境科学
《担当科目》共生ビジネス創成論
持続可能社会創生学
地球環境共生演習(3)

うえはら まさき
上原 正希
《専門分野》社会福祉

おおや ひろし
大家 寛
一般社団法人スペースウェザー協会
代表理事
《専門分野》宇宙研究
ブラックホール観測

かとう けんいち
加藤 憲一
前小田原市長
《専門分野》基礎自治体経営
持続可能な地域社会づくり

さとう ともひこ
佐藤 智彦
《専門分野》内科学、看護学教育
血液内科学、輸血学

すずき けいた
鈴木 慶太
星槎大学附属
総合キャリア支援センター

とうどう えいこ
藤堂 栄子
星槎大学附属
エクステンションセンター

ながい こずえ
長井 梢
《専門分野》家庭科教育、被服、食物

なかじま いさお
中島 功
《専門分野》動物生理・行動
ネットワーク工学

にしはら ともあき
西原 智昭
《専門分野》動物学
《担当科目》生態資源と
グローバル社会

ひらいで ひこひと
平出 彦仁
《専門分野》教育心理学

ますやま としかず
増山 壽一
《専門分野》国際関係

みずうち ひろし
水内 宏
《専門分野》教育学
《担当科目》教育課程論(中等)
教育課程論(初等)
特例・学校の制度

もりかわ かずこ
森川 和子
《専門分野》微生物生態学

やまぐち みちひろ
山口 道宏
《専門分野》社会福祉、高齢者福祉
社会政策、権利擁護
福祉文化論
《担当科目》共生科学概説(1)
共生のための福祉
共生とメディア
編集コミュニケーション論
福祉文化論
少子高齢化とコミュニティ

特任准教授

あべ まさあき
安部 雅昭
《専門分野》学校心理、教育相談
《担当科目》星槎学

かねこ よしのり
金子 柱憲
プロゴルファー

すえつぐ しんご
末續 慎吾
《専門分野》陸上競技

みつもり むつこ
三森 睦子
《専門分野》特別支援教育、家族社会学
《担当科目》キャリアデザイン(1)～(4)
発達障害教育指導法(1)

特任講師／非常勤講師

青葉 幸洋
青柳 和夫
安久津 太一
浅井 泰詞
朝田 郁
天利 公一
天利 智子
飯田 路佳
石塚 勝郎
石坂 誠
和泉 良司
板野 昌儀
井手口 学
伊東 一郎
伊藤 栄治
伊東 享子
伊藤 わらび
井上 紀代
井上 一
今井 文男
岩井 雪乃
上坂 恒章
魚瀬 美智子
内尾 太一
内田 匡輔
内田 友美
内山 絵美子
江川 陽

遠藤 理一
太田 眞知子
大竹 良夫
大槻 茂久
大貫 耕一
大溝 茂
岡崎 秀人
緒方 英好
岡野 浩
奥山 靖彦
小倉 晃布
小澤 敬子
片山 雅男
加藤 陽一郎
金沢 翔一
金澤 信之
神山 努
河内 麻里
菊田 幸子
菊地 恵美子
菊地 マリコ
木口 由香
北原 秀治
北原 ふみ子
キャン ヒロユキ
喜屋武 睦
工木 武雄
久住 英二

久保 潤二郎
黒石 憲洋
黒鳥 英俊
桑原 正子
神門 大輔
小嶋 義勝
小堂 十
後藤 譲二
後藤 政志
小中 さつき
小西 保勝
古壕 典洋
小松 栄生
小松 寛
呉屋 英樹
斎藤 寿葉
齋藤 澄子
齋藤 信一
齊藤 正
斎藤 利之
坂 敬介
相良 好美
桜井 智野風
佐々木 悦子
佐々木 剛
佐藤 貴洋
澤田 真由美
澤谷 常清

三反田 和人
重藤 誠市郎
設楽 澄子
澁谷 美智子
清水 直治
新角 耕司
神野 周太郎
杉浦 善次郎
杉山 正明
杉本 洋子
鈴木 敦子
鈴木 知佐子
鈴木 正章
鈴木 洋祐
住本 純
平 雅夫
高柿 健
髙木 文堂
高野 千春
髙野 幸嗣
高橋 和子
高橋 謙造
高橋 正尚
髙橋 満彦
高村 哲郎
武井 博美
竹田 久美子
立田 恵子

田中 純江
田中 敏哲
谷口 かおり
田巻 以津香
田村 賢哉
千葉 佳裕
張 悦
堤 健太郎
堤 茂樹
坪倉 正治
東矢 光代
徳永 亜希雄
徳野 裕子
戸佐 晃一
豊田 宗裕
内藤 克人
長岡 邦子
永翁 一代
中島 知之
中島 義博
仲宗根 森敦
中西 茂
中西 徹
中道 真記子
中山 匡美
西川 温子
西田 陽二
西野 明

西原 扶美雄
西巻 丈児
根占 献一
原 隆幸
南風野 久子
橋本 絵美子
橋本 敬子
蓮田 亮大
服部 由季夫
林 浩二
林 直樹
林 尚示
林田 はるみ
原 隆幸
朴 京眞
飛田 仁
日髙 義治
日髙 智彦
樋原 理恵
平井 朗
平井 俊顕
平田 乃美
深堀 浩樹
福士 徳文
藤田 耕平
古庄 信
星 信彦
細村 迪夫

堀 有伸
堀 直人
前嶋 深雪
升 佑二郎
松浦 聡
松崎 敦子
松崎 光一
松永 章生
松永 敏
松本 秀彦
松本 幸広
水野 文雄
南 哲朗
南 美智子
南口 順子
三村 悟
宮崎 文彦
宮田 肇子
宮田 光子
宮武 三郎
宮寺 良光
望月 隆之
桃井 陽子
安田 祐造
矢野 宏光
矢原 絵理
山崎 龍弥
山崎 龍之

山田 美絵子
山田 裕師
山中 徳子
山梨 彰
山本 朋子
山本 奈美
吉江 幸子
吉田 毅
吉田 保男
吉鷹 幸春
吉原 昌子
吉村 春美
與名本 稔
和田 雅史
渡辺 英次
渡辺 圭佑
渡邊 千恵子
渡辺 雅之
渡部 斎
渡部 陽介
綿貫 慶徳

客員教授

赤祖父 俊一（あかそふ しゅんいち）

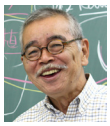
アラスカ大学国際北極圏研究センター
（IARC）初代所長
地球物理学者

東 博史（あずま ひろし）

星槎大学附属国際問題研究所
元ポルトガル共和国駐箚特命全権大使

市澤 豊（いちさわ ゆたか）

元北海道立特別支援教育センター所長



糸永 正之（いとなが まさゆき）

アラスカ大学フェアバンクス校特別顧問
《担当科目》ブータン学

色平 哲郎（いろひら てつろう）

佐久総合病院地域ケア科医長
特定非営利活動法人「アイザック」事務局長
内科医
《担当科目》生命倫理

王 智新（おう ちしん）

上海中僑職業技術学院 教授
華東師範大学中日職業教育研究センター
常任センター長

大橋 力（おおはし つとむ）

文明科学研究所所長
「芸能山城組」主宰

岡元 隆治（おかもと たかはる）

元TBS報道局長

奥寺 康彦（おくでら やすひこ）

横浜FC（Jリーグ）会長
元サッカー日本代表

奥野 和年（おくの かずとし）

社会福祉法人報恩会理事長

加藤 登紀子（かとう ときこ）

シンガーソングライター
WWF（公益財団法人世界自然保護基金）
ジャパン顧問
元UNEP（国連環境計画）親善大使

上 昌広（かみ まさひろ）

特定非営利活動法人
「医療ガバナンス研究所」理事長
内科医

川角 靖彦（かわすみ やすひこ）

総務省参与
日本ITU協会特別顧問

城内 実（きうち みのる）

衆議院議員

北川 達夫（きたがわ たつお）

テスト開発技術者
Space BD株式会社 教育事業
シニアアドバイザー

久保 光雄（くぼ みつお）

みらいコンサルティング株式会社代表取締役
公認会計士

紅楳 英信（こうばい ひでのぶ）

公益財団法人日本スケート連盟
スピードスケート医・科学・情報調整統括
情報部門責任者

近藤 誠一（こんどう せいいち）

公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
理事長
一般社団法人 TAKUMI 代表理事
元文化庁長官

志方 俊之（しかた としゆき）

元陸上自衛隊 北部方面総監
元東京都災害対策担当参与

杉田 弘毅（すぎた ひろき）

共同通信社 特別編集委員

角 茂樹（すみ しげき）

玉川大学客員教授
前駐ウクライナ特命全権大使

武田 佐知子（たけだ さちこ）

大阪大学名誉教授
元大阪大学副学長

武田 康男（たけだ やすお）

気象予報士

谷口 正次（たにぐち まさつぐ）

資源・環境・文明ジャーナリスト
地球システム・倫理学会理事

辻 正次（つじ まさつぐ）

神戸国際大学学長
公益財団法人小森記念財団理事
公益財団法人KDDI財団評議員
（株）ダイニック社外取締役

土屋 了介（つちや りょうすけ）

公益財団法人 ときわ会 顧問
外科医
学校法人国際学園理事長付特命顧問

テイン・テイン・タイ

ミャンマー連邦共和国元保健省副大臣

寺山 千代子（てらやま ちよこ）

日本自閉症スペクトラム学会 事務局長
《担当科目》自閉症児・者の心理
自閉症児・者への支援

寺脇 研（てらわき けん）

元文部科学省 大臣官房審議官
映画評論家
落語評論家

中井 徳太郎（なかい とくたろう）

環境省 環境事務次官

秦 順一（はた じゅんいち）

公益財団法人実験動物中央研究所理事
国立研究開発法人国立成育医療研究
センター名誉総長

ピエール・リトバルスキー

ヴォルフスブルク ブランドアンバサダー
元サッカー西ドイツ代表

文沢 元雄（ふみざわ もとお）

元湘南工科大学
工学部機械システム工学科教授
星槎道都大学非常勤講師
元日本原子力研究所主任研究員

マイケル・ノーベル

元ノーベル・チャリタブル・トラスト財団
理事長

マッケンジー・ソープ

アーティスト

松村 有子（まつむら ともこ）

内科医

村木 能也（むらき よしや）

フクダ電子株式会社テクニカルフェロー

吉澤 保幸（よしざわ やすゆき）

ぴあ株式会社 常務取締役
南砺市政策参与
一般社団法人 場所文化フォーラム名誉理事
税理士

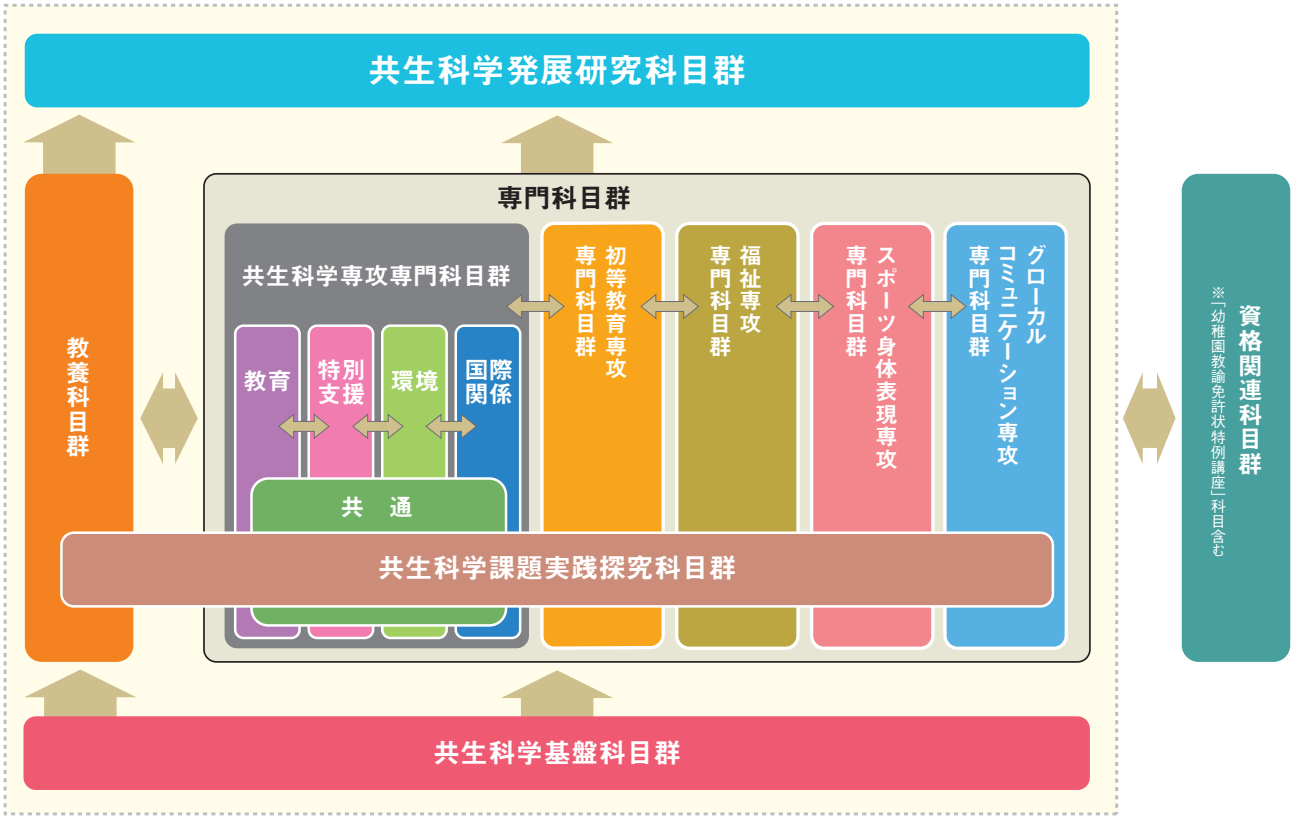
H. E. リョン ダゴ・ツェリン

元駐日ブータン大使

2020年11月現在

星槎大学 科目一覧

カリキュラム構造図



専攻について（正科生）

共生科学専攻

共生科学部の中心となる、教育、特別支援教育、環境、国際関係が連携するカリキュラムで構成されています。共生科学を中心に学士取得を目指す方や、中学校社会や高等学校地理歴史、公民、特別支援学校の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な教員免許状:中学校教諭（社会）、高等学校教諭（地理歴史）（公民）
特別支援学校教諭（領域:知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

初等教育専攻

幼稚園もしくは小学校、または両方の教員免許状の取得を希望されている方が対象です。

取得可能な教員免許状:幼稚園教諭、小学校教諭

福　祉　専　攻

社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望されている方が対象です。
社会福祉士国家試験受験資格取得を目指す場合、「福祉専攻」でなければ受験資格は得ることができません。
※福祉専攻であればソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク演習（専門）、ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱの5科目を履修することができます。

スポーツ身体表現専攻

スポーツを中心とした身体表現に関するカリキュラムで構成され、主として保健体育（中・高）の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な教員免許状:中学校教諭（保健体育）、高等学校教諭（保健体育）

グローカルコミュニケーション専攻

グローバルな視野のもとでローカル（地域や国）の視点から考え行動できることを目指したカリキュラムで構成され、主として英語（中・高）の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な教員免許状: 中学校教諭（英語）、高等学校教諭（英語）

星槎大学を卒業するための要件（正科生）

共生科学専攻

１年次入学

①4年以上の在学 ※休学等を除いた本学での在学期間が4年以上
②124単位（うち、スクーリング30単位以上）以上の修得

履修上の注意
- 専門科目群より60単位以上修得すること
  （うち、共生科学専攻専門科目群より50単位以上、共生科学専攻専門科目群共通専門科目より20単位以上）
- 教養科目群より6単位以上修得すること
- 必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上 （選択必修は、「共生のための教育」「共生のための地球環境行動」「共生のための国際協力」のいずれかを履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

２年次編入学

①3年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②94単位（うち、スクーリング23単位以上）以上の修得

履修上の注意
- 専門科目群より60単位以上修得すること
  （うち、共生科学専攻専門科目群より50単位以上、共生科学専攻専門科目群共通専門科目より20単位以上）
- 教養科目群より3単位以上修得すること
- 必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上 （選択必修は、「共生のための教育」「共生のための地球環境行動」「共生のための国際協力」のいずれかを履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

３年次編入学

①2年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②62単位（うち、スクーリング15単位以上）以上の修得

履修上の注意
- 専門科目群より40単位以上修得すること
  （うち、共生科学専攻専門科目群より30単位以上、共生科学専攻専門科目群共通専門科目より10単位以上）
- 必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は2単位以上 （選択必修は、「共生のための教育」「共生のための地球環境行動」「共生のための国際協力」のいずれかを履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

４年次編入学

①1年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②32単位（うち、スクーリング8単位以上）以上の修得

履修上の注意
- 専門科目群より19単位以上修得すること
  （うち、共生科学専攻専門科目群より15単位以上、共生科学専攻専門科目群共通専門科目より6単位以上）
- 必修科目の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位 ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

初等教育専攻

1年次入学

①4年以上の在学 ※休学等を除いた本学での在学期間が4年以上
②124単位（うち、スクーリング30単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より80単位以上修得すること（うち、初等教育専攻専門科目群より70単位以上）
・教養科目群より6単位以上修得すること
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上（うち、「共生のための教育」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

3年次編入学

①2年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②62単位（うち、スクーリング15単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より52単位以上修得すること（うち、初等教育専攻専門科目群より42単位以上）
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は2単位以上（うち、「共生のための教育」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

福祉専攻

1年次入学

①4年以上の在学 ※休学等を除いた本学での在学期間が4年以上
②124単位（うち、スクーリング30単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より60単位以上修得すること（うち、福祉専攻専門科目群より50単位以上）
・教養科目群より6単位以上修得すること
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上（うち、「共生のための福祉」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

3年次編入学

①2年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②62単位（うち、スクーリング15単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より40単位以上修得すること（うち、福祉専攻専門科目群より30単位以上）
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は2単位以上（うち、「共生のための福祉」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

スポーツ身体表現専攻

1年次入学

①4年以上の在学 ※休学等を除いた本学での在学期間が4年以上
②124単位（うち、スクーリング30単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より60単位以上修得すること（うち、スポーツ身体表現専攻専門科目群より50単位以上）
・教養科目群より6単位以上修得すること
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上（うち、「共生のためのスポーツ」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

3年次編入学

①2年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②62単位（うち、スクーリング15単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より40単位以上修得すること（うち、スポーツ身体表現専攻専門科目群より30単位以上）
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は2単位以上（うち、「共生のためのスポーツ」は必ず履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

グローカルコミュニケーション専攻

1年次入学

①4年以上の在学 ※休学等を除いた本学での在学期間が4年以上
②124単位（うち、スクーリング30単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より60単位以上修得すること（うち、グローカルコミュニケーション専攻専門科目群より50単位以上）
・教養科目群より6単位以上修得すること
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は4単位以上 （選択必修は、「共生のための教育」「共生のための地球環境行動」「共生のための国際協力」のいずれかを履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

3年次編入学

①2年以上の在学 ※休学等を除いた他大学等と本学との通算在学期間が4年以上
②62単位（うち、スクーリング15単位以上）以上の修得

履修上の注意
・専門科目群より40単位以上修得すること（うち、グローカルコミュニケーション専攻専門科目群より30単位以上）
・必修科目（必修＋選択必修）の単位を修得すること

必修科目	①**共生科学基盤科目群**より必修科目6単位、選択必修科目は2単位以上 （選択必修は、「共生のための教育」「共生のための地球環境行動」「共生のための国際協力」のいずれかを履修すること） ②**共生科学発展研究科目群**より4単位以上

科目一覧

必修科目について（正科生）

共生科学基盤科目群

必修科目

科目名	総単位	SC単位
星槎学	2	0.5
共生科学概説(1)	2	0.5
共生科学概説(2)	2	0.5

選択必修科目

科目名	総単位	SC単位
共生のための教育	2	0.5
共生のための地球環境行動	2	0.5
共生のための国際協力	2	0.5
共生のための福祉	2	0.5
共生のためのスポーツ	2	0.5
共生入門	2	0.5
プレゼミ	2	0.5
卒業制作演習	2	1
キャリアデザイン(1)	1	1
キャリアデザイン(2)	1	1
キャリアデザイン(3)	1	1
キャリアデザイン(4)	1	1

※選択必修科目の必要科目および単位数は入学専攻・入学年次によって異なります。

共生科学発展研究科目群

科目名	総単位	SC単位
共生研究	4	1
卒業論文	6	2
卒業制作	4	1

備考について

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。

W …Webライブスクーリング
Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。

オ …オンデマンドスクーリング
インターネットを介し、動画視聴にて、いつでもどこでも受講できる科目です。

会 …会場スクーリング
星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。

※「or」「&」の記載がある科目について
or 複数の受講方式からご自身で選択して受講
& 複数の受講方式を組み合わせて受講

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
共生科学基盤科目群	必修科目		星槎学	宮澤・井上・安部・蓮田・西永	2	0.5	W
			共生科学概説(1)	山脇・天野・山口	2	0.5	W
			共生科学概説(2)	坪内・保屋野・鬼頭	2	0.5	W
	選択必修科目		共生のための教育	天野一哉ほか	2	0.5	W
			共生のための地球環境行動	坪内 俊憲	2	0.5	W
			共生のための国際協力	大嶋・細田	2	0.5	W
			共生のための福祉	山口 道宏	2	0.5	W
			共生のためのスポーツ	渋谷・髙木	2	0.5	W
			共生入門	専任教員	2	0.5	会
			プレゼミ	専任教員	2	0.5	W or 会
			卒業制作演習	専任教員	2	1	W
			キャリアデザイン(1)	三森睦子ほか	1	1	W
			キャリアデザイン(2)	三森睦子ほか	1	1	W
			キャリアデザイン(3)	三森睦子ほか	1	1	W
			キャリアデザイン(4)	三森睦子ほか	1	1	★
共生科学発展研究科目群			共生研究	専任教員	4	1	W or 会
			卒業論文	専任教員	6	2	会
			卒業制作	専任教員	4	1	会
共生科学課題実践探究科目群			ボランティア活動Ⅰ	髙木・渋谷	2	2	
			ボランティア活動Ⅱ	髙木・渋谷	2	2	
			ボランティア活動Ⅲ	髙木・渋谷	2	2	
			インターンシップⅠ	渋谷・髙木	2	2	
			インターンシップⅡ	渋谷・髙木	2	2	
			インターンシップⅢ	渋谷・髙木	2	2	
教養科目群			アカデミック・スキル	天野 一哉	2	0.5	W
			編集コミュニケーション論	山口 道宏	2	0.5	W
			ジョブ・スキル	菊地 マリコ	2	0.5	会
			ファシリテーションの基礎	三田地 真実	2	0.5	W
			ボランティアの基礎	細田 満和子	2	0.5	W or オ
			カウンセリングの基礎	斎藤・石塚・小嶋	2	1	W or 会
			数学的活動	永井 礼正	2	0.5	W
			統計リテラシー	永井 礼正	2	0.5	W
			社会調査法	新角 耕司	2	0.5	W or オ
			情報処理	斎藤 俊則	2	0	
			科学コミュニケーション	浅見 奈緒子	2	0.5	W
			共生とメディア	天野・山口	2	0.5	W
			日本国憲法	小中 さつき	2	0	
			スポーツ(1)	渋谷・川面・髙木・戸佐	1	0.5	オ & 会
			スポーツ(2)	渋谷・川面・髙木・戸佐	1	0.5	オ & 会
			英語コミュニケーション(1)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			英語コミュニケーション(2)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			中国語コミュニケーション	張 悦	2	0	
			韓国語コミュニケーション	中道 真記子	2	0	
専門科目群	共生科学専攻専門科目群	共通専門科目	臨床心理学	平 雅夫	2	1	W
			発達障害概論	西永 堅	2	1	W
			特別支援教育論	千田 光久	2	1	W or オ
			平和学	平井 朗	2	0.5	W
			芸術への対話	安久津 太一	2	0.5	会
			いのちと食	坪内 俊憲	2	0	
			共生社会のための技術	後藤 政志	2	0.5	W or オ
			ソーシャル・マーケティング	髙木 文堂	2	0.5	W

… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	共生科学専攻専門科目群	共通専門科目	共生ビジネス創成論	石田 秀輝	2	0.5	W
			ブータン学	糸永 正之	1	1	会
			表現(パフォーマンス)演習	キャン ヒロユキ	2	0.5	W
			歴史概説Ⅰ	堀川 徹	2	0.5	W or オ
			歴史概説Ⅱ	堤 茂樹	2	0.5	W or オ
			地理概説Ⅰ	齊藤 正	2	0.5	W or オ
			地理概説Ⅱ	齊藤 正	2	0	
			地理情報システム(GIS)演習	田村 賢哉	2	0.5	W
			法学Ⅰ	堤 健太郎	2	0	
			法学Ⅱ	堤 健太郎	2	0	
			政治学	宮﨑 文彦	2	0.5	W or オ
			国際法	小中 さつき	2	0.5	W or オ
			国際関係論	大嶋 英一	2	0.5	W
			環境法	髙橋 満彦	2	0.5	W or オ
			社会学	細田 満和子	2	0.5	W or オ
			経済学	平井 俊顕	2	0	
			医療社会学	細田 満和子	2	0	
			環境社会学	保屋野 初子	2	0.5	W or オ
			哲学・倫理学	西巻 丈児	2	0.5	W or オ
			宗教学	岡野 浩	2	0.5	W
			公共哲学	山脇 直司	2	0.5	W or オ
			環境倫理	鬼頭 秀一	2	0	
			公共演習	山脇 直司	2	0.5	W
			平和演習	小松 寛	2	0.5	W
			人権演習	渡辺 雅之	2	0.5	W
			持続可能な開発のための教育(ESD)	林 浩二	2	0.5	W & オ
			日本史Ⅰ	堀川 徹	2	0.5	W or オ
			日本史Ⅱ	堀川 徹	2	0	
			外国史Ⅰ	根占 献一	2	0.5	W
			外国史Ⅱ	根占 献一	2	0	
			地誌概論	齊藤 正	2	0.5	W
			共生科学実践演習	専任教員	2	1	W
			特別ゼミナール	専任教員	2	1	W
			共生科学実践特別演習(1)	専任教員	1	1	会
			共生科学実践特別演習(2)	専任教員	2	2	会
			共生科学実践特別演習(3)	専任教員	4	4	会
			共生科学実践特別演習(4)	専任教員	8	8	会
			アート・デザイン共生学演習(1)	上坂恒章ほか	1	1	会
			アート・デザイン共生学演習(2)	上坂恒章ほか	1	1	会
			アート・デザイン共生学演習(3)	上坂恒章ほか	1	1	★
			アート・デザイン共生学演習(4)	上坂恒章ほか	1	1	★
			課題研究／共生レポートⅠ	専任教員	2	0	
			課題研究／共生レポートⅡ	専任教員	2	0	
			課題研究／共生実習Ⅰ	専任教員	2	2	会
			課題研究／共生実習Ⅱ	専任教員	2	2	会
		教育専門科目	教育原理(中等)	古壕 典洋	2	0	
			教職概論(中等)	手島 純	2	0.5	W or オ
			教育経営・学校安全論(中等)	今井 文男	2	0.5	W or オ
			教育心理学(中等)	仁平 義明	2	0	
			教育課程論(中等)	水内 宏	2	0.5	W or オ
			教育方法・技術論(中等)	仲・坂	2	0.5	W & オ

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	共生科学専攻専門科目群	教育専門科目	生涯学習論	三輪 建二	2	0	
			世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	天野・吉村	2	0.5	W
			ワーク・ライフ・バランス論	澤田 真由美	2	0	
			授業実践演習(中等)	仲 久徳	2	0.5	オ & 会
			アクティブラーニング演習	天野 一哉	2	0.5	W
			学校ボランティア(中等)Ⅰ	斎藤・天利	1	1	W & オ
			学校ボランティア(中等)Ⅱ	斎藤・天利	1	1	★
			心理学(1)	杉山 尚子	2	0	
			心理学(2)	杉山 尚子	2	0	
			教育相談(中等)	大野 精一	2	0.5	W or オ
			教育カウンセリング	斎藤・石塚・小嶋	2	1	W or 会
			行動分析学	杉山 尚子	2	1	W
			認知心理学	伊藤 一美	2	0.5	W
			言語発達学	伊藤 一美	2	0.5	W
			教育特別講義	専任教員	1	1	
		特別支援専門科目	知的障害教育総論	清水 直治	2	0.5	W or オ
			知的障害児・者の心理・生理・病理	伊藤 一美	2	0	
			知的障害児・者への支援	西永 堅	2	0	
			肢体不自由教育総論	細村 迪夫	2	0	
			肢体不自由児・者の心理・生理・病理	徳永 亜希雄	2	0	
			肢体不自由児・者への支援	細村 迪夫	2	0	
			病弱教育総論	南風野 久子	2	0	
			病弱児・者の心理・生理・病理	南風野 久子	2	0	
			病弱児・者への支援	南風野 久子	2	0	
			聴覚障害教育総論	喜屋武 睦	2	0	
			視覚障害教育総論	樋原 理恵	2	0	
			障害児教育総論	神山 努	2	0	
			応用行動分析学	三田地・神山	2	0.5	W
			発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	西永 堅	1	1	W
			発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	西永 堅	1	1	会
			発達障害教育指導法(1)	古川・三森	2	1	W
			発達障害教育指導法(2)	阿部 利彦	2	1	W
			自閉症児・者の心理	寺山 千代子	2	0	
			自閉症児・者への支援	寺山 千代子	2	0	
			聴覚・言語障害児への支援	太田 眞知子	2	1	W or オ
			発達障害と医療	内田 千代子	1	1	W
			特別の支援を必要とする生徒の理解	斎藤・岩澤	2	0.5	W or オ
			多様な生徒の支援演習	阿部 利彦	2	0.5	W
			特別支援教育特別講義	専任教員	1	1	
		環境専門科目	水環境論	保屋野 初子	2	0.5	W
			生物多様性と資源利用	坪内 俊憲	2	0.5	W
			人と動物の関係論	黒鳥 英俊	2	0.5	W
			風土と内発的発展	鬼頭 秀一	2	0	
			持続可能社会創生学	石田 秀輝	2	1	W
			問題解決のための国際協働論	坪内 俊憲	2	0.5	W
			地球環境共生演習(1)	坪内 俊憲	2	2	会
			地球環境共生演習(2)	鬼頭・保屋野	2	2	会
			地球環境共生演習(3)	石田 秀輝	2	2	会
			人文地理学	渡部 斎	2	0.5	W
			自然地理学	鈴木 正章	2	0.5	W
			地誌	渡部 斎	2	0.5	W
			環境特別講義	専任教員	1	1	

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	共生科学専攻専門科目群	国際関係専門科目	比較文化論	伊藤 玄二郎	2	0.5	W
			アジアの近代と社会	東 智美	2	0.5	W
			アフリカの歴史と社会	朝田 郁	2	0.5	W or オ
			中東と国際社会	佐々木 伸	2	0.5	W
			人間の安全保障	内尾 太一	2	0.5	W or オ
			戦争と平和	大嶋 英一	2	0.5	W
			開発と国際協力	三村 悟	2	0.5	W or オ
			地球社会とグローバルガバナンス	三村 悟	2	0.5	W or オ
			国際ジャーナリズム論	佐々木 伸	2	0.5	W
			オリンピック/パラリンピックの理念と歴史	杉山 正明	2	0	
			日本語教育	南口 順子	2	0.5	W
			日本史演習	堀川 徹	2	0.5	W
			外国史演習	根占 献一	2	0.5	W
			国際関係特別講義	専任教員	1	1	
	初等教育専攻専門科目群		教科(国語)	嶋田 優	2	0.5	W
			教科(社会)	南 哲朗	2	0.5	W
			教科(算数)	永井 礼正	2	0.5	W
			教科(理科)	浅見 奈緒子	2	0.5	W
			教科(生活)	片山 雅男	2	0.5	W
			教科(音楽)	坂田 映子	2	0.5	W
			教科(図画工作)	樫永 卓三	2	0.5	W or 会
			教科(家庭)	齋藤 憲子	2	0.5	会
			教科(体育)	大貫 耕一	2	0.5	W or オ
			教科(外国語)	山田 裕師	2	0.5	W
			初等教科教育法(国語)	嶋田 優	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(社会)	南 哲朗	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(算数)	金子 肇	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(理科)	西村 哲雄	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(生活)	片山 雅男	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(音楽)	坂田 映子	2	0.5	会
			初等教科教育法(図画工作)	樫永 卓三	2	0.5	会
			初等教科教育法(家庭)	齋藤 憲子	2	0.5	W or 会
			初等教科教育法(体育)	住本 純	2	0.5	会
			初等教科教育法(外国語)	山田 裕師	2	0.5	W or 会
			保育内容の指導法(健康)	住本 純	2	0.5	W
			保育内容の指導法(人間関係)	青柳 和夫	2	0.5	W & オ
			保育内容の指導法(環境)	田中 純江	2	0.5	W
			保育内容の指導法(言葉)	青柳 和夫	2	0.5	W & オ
			保育内容の指導法(音楽表現)	坂田 映子	2	0.5	W
			保育内容の指導法(造形表現)	樫永 卓三	2	0.5	オ or 会
			保育内容の指導法(総合演習)	青柳 和夫	2	0.5	W
			教育原理(初等)	古壕 典洋	2	0	
			教職概論(初等)	天野 一哉	2	0.5	W or オ
			教育経営・学校安全論(初等)	今井 文男	2	0.5	W or オ
			教育心理学(初等)	平田 乃美	2	0	
			特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	岩澤 一美	2	0.5	W or オ
			教育課程論(初等)	水内 宏	2	0.5	W or オ
			道徳の理論・指導法(初等)	大隅 心平	2	0.5	W or 会
			総合的な学習の時間の指導法(初等)	和泉 良司	1	0.5	W or オ
			特別活動の指導法(初等)	丸本 茂樹	1	0.5	W or 会
			教育方法・技術論(初等)	仲・斎藤	2	0.5	W & オ

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	初等教育専攻専門科目群		生徒・進路指導論(初等)	大隅 心平	2	0.5	W
			幼児理解の理論と方法	吉江 幸子	2	0.5	W or オ
			教育相談(初等)	小澤 敬子	2	0.5	W or 会
			教育実習(初等)(1)	嶋田・齋藤・坂田	5	5	W
			教育実習(初等)(2)	嶋田・齋藤・坂田	3	3	W
			教職実践演習(初等)	嶋田・齋藤・丸本	2	2	W & 会
			授業実践演習(初等)	仲 久徳	2	0.5	オ & 会
			多様な幼児・児童の支援演習	阿部 利彦	2	0.5	W
			学校ボランティア(初等)Ⅰ	嶋田・齋藤・坂田	1	1	W & オ
			学校ボランティア(初等)Ⅱ	嶋田・齋藤・坂田	1	1	★
			初等教育特別講義	専任教員	1	1	
	福祉専攻専門科目群		福祉文化論	山口 道宏	2	0.5	W
			生命倫理	色平 哲郎	2	0.5	W
			子ども家庭福祉	伊藤 わらび	2	0.5	W
			高齢者福祉	竹田 久美子	2	0.5	W
			少子高齢化とコミュニティ	山口 道宏	2	0.5	W
			障害者福祉研究	佐々木 剛	2	0	
			入門・生活と社会保障	砂田 淳一郎	2	0	
			介護と看護の基礎知識	鈴木 知佐子	2	0.5	W or オ
			現代社会とメンタルヘルス	斎藤 やす子	2	0.5	W
			貧困と社会的養護	中安 恒太	2	0.5	W or オ
			事例研究ーくらしと権利擁護	伊東 享子	2	0.5	W
			相談援助入門	中安 恒太	2	0.5	W
			医学概論	吉田 保男	2	0	
			心理学と心理的支援	堀 直人	2	0	
			社会学と社会システム	竹田 久美子	2	0	
			社会福祉の原理と政策	豊田 宗裕	4	0	
			社会福祉調査の基礎	矢原 絵理	2	0	
			ソーシャルワークの基盤と専門職	矢原 絵理	2	0	
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	矢原 絵理	2	0	
			ソーシャルワークの理論と方法	矢原 絵理	4	0	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)	井上 紀代	4	0	
			地域福祉と包括的支援体制	豊田 宗裕	4	0	
			福祉サービスの組織と経営	豊田 宗裕	2	0	
			社会保障論	宮寺 良光	4	0	
			高齢者福祉論	伊東 一郎	2	0	
			障害者福祉論	大溝 茂	2	0	
			児童・家庭福祉	中安 恒太	2	0	
			貧困に対する支援	石坂 誠	2	0	
			保健医療と福祉	砂田 淳一郎	2	0	
			権利擁護を支える法制度	伊東 享子	2	0	
			刑事司法と福祉	伊東 享子	2	0	
			ソーシャルワーク演習	砂田・中安・矢原	2	1	会
			ソーシャルワーク演習(専門)	砂田・中安・矢原	8	2	会
			ソーシャルワーク実習指導	砂田・中安・矢原	6	2	会
			ソーシャルワーク実習Ⅰ	砂田・中安・矢原	4	4	会
			ソーシャルワーク実習Ⅱ	砂田・中安・矢原	1	1	会
			福祉特別講義	専任教員	1	1	
			体つくり運動	髙木・飯田・林・渡辺	1	1	会
			器械運動	井手口・岡崎・神門・仲宗根	1	1	会
			陸上	川面・渋谷・桜井・千葉・與名本・濱辺	1	1	会

… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	スポーツ身体表現専攻専門科目群		水泳	髙木・浅井・金沢・高野・戸佐	1	1	会
			サッカー	大槻・青葉・奥山・福士	1	1	会
			バレーボール	渋谷・鈴木・西野・山田	1	1	会
			野球	伊藤・高柿	1	1	会
			柔道	吉鷹・久保・松本	1	1	会
			ダンス	林田・飯田・田巻・朴	1	1	会
			バドミントン	升・林・渡辺	1	1	会
			陸上演習	渋谷・川面	2	1	会
			球技演習	髙木・林	2	1	会
			武道演習	吉鷹 幸春	2	1	会
			ダンス演習	林田・飯田・朴	2	1	会
			スポーツ原理	神野 周太郎	2	0.5	W or オ
			スポーツ心理学	渋谷・矢野	2	0.5	W or オ
			スポーツ経営管理論	行實 鉄平	2	0.5	W
			スポーツ社会学	吉田 毅	2	0.5	W
			体育史	綿貫 慶徳	2	0	
			運動学	小倉 晃布	2	0.5	W or オ
			生理学	菊田 幸子	2	0.5	W or オ
			スポーツ生理学	升 佑二郎	2	0.5	W or オ
			衛生学	北原 秀治	2	0.5	W or オ
			公衆衛生学	細田 満和子	2	0.5	W or オ
			学校保健概論	斎藤 利之	2	0.5	W
			解剖学	北原 秀治	2	0.5	W or オ
			救急処置法	山田・鈴木	2	1	会
			レクリエーション概論	重藤 誠市郎	2	0.5	W
			コーチング演習	與名本・川面	2	1	会
			スポーツメンタルトレーニング	渋谷 聡	2	0.5	W or オ
			スポーツマネジメント	佐々木 悦子	2	0.5	W
			コミュニティスポーツ論	髙木 由起子	2	0	
			スポーツ論	林 直樹	2	0.5	W or オ
			インクルーシブスポーツ	渋谷 聡	2	0	
			ストレスマネジメント	服部 由季夫	2	0.5	W
			スポーツ栄養学	徳野 裕子	2	0.5	W or オ
			スポーツ調査演習	渋谷 聡	2	1	W
			保健体育科指導法Ⅰ	杉山・渋谷・天利・戸佐	2	1	会
			保健体育科指導法Ⅱ	長岡・髙木・天利	2	1	W or 会
			保健体育科指導法Ⅲ	渋谷・天利・戸佐	2	1	オ & 会
			保健体育科指導法Ⅳ	髙木・内田	2	1	会
			スポーツ身体表現特別講義	専任教員	1	1	
	グローカルコミュニケーション専攻専門科目群		英語学概論Ⅰ	古庄 信	2	0.5	W or オ
			英語学概論Ⅱ	中山 匡美	2	0.5	W
			英語文学論(1)	武井 博美	2	0.5	W or オ
			英語文学論(2)	武井 博美	2	0	
			英語文学講読(1)	武井 博美	2	0.5	W or オ
			英語文学講読(2)	武井 博美	2	0	
			実践英語コミュニケーションⅠ	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			実践英語コミュニケーションⅡ	平岡 麻里	2	0.5	W
			英語表現(writing)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			英語表現(conversation)	平岡 麻里	2	0	
			英語表現(presentation)	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			異文化理解	大和 洋子	2	0.5	W

区分1	区分2	区分3	科目名	担当教員	総単位	SC単位	備考
専門科目群	グローカルコミュニケーション専攻専門科目群		異文化間コミュニケーション	ダニエル・ジョセフ・ウッズ	2	0.5	W
			英語演習(1)	平岡 麻里	2	1	W
			英語演習(2)	大和 洋子	2	1	W
			グローカル社会論	東 智美	2	0.5	W
			国際英語	原 隆幸	2	0	
			近現代政治社会思想論	宮﨑 文彦	2	0	
			地域研究概論	東 智美	2	0.5	W
			地域研究(1)	木口 由香	2	1	W
			地域研究(2)	岩井 雪乃	2	1	W
			地域研究(3)	平岡 麻里	2	1	W
			地域と食文化	山本 奈美	2	0.5	W
			アメリカの社会と文化	斎藤 寿葉	2	0.5	W
			持続可能な地域開発	坪内 俊憲	2	0	
			生態資源とグローバル社会	西原 智昭	2	0.5	W
			国際観光論	遠藤 理一	2	0.5	W
			移民と共生	設楽 澄子	2	0.5	W
			共生と場所文化	鬼頭 秀一	2	0	
			コミュニティデザイン論	渡部 陽介	2	0.5	W
			コミュニティデザイン演習(1)	渡部 陽介	2	1	W
			コミュニティデザイン演習(2)	渡部 陽介	2	1	W
			NGO・NPO論	坪内 俊憲	2	0	
			グローカルコミュニケーション特別講義	専任教員	1	1	
	資格関連科目群		社会科公民科指導法Ⅰ	手島 純	2	0.5	W or 会
			社会科公民科指導法Ⅱ	手島 純	2	0.5	W or 会
			社会科公民科指導法Ⅲ	手島 純	2	0	
			社会科公民科指導法Ⅳ	手島 純	2	0	
			道徳の理論・指導法(中等)	飛田 仁	2	0.5	W
			総合的な学習の時間の指導法(中等)	高橋 正尚	1	0.5	W or オ
			特別活動の指導法(中等)	高橋 正尚	1	0.5	W or オ
			生徒・進路指導論(中等)	今井・林	2	0.5	W or オ
			教育実習(中等)Ⅰ(1)	斎藤・天利	5	5	W
			教育実習(中等)Ⅰ(2)	斎藤・天利	3	3	W
			教育実習(中等)Ⅱ	斎藤・天利	3	3	W
			教育実習(特別支援)	千田 光久	3	3	W
			教職実践演習(中等)	丸本・渋谷・手島・大和・天利	2	2	W & 会
			地理歴史科指導法Ⅰ	日髙 智彦	2	0.5	W or 会
			地理歴史科指導法Ⅱ	日髙 智彦	2	0.5	W or 会
			英語科指導法Ⅰ	大和・呉屋	2	0.5	W or 会
			英語科指導法Ⅱ	呉屋 英樹	2	0.5	W or 会
			英語科指導法Ⅲ	東矢 光代	2	0.5	W or 会
			英語科指導法Ⅳ	大和・東矢	2	0.5	W or 会
			特例・教職入門	手島 純	2	0	
			特例・学校の制度	水内 宏	2	0	
			特例・教育課程編成論	田中 敏哲	1	0	
			特例・保育指導法	樫永 卓三	1	1	W
			特例・教育の方法と技術	仲 久徳	1	0	
			特例・幼児理解	田中 敏哲	1	0	

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

星槎学 W

総 2　SC 0.5

担 宮澤保夫・井上一
安部雅昭・蓮田亮大
西永堅

受 15,000円

「星槎」が、必要とされる人々のために新たな道を創造し、人々が共生する社会の実現を目指し、成し遂げてきたその歴史や取り組みについて知り、「共生」や「共感理解教育」について学修します。

共生科学概説(1) W

総 2　SC 0.5

担 山脇直司
天野一哉
山口道宏

受 15,000円

人と人、人と多文化、国と国との共生を目指す教育、福祉、国際関係、スポーツのあり方を考えるための基礎知識をしっかり学び、多様な視点を養うための科目です。

共生科学概説(2) W

総 2　SC 0.5

担 坪内俊憲
保屋野初子
鬼頭秀一

受 15,000円

人間活動が地球の許容量を超え始めた原因は、社会構造にあることを理解し、「共生」とは、自然、社会、精神的な関わりの中で捉える必要があることを学びましょう。

共生のための教育 W

総 2　SC 0.5

担 天野一哉
ほか

受 15,000円

教育・学修という行為は生活のさまざまな場面で現れます。共生社会を構築するための教育とは何かを対話を通して考えます。教育が専門でない人もぜひ受けてください。

共生のための地球環境行動 W

総 2　SC 0.5

担 坪内俊憲

受 15,000円

世界の環境と地域社会の破壊現場の報告を学び、社会に埋め込まれた構造的な原因を解決する為に必要な社会変革、行動する知恵を獲得しましょう。

共生のための国際協力 W

総 2　SC 0.5

担 大嶋英一
細田満和子

受 15,000円

途上国の実情、日本の経済協力、いのちや健康に関する世界の課題、PKOなどの人的貢献、NGOや青年海外協力隊の活動等について現場での経験を踏まえて紹介し、共生的な世界を築くための国際協力のあり方を議論します。

共生のための福祉 W

総 2　SC 0.5

担 山口道宏

受 15,000円

現実に生起する身近な福祉に関する事件や事故(「乳幼児虐待から無縁死まで」)を検証することから、現代社会のもつ構造的な問題点・課題を引き出し、共生社会への視座に立ち、福祉の有り様を考究します。

共生のためのスポーツ W

総 2　SC 0.5

担 渋谷聡
高木由紀子

受 15,000円

競技スポーツは相手に勝つために競争します。共生はお互いを尊重しながら認め合います。相反するような関係がどのように成り立っているかを考えていきます。

共生入門 会

総 2　SC 0.5

担 専任教員

受 15,000円

共生とは何か、どうすれば実現するのか、あなたの考えを語り、みんなの話に耳を傾け、できることから始めましょう。本科目はその第一歩です。

プレゼミ W or 会

総 2　SC 0.5

担 専任教員

受 15,000円

プレゼミは、通信制大学で学ぶ第一歩として、学修指導書やテキストの読み方、レポートの書き方を学ぶ科目です。ぜひ一緒に文章を書く練習をしましょう。

卒業制作演習 W

総 2　SC 1

担 専任教員

受 20,000円

卒業制作のための習作の場です。思いを形にするために創作活動を体系的・実践的に学んでください。ジャンルに関しても気軽に相談してください。

キャリアデザイン(1) W

総 1　SC 1

担 三森睦子
ほか

受 15,000円

『生き方学』として、自分はどういう人間なのか、何を大切にして生きていくのか、どんな働き方がしたいのかを、実践ワークの中から考え、自分を磨きます。自己理解からスキルアップ・実践まで学んでいきます。

キャリアデザイン(2) W

総 1　SC 1

担 三森睦子
ほか

受 15,000円

『職業スキルアップ学』として、就職に不安のある方(支援者・家族も可)に、さまざまな実践的場面から基本的な知識やスキルを修得し、仕事に対して肯定的なイメージをえがいていきます。

キャリアデザイン(3) W

総 1　SC 1

担 三森睦子
ほか

受 15,000円

リモートワーク・フレックスタイム・起業・副業・フリーランスなど、働く場所も形態も時間も多様になってきました。「新しい時代の新しい働き方を知ろう・創ろう」をテーマに、新しい働き方を実践している方にインタビューしつつ、これからの働き方を考えます。

キャリアデザイン(4) ★

総 1　SC 1

担 三森睦子
ほか

受 15,000円

共生研究 W or 会

総 4　SC 1

担 専任教員

受 30,000円

学びの総まとめとして、共生研究論文(原則5,000字程度)を執筆します。教員や学生との意見交換を通じて完成を目指していきます。

卒業論文 会

総 6　SC 2

担 専任教員

受 50,000円

学びの集大成として専門教員から、丁寧な指導を受けて論文をまとめます。テーマの選定が大変重要になりますので、指導教員と打ち合わせをしながらすすめていきます。

卒業制作 会

総 4　SC 1

担 専任教員

受 30,000円

アート、映像作品、演劇、話芸、プロジェクト(社会実践)等、学術論文以外でも、世界を動かす創作活動を大学での学びの集大成として仕上げていきます。

ボランティア活動 Ⅰ～Ⅲ

総 2　SC 2

担 高木由紀子
渋谷聡

受 30,000円

地域貢献だけでなく、支え合う共生社会の一員であると自覚し、目的を持ってボランティア活動を行っていきます。そしてその実践を通じて課題探求能力の向上及び社会に貢献する奉仕の心の育成を行います。

インターンシップ Ⅰ～Ⅲ

総 2　SC 2

担 渋谷聡
高木由紀子

受 30,000円

「働くとはどういうことか」について、実際に職場での体験を通して全般的に学んでいきます。

アカデミック・スキル W

総 2　SC 0.5

担 天野一哉

受 15,000円

プレゼミは受けたけれど、まだレポートがうまく書けない、わからないことがある。そんな人は本科目を受講してください。実践を通して具体的に学んでいきます。

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境
… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

編集コミュニケーション論 W

総 2 / SC 0.5

担 山口道宏

受 15,000円

「編集は料理だ」(?)を体験します。コミュニケーションにとって編集とは何か。しかし、その巧拙で伝え(わ)る力が変わるという。具体的な編集の方法と内容を、さらに効果について知る実践教室です。

ジョブ・スキル 会

総 2 / SC 0.5

担 菊地マリコ

受 15,000円

ラジオDJ体験！ 模擬番組を作成し、トーク／原稿読み／プレゼンテーション／企画スキルを磨きます。「人に聴かせる話し方」について実践を通して楽しく学びます。

ファシリテーションの基礎 W

総 2 / SC 0.5

担 三田地真実

受 15,000円

人が集う話し合いがなぜうまくいかないのか？ それは「成り行き任せ」だからです。しっかり場を調える技術としての「ファシリテーション」について実践的に学びます。

ボランティアの基礎 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 細田満和子

受 15,000円

ボランティアの意義や役割などについて概観し、実践に当たっての心構えを習得したうえで、ボランティアを体験して、さらに学びを深めていきます。

カウンセリングの基礎 W or 会

総 2 / SC 1

担 斎藤やす子
石塚勝郎
小嶋義勝

受 20,000円

カウンセリングは相手が「よりよく生きる」ための手助けを行う活動で、その人が自分の生き方を受け入れて人生を歩むことができるように、知識と技術を実習で学んでいきます。

数学的活動 W

総 2 / SC 0.5

担 永井礼正

受 15,000円

主体的・対話的で深い学びを考えるうえで、実際の教科・教育現場の中でどのような活動として取り扱っていけばよいか、また価値創出を含めて考察します。

統計リテラシー W

総 2 / SC 0.5

担 永井礼正

受 15,000円

データサイエンスを扱ううえで、情報学的あるいは統計学的なデータの取り扱いが必要となります。将来必要とされるリテラシー(読み書き)を扱います。

社会調査法 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 新角耕司

受 15,000円

大量の情報が溢れる今こそ必要な、確かな情報を素早く集め、有益な意味を導き出し、わかりやすく伝えるための技術を、理論と実践の両面から学びます。

情報処理

総 2 / SC —

担 斎藤俊則

受 10,000円

学校教育におけるICT活用の基本となるワープロ(Word)、プレゼンテーションソフト(PowerPoint)、表計算ソフト(Excel)などを活用した教材づくり、校務情報処理へ適応するための学修、プログラミング教育へ適応するための学修をすすめていきます。

科学コミュニケーション W

総 2 / SC 0.5

担 浅見奈緒子

受 15,000円

科学コミュニケーションは科学と社会のさまざまな要素をつなぐ役割を果たします。科学リテラシーを高め、その多様性と広がりについて考えます。

共生とメディア W

総 2 / SC 0.5

担 天野一哉
山口道宏

受 15,000円

メディアは嘘をつく。政治も嘘をつく。学問でさえ嘘をつく。ならば何をすればいいのか、いかにして共生社会をつくるのか。一緒に答えを探しましょう。

日本国憲法

総 2 / SC —

担 小中さつき

受 10,000円

国家にはなぜ憲法が必要なのか、憲法はどのような性質を備えていなければならないのか。こうした根源的なところに立ち返って学んでいきます。

スポーツ(1) オ & 会

総 1 / SC 0.5

担 渋谷聡
川面聡大
髙木由起子
戸佐晃一

受 15,000円

さまざまな生涯スポーツを通して、自分自身の体力向上や健康の維持増進をはかるためにはどうすればよいかということを学んでいきます。

スポーツ(2) オ & 会

総 1 / SC 0.5

担 渋谷聡
川面聡大
髙木由起子
戸佐晃一

受 15,000円

自然の中で行われるスポーツや身体活動について、多面的な視点から分析し、スポーツのあり方について学んでいきます。

英語コミュニケーション(1) W

総 2 / SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが使用している英語に焦点を当て、簡単で役立つ、外国人とコミュニケーションする方法を学びます。

英語コミュニケーション(2) W

総 2 / SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが現在使用している英語に焦点を当て、英語コミュニケーションを修得し友達を作り楽しんでください。

中国語コミュニケーション

総 2 / SC —

担 張悦

受 10,000円

中国語の発音をマスターし、初級レベルの短文を読解でき、中国人と初歩的なコミュニケーションができるように指導、訓練します。

韓国語コミュニケーション

総 2 / SC —

担 中道真記子

受 10,000円

韓国という国の不思議。日本からいちばん近いはずなのに時折感じる距離感は何だろう？ 直面する日韓文化の相違点から、異文化交流について考えます。

臨床心理学 W

総 2 / SC 1

担 平雅夫

受 20,000円

「来談者中心療法」「交流分析」「行動分析」など、複数の心理学の理論にふれながら、「こころ」の時代を多面的に学んでいきます。

発達障害概論 W

総 2 / SC 1

担 西永堅

受 20,000円

LD、ADHD、自閉スペクトラム症、知的障害など発達障害は、認知発達の個人差を原因とします。認知発達を中心として発達障害を学修する科目です。

特別支援教育論 W or オ

総 2 / SC 1

担 千田光久

受 20,000円

特別支援教育の歴史、制度、対象、基本的考え方、教育課程・指導方法など、共生社会形成に向けてインクルーシブ教育システムについて学んでいきましょう。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

平和学 W

総2 SC0.5　担 平井朗　受 15,000円

戦争だけでなく、環境破壊や格差拡大のような構造的暴力の克服による積極的平和の実現を学んでいきます。とりわけ世界に存在する暴力に対する自分自身の関与を見出していくことを目的とします。

芸術への対話 会

総2 SC0.5　担 安久津太一　受 15,000円

人と芸術、そして社会との関わり合いを再考し、体験的学習を通じて「芸術への対話」を実践し、アーツを基盤にした共生社会の構築を目指します。

いのちと食

総2 SC—　担 坪内俊憲　受 10,000円

我々の食べ物となる為に絶たれる生き物の命や、大量にある便利な食べ物にどう向き合うか、身体と精神の健康を守るための知恵を獲得しましょう。

共生社会のための技術 W or オ

総2 SC0.5　担 後藤政志　受 15,000円

福島原発事故は、私たちの生活に深刻な影響を与えました。安全な技術とは何か、身近な事故や災害を通して安心して暮らせる社会のあり方を考えます。

ソーシャル・マーケティング W

総2 SC0.5　担 高木文堂　受 15,000円

マーケティングの基本的なスキルを身につけることで、ターゲットとWin-Winの「共生」の関係を構築して、社会を変革する能力を身につけていきます。

共生ビジネス創成論 W

総2 SC0.5　担 石田秀輝　受 15,000円

共生ビジネス創成のためには、大きな視点の変更（バックキャスト思考）が求められます。
地球環境や社会の制約を肯定して解を求めるアプローチと理論を体得します。

ブータン学 会

総1 SC1　担 糸永正之　受 15,000円

ヒマラヤの王国であるブータンは日本を映す鏡です。歪んだ鏡に本当の自分は映りません。ブータンを知ることは、現在の日本と自分を知ることです。

表現（パフォーマンス）演習 W

総2 SC0.5　担 キャンヒロユキ　受 15,000円

放送作家やよしもと養成所講師の経験を活かして、お笑いのネタの構成や、M-1グランプリなどの漫才を参考に、他人に伝える方法と表現することとは何かを学びます。

歴史概説 I W or オ

総2 SC0.5　担 堀川徹　受 15,000円

「世界史の中の日本史」をテーマとし、日本が諸外国とどのような関係性の中で発展したかを考えることで歴史的知見や国際感覚を養います。

歴史概説 II W or オ

総2 SC0.5　担 堤茂樹　受 15,000円

指導者が学び続ける為の「基礎技能・知識」学修を応援し、生徒と教員が歴史学を自己の人生に活用する為にはどうすべきかを考えていきます。

地理概説 I W or オ

総2 SC0.5　担 齊藤正　受 15,000円

地理学の基本事項を学び、世界の諸地域の地域的特色を理解していきます。そのために地図・統計・資料の読み取り方などの地理的技能の向上を目指します。

地理概説 II

総2 SC—　担 齊藤正　受 10,000円

「地理概説 I」での基本事項の理解をもとにグローバル化する世界の諸地域の現状を理解していきます。また、地域の抱える今日的な課題についても考えていきます。

地理情報システム（GIS）演習 W

総2 SC0.5　担 田村賢哉　受 15,000円

地理情報システム（GIS）はコンピュータで地図を用いて高度に分析できます。地理情報システムの知識と技術を学び、活用する力を身につけていきます。

法学 I

総2 SC—　担 堤健太郎　受 10,000円

法とは何かという根源論に始まり、独特の法的な考え方、実定法の中で特に基本をなす憲法、民法、刑法、そして法と裁判の基礎的知識を学びます。

法学 II

総2 SC—　担 堤健太郎　受 10,000円

法学 I を踏まえ、家庭、生活保障、労働、環境、市場経済を例として、諸法律とそこに現れる基本原理の理解を通じて、法的考え方の学修を深めます。

政治学 W or オ

総2 SC0.5　担 宮崎文彦　受 15,000円

さまざまな価値観をもった人びとが、共に生きていくために、話し合いをして物ごとを決める「政治」、その意味と重要性について考え、学びます。

国際法 W or オ

総2 SC0.5　担 小中さつき　受 15,000円

国際社会の紛争の予防及び紛争解決のために諸国家が作り上げてきたのが国際法です。事例と併せてその基本的なルールを学びます。

国際関係論 W

総2 SC0.5　担 大嶋英一　受 15,000円

国内社会とは異なる国際社会のさまざまな側面について、理論面のみならず実際の外交での経験を踏まえて紹介し国際的視野を養うとともに、共生的な世界を実現するために私たちに何ができるか議論します。

環境法 W or オ

総2 SC0.5　担 髙橋満彦　受 15,000円

良好な環境と資源を守るための法に必要な基本的理論と、公害防止や自然保護に関する主要な法規を知るとともに、その運用の問題点を学びます。

社会学 W or オ

総2 SC0.5　担 細田満和子　受 15,000円

観念の世界でなく、現実に生起している社会事象を独自の道具を使って読み解いていきます。現代社会の問題について一緒に考えていきましょう。

経済学

総2 SC—　担 平井俊顕　受 10,000円

私たちを取り巻く今日世界の政治経済状況を、経済思想や経済分析を交えながらわかりやすく説明することを大きな狙いにしています。

医療社会学

総 2　SC —

担 細田満和子

受 10,000円

健康と病の社会的側面について、医療社会学の知見を基に学修していきます。病や障がいと共に生きることについて考える基礎を学んでいきましょう。

環境社会学 W or オ

総 2　SC 0.5

担 保屋野初子

受 15,000円

生活の水、食べ物、ゴミなど身近な題材から、環境問題が社会経済のあり方や生活スタイルと深く結びついていることを社会学的な見方や方法によって理解し、解決に向けた行動や道筋を考える力を修得します。

哲学・倫理学 W or オ

総 2　SC 0.5

担 西巻丈児

受 15,000円

「人間とは何か？」「幸せになるにはどうしたらよいのか？」などの身近な問題を、哲学者・倫理学者の考え方をたどりながら、共に考える科目です。

宗教学 W

総 2　SC 0.5

担 岡野浩

受 15,000円

世界の主要な宗教の歴史、特長を学び、基礎的な理解を目指します。宗教は人類の歴史とともにあり、さまざまな文化の形成に大きな役割を果たしてきました。多様な宗教文化をその歴史や、思想、哲学にも目を向けつつ考察します。

公共哲学 W or オ

総 2　SC 0.5

担 山脇直司

受 15,000円

より善き公正な社会を追究しつつ、現下で起こっている公共的問題を考えるために必要な「個人と社会の関わり方」について、みんなで考えるための科目です。

環境倫理

総 2　SC —

担 鬼頭秀一

受 10,000円

「人と自然との共生」（環境倫理）は「遊び」「なりわい」「ソーシャル・インクルージョン」とも深くかかわっています。食と殺生、野生生物、里山、災害など、具体的・実践的な生き方の問題として考えます。

公共演習 W

総 2　SC 0.5

担 山脇直司

受 15,000円

教育、政治、福祉、スポーツ界などで起こっているさまざまな公共的問題を取り上げ、それをみんなで考え発表してもらうための授業です。

平和演習 W

総 2　SC 0.5

担 小松寛

受 15,000円

今日の地球的問題群、戦後日本の平和教育そして沖縄問題を取り上げながら、現代の平和に関わる問題について多様な観点から考えます。

人権演習 W

総 2　SC 0.5

担 渡辺雅之

受 15,000円

人権を学ぶスタディツアーです。私たちは何故なんのために学ぶのか？！ それを基調に語り合い楽しく学ぶ演習科目です。目からウロコが落ちるといいな！

持続可能な開発のための教育（ESD） W & オ

総 2　SC 0.5

担 林浩二

受 15,000円

「持続可能な開発（SD）」は国内外で環境や開発（貧困）の問題を考えるうえで重要な概念です。そのための教育に何が必要か幅広い視野で見ていきます。

日本史Ⅰ W or オ

総 2　SC 0.5

担 堀川徹

受 15,000円

日本史（原始・古代から中世）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。

日本史Ⅱ

総 2　SC —

担 堀川徹

受 10,000円

日本史（近世から現代）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。

外国史Ⅰ W

総 2　SC 0.5

担 根占献一

受 15,000円

ヨーロッパを中心とした世界史ですが、他地域、インド、中国、日本などとの関係性にも着目して学びを深めていきます。

外国史Ⅱ

総 2　SC —

担 根占献一

受 10,000円

ヨーロッパ側の歴史的発展を辿りながら、広く「世界史」が成立し、東西間に新たな政治的、思想的、宗教的交流が生まれた経緯を学びます。

地誌概論 W

総 2　SC 0.5

担 齊藤正

受 15,000円

世界を地域別に把握する地誌学の基本を理解していきます。また、地誌学の方法論の基礎と、世界の各地域の地誌の具体的な取り扱い方法を修得していきます。

共生科学実践演習 W

総 2　SC 1

担 専任教員

受 20,000円

「共生」をめぐる現代の課題を見つけ、その問題に対しての研究方法を、具体的に考えていきます。共生研究や卒業論文のための研究方法を、経験者の経験などから学修していきます。

特別ゼミナール W

総 2　SC 1

担 専任教員

受 20,000円

Zoom（Web会議アプリケーション）を使い、世界中どこからでも受講でき、教員から直に指導を受けられる通信ならではの「ゼミナール」です。

共生科学実践特別演習（1）～（4） 会

（1）
総 1　SC 1
担 専任教員
受 15,000円

（2）
総 2　SC 2
担 専任教員
受 30,000円

（3）
総 4　SC 4
担 専任教員
受 60,000円

（4）
総 8　SC 8
担 専任教員
受 120,000円

「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。環境・スポーツなどの領域で、現場での実践的な学びを深めます。単位数に応じて（1）の（2日間）から（4）の（16日間）までがあります。

アート・デザイン共生学演習（1）～（4）〈（3）・（4）★〉 会

総 1　SC 1

担 上坂恒章 ほか

受 15,000円

陶芸、ガラス工芸、デッサンや絵画などのアート分野の基礎を実習や演習の形で学び、共生を表現するさまざまな手法を学びます。北海道北広島市のアトリエでのスクーリングになります。

課題研究／共生レポートⅠ・Ⅱ

総 2　SC —

担 専任教員

受 10,000円

日常生活や社会活動、現場での学びでの実習や演習などの学修を通じて、さまざまな問題・課題を「共生」という視点から捉え、教員の指導を受けながら、研究を深め、レポートとしてまとめます。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

課題研究／共生実習Ⅰ・Ⅱ　会

総 2　SC 2

担 専任教員

受 30,000円

「共生」にかかわる課題を、「課題研究」として、国内外の現場での実習「共生実習」を通じて研究していきます。「あるく」「みる」「きく」ことを通じて「考える」さまざまなプログラムで、学びを深めます。

教育原理(中等)

総 2　SC —

担 古塚 典洋

受 10,000円

教育は先生が生徒を育てるように教えるのか、生徒が自ら育つように教わるのか。対立する考えとそれを統合する中等教育のあり方を事例と共に考えます。

教職概論(中等)　W or オ

総 2　SC 0.5

担 手島純

受 15,000円

教職とは何か。その根本に立ち返り、さまざまな視点で教職のあり方を論じ、考察していきます。「先生になりたい」という思いに肉づけをしていきます。

教育経営・学校安全論(中等)　W or オ

総 2　SC 0.5

担 今井文男

受 15,000円

中等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。

教育心理学(中等)

総 2　SC —

担 仁平義明

受 10,000円

中学・高校の教員になろうとする人のための教育心理学。授業・学級の運営・教授法・アセスメントの知識やスキルだけでなく、生徒のさまざまな個性、いじめ対応や障害などの教育上のニーズについても学びます。

教育課程論(中等)　W or オ

総 2　SC 0.5

担 水内宏

受 15,000円

市民として国民として地球人として必要な教養の確保に向け、青年期教育の各教科や教科外の諸活動をどのように編成していくか、課題解決に向けて何が必要かを共に考えましょう。

教育方法・技術論(中等)　W & オ

総 2　SC 0.5

担 仲久徳
坂敬介

受 15,000円

教育方法、教材研究、授業の構想・設計と展開、運営に関する基本的な考え方について理解し、情報機器や教材の活用などを具体的な場面で構想できることをねらいとします。

生涯学習論

総 2　SC —

担 三輪建二

受 10,000円

生涯学習が個人の自己実現から、社会の創造のために学ぶことへと変化している点を学びます。またこどもの教育学ではない、おとなの教育学を学びます。

世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント　W

総 2　SC 0.5

担 天野一哉
吉村春美

受 15,000円

教員免許状更新講習でも「世界の教育」が必修となりました。外国(欧米アジア)の状況を学んでカリキュラムマネジメントに活かします。楽しいのでぜひ一緒に学びましょう。

ワーク・ライフ・バランス論

総 2　SC —

担 澤田真由美

受 10,000円

こどもにとって最も身近な大人のお手本である教員が、心身ともに健康で仕事も私生活も幸せな姿を見せられる生き方・働き方を考えます。

授業実践演習(中等)　オ & 会

総 2　SC 0.5

担 仲久徳

受 15,000円

授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を学び、スクーリングでは、授業コミュニケーションに着目し、模擬授業を通して相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。

アクティブラーニング演習　W

総 2　SC 0.5

担 天野一哉

受 15,000円

これを知らなければ21世紀の教員として通用しません。みなさんの「願い」を出発点にAL型の授業案をデザインします。教員志望でない人も大歓迎です。

学校ボランティア(中等)Ⅰ　W & オ

総 1　SC 1

担 斎藤やす子
天利公一

受 15,000円

教育実習の前段階の学修で、学校行事を中心に体験的に学び、教員としての職務、生徒の様子等の理解を深めます。それを仲間とポスターにまとめ発信します。

学校ボランティア(中等)Ⅱ　★

総 1　SC 1

担 斎藤やす子
天利公一

受 15,000円

教育実習後のボランティア学修です。教育実習事後指導での自己課題を受け止め、引き続き学校に関わり、大学教員の指導も受けながら実践力を高めます。

心理学(1)

総 2　SC —

担 杉山尚子

受 10,000円

心理学の概論コースとして、アカデミックな心理学とは何か、現代心理学では"こころ"をどのように考えるかを学びます。

心理学(2)

総 2　SC —

担 杉山尚子

受 10,000円

B.F.スキナーが創設したユニークな心理学である行動分析学では"こころ"をどのように考えるかを学びます。

教育相談(中等)　W or オ

総 2　SC 0.5

担 大野精一

受 15,000円

目の前にいるその人をしっかり理解しなければ生きていくことも難しくなります。本当のコミュニケーション(つながり・関わり)のあり方を考えます。

教育カウンセリング　W or 会

総 2　SC 1

担 斎藤やす子
石塚勝郎
小嶋義勝

受 20,000円

教育カウンセリングは「育てる」カウンセリングとも言え、そのために必要な知識と技術を「構成的グループエンカウンター」等の実習とともに学んでいきます。

行動分析学　W

総 2　SC 1

担 杉山尚子

受 20,000円

本科目はB.F.スキナーが創設した心理学の体系である行動分析学の入門コースであり、実験的行動分析と応用行動分析で蓄積された知見について学びます。

認知心理学　W

総 2　SC 0.5

担 伊藤一美

受 15,000円

認知とは、知的機能全般を意味し、人間の心と行動を理解することを目指しています。記憶のメカニズムをとおして、記憶することと理解することの違いについて学びましょう。

言語発達学　W

総 2　SC 0.5

担 伊藤一美

受 15,000円

言語は、わたしたちが他者とコミュニケーションをとるうえで重要なツール(道具)です。話す、聞く、書く、読む、コミュニケーションについて、学びましょう。

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境
… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

教育特別講義

総 1　SC 1　担 専任教員　受 15,000円

知的障害教育総論 W or オ

総 2　SC 0.5　担 清水直治　受 15,000円

知的障害のあるこどもの学校教育の制度、教育課程や指導法、及びインクルーシブ教育の成立や日本の現状、諸外国における制度などについて、総合的に学修します。

知的障害児・者の心理・生理・病理

総 2　SC —　担 伊藤一美　受 10,000円

特別支援学校の教員免許状の取得にかかわる科目です。"障害のあるなしにかかわらない"教育のあたらしいかたち、インクルーシブ教育について、学びましょう。

知的障害児・者への支援

総 2　SC —　担 西永堅　受 10,000円

応用行動分析学の立場から、個別の指導計画の作成を学びます。具体的な行動目標を設定することで、しっかりとこどもの行動を褒めることができます。

肢体不自由教育総論

総 2　SC —　担 細村迪夫　受 10,000円

肢体不自由特別支援学校の児童生徒の障害の重度・重複化、病弱化を踏まえて授業を行います。

肢体不自由児・者の心理・生理・病理

総 2　SC —　担 徳永亜希雄　受 10,000円

学校教育の中で肢体不自由のあるこどもを理解し、かかわっていくために必要となる肢体不自由の心理・生理・病理の基礎について学修しましょう。

肢体不自由児・者への支援

総 2　SC —　担 細村迪夫　受 10,000円

肢体不自由特別支援学校の児童生徒の障害の重度・重複化、病弱化を踏まえて授業を行います。

病弱教育総論

総 2　SC —　担 南風野久子　受 10,000円

病弱・身体虚弱児の状態を理解し、健康状態を回復、改善するための指導を学びます。授業内容の精選や指導法、教材教具などの工夫を学びます。

病弱児・者の心理・生理・病理

総 2　SC —　担 南風野久子　受 10,000円

病弱・身体虚弱児の疾患に関する基礎知識や病弱児の置かれている環境について学びます。また、病弱児の心理的な特徴を学びます。

病弱児・者への支援

総 2　SC —　担 南風野久子　受 10,000円

病弱・身体虚弱児の多様な状況をふまえた教育相談活動について学びます。児童生徒の実態の把握方法を学び、教育課程の編成や自立活動を学びます。

聴覚障害教育総論

総 2　SC —　担 喜屋武睦　受 10,000円

聴覚障害の生理・病理学的側面の問題が言語やコミュニケーション等の心理的側面にどのように影響を及ぼすかについて学びます。また、乳幼児期から成人期までに獲得すべき能力について、歴史的変遷を踏まえ、教育的視点で考察します。

視覚障害教育総論

総 2　SC —　担 樋原理恵　受 10,000円

「まなぶ」の語源は「まねぶ」です。ところが視覚障害児は視覚的な模倣が困難です。情報の大半を奪われた視覚障害児への具体的な指導方法を学びます。

障害児教育総論

総 2　SC —　担 神山努　受 10,000円

障害児教育の歴史をふまえ、障害児の発達特性等に関する学修を通して、障害児の教育指導に幅広く対応できる能力や態度が育つことを目指します。

応用行動分析学 W

総 2　SC 0.5　担 三田地真実 神山努　受 15,000円

人が行動するには「理由（わけ）」がある。その理由はあなたが考えている日常的直観とは全く違うものです。本科目ではそういう行動の原理について具体的に学びます。

発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ W

総 1　SC 1　担 西永堅　受 15,000円

知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけではなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。

発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ 会

総 1　SC 1　担 西永堅　受 15,000円

知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけではなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。

発達障害教育指導法（1） W

総 2　SC 1　担 古川潔 三森睦子　受 20,000円

発達障害のある方々の理解と支援について幅広く視野を広げるとともに、教室や家庭で実践できる考え方や方法について学んでいきます。

発達障害教育指導法（2） W

総 2　SC 1　担 阿部利彦　受 20,000円

通常学級に在籍している発達障害のあるこどもについて、特性の理解、学級全体での支援と個別支援の両輪でどうこどもを支えるか、を検討していきます。

自閉症児・者の心理

総 2　SC —　担 寺山千代子　受 10,000円

自閉スペクトラム症(ASD)児・者について、彼らの特性を理解し、アプローチの方法を学びます。彼らの中のアスペルガー障害についてもその特性を理解していきます。

自閉症児・者への支援

総 2　SC —　担 寺山千代子　受 10,000円

最近、自閉症は、自閉スペクトラム症(ASD)ともいわれています。ここでは、ASD児・者の生涯にわたる支援について整理をし、実際に支援ができるようにします。

聴覚・言語障害児への支援 W or オ

総 2　SC 1　担 太田眞知子　受 20,000円

「ことば」は人と人をつなぐツールといえます。この科目では、ことばの成り立ちや「聴覚・言語障害」をかかえるこどもたちの実態と支援の方法を学修します。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

発達障害と医療 W

総 1 / SC 1

担 内田千代子

受 15,000円

発達障害児・者には、適切な理解と対応が必要です。発達障害児・者の特性や本質を医学的に理解し、社会的不適応をどうしたら減らせるかを考えます。

特別の支援を必要とする生徒の理解 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 斎藤やす子
岩澤一美

受 15,000円

発達障害や不登校、貧困といった現代の生徒が抱える諸問題及びそれらへの対応、そして社会的自立について具体的に解説します。

多様な生徒の支援演習 W

総 2 / SC 0.5

担 阿部利彦

受 15,000円

さまざまな支援ニーズのある生徒を支える方法について主に学校カウンセリングの視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。

特別支援教育特別講義

総 1 / SC 1

担 専任教員

受 15,000円

水環境論 W

総 2 / SC 0.5

担 保屋野初子

受 15,000円

ヨーロッパですすむ「河川再生」を題材に、めざすべき水環境政策について考え議論します。この政策転換を果たした市民社会の役割、住民参加についても学び、環境問題解決には社会的な共生がいかに重要なのか理解を深めます。

生物多様性と資源利用 W

総 2 / SC 0.5

担 坪内俊憲

受 15,000円

人類の持続性の指標である生物多様性が減少し続ける原因を探り、解決する個人の行動を策定し、現実的対処能力獲得を目指しましょう。

人と動物の関係論 W

総 2 / SC 0.5

担 黒鳥英俊

受 15,000円

近年動物園も変化をみせ、展示中心から今まで以上に動物の福祉や生息地保全、さらに社会教育の場であることが求められています。それらを類人猿の飼育経験から講義します。

風土と内発的発展

総 2 / SC —

担 鬼頭秀一

受 10,000円

自然災害等の環境変動、近代化等の社会変動に対して考えていきます。地域社会が風土に根ざし、伝統を組み替え、内発的に地域的課題を解決し発展するために必要な教育のあり方、主体形成から考えていきましょう。

持続可能社会創生学 W

総 2 / SC 1

担 石田秀輝

受 20,000円

地球環境の急激な劣化、資本主義の限界という2つの問題に対し共通の解が求められている今、何を考えどのようにアプローチすべきか、鳥瞰的な視点で考えます。

問題解決のための国際協働論 W

総 2 / SC 0.5

担 坪内俊憲

受 15,000円

一刻の猶予もない地球環境問題を解決するための国際協力現場を知り、問題解決するための国際協働に不可欠な考え方、判断力、実践力を獲得しましょう。

地球環境共生演習(1) 会

総 2 / SC 2

担 坪内俊憲

受 30,000円

地域の方々と共にエゾシカを駆除し、その肉を食べながら、問題を話し合い、人が自然の中で生きる為に必要な知恵と行動力を獲得しましょう。

地球環境共生演習(2) 会

総 2 / SC 2

担 鬼頭秀一
保屋野初子

受 30,000円

「沖縄の人と自然から学び、『共生』を考える」を基本テーマに、やんばる地域をフィールドに、自然と共生する暮らし方、基地問題も含めた体験的な深い学びを行います。

地球環境共生演習(3) 会

総 2 / SC 2

担 石田秀輝

受 30,000円

自然や地域文化を基盤に脳の第3階層と第2階層(脳の3層構造仮説)をつないだアウトプットを具体的に創出する方法論を学び実践していきます。

人文地理学 W

総 2 / SC 0.5

担 渡部斎

受 15,000円

我が国が抱える地理的諸課題や複雑な人間生活空間を考察していきましょう。

自然地理学 W

総 2 / SC 0.5

担 鈴木正章

受 15,000円

自然地理学の地理学における位置、その系譜を考察し、地形図の作業を通して地表空間を理解していきましょう。

地誌 W

総 2 / SC 0.5

担 渡部斎

受 15,000円

東アジア、東南アジア、南アジアなどを中心に、世界の地域的特色や歴史的背景に留意して、地誌学的な見方や考え方を学んでいきます。

環境特別講義

総 1 / SC 1

担 専任教員

受 15,000円

比較文化論 W

総 2 / SC 0.5

担 伊藤玄二郎

受 15,000円

異なった国の文化を比較し、相互の関係性やその影響を研究する科目です。そして重要なことは、その成果をいかに活かしていくかということです。

アジアの近代と社会 W

総 2 / SC 0.5

担 東智美

受 15,000円

人・物・文化の交流から見た、東南アジアの歴史と現代の社会について学んだうえで、これからの日本とアジアのあり方について一緒に考えていきましょう。

アフリカの歴史と社会 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 朝田郁

受 15,000円

アフリカの豊かな歴史と社会の多様性について読み解きながら、そこに暮らす人々が私たちと地続きの世界を生きていることを学びます。

中東と国際社会 W

総 2 / SC 0.5

担 佐々木伸

受 15,000円

世界の火薬庫といわれる中東がなぜ不安定で紛争が多発するのか、現状を多角的なアプローチで分析、平和への展望を考察し、世界との共生の道を探ります。

人間の安全保障 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 内尾太一

受 15,000円

国内外を問わず、人々の生存、生活、尊厳を脅かす諸問題をより深く考察・分析するために、人間の安全保障という考え方を学びます。

戦争と平和 W

総 2 / SC 0.5

担 大嶋英一

受 15,000円

戦争はなぜ起きるのでしょうか？ 紛争の要因と戦争を防ぐために人類が払ってきた努力について、安全保障観の違いやナショナリズム、戦後の国際秩序とその変化等を取り上げ、国と国が共生する方途を考察します。

開発と国際協力 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 三村悟

受 15,000円

感染症や環境、紛争など、国境を超えて人類の未来を脅かす課題に対応するための開発途上国への国際協力について、具体的な事例を通して学びます。

地球社会とグローバルガバナンス W or オ

総 2 / SC 0.5

担 三村悟

受 15,000円

近年、地球規模の課題への対応には、企業や市民団体の役割が重要となっています。このようなグローバルガバナンスに関わる主体の多様化について学びます。

国際ジャーナリズム論 W

総 2 / SC 0.5

担 佐々木伸

受 15,000円

ポスト・トゥルースといわれる不透明な時代、何が真実なのか、うそなのか。重要性を増すジャーナリズム・メディアの役割を問い直し、フェイクニュースの見極め方を学びます。

オリンピック／パラリンピックの理念と歴史

総 2 / SC —

担 杉山正明

受 10,000円

オリンピック・パラリンピック競技大会の理念を史実から考え、スポーツの意義やこれからのスポーツを通じた共生社会のあり方について学びます。

日本語教育 W

総 2 / SC 0.5

担 南口順子

受 15,000円

外国人に日本語を教える「日本語教育」の基礎的な知識の修得と、母語として無意識に修得した日本語の言語的特徴を客観的に見直す視点の育成を目指します。

日本史演習 W

総 2 / SC 0.5

担 堀川徹

受 15,000円

日本古代史を取り上げ学んでいきます。最新の研究成果を理解するとともに、発展的な知識及びその知識を得るための方法論を修得することを目的とします。

外国史演習 W

総 2 / SC 0.5

担 根占献一

受 15,000円

フィレンツェが中心となるルネサンス文化はいかなる状況であったのか、その文化の担い手となった芸術家、学者などの活動はいかに行われたのかなど、具体的に考察していきます。

国際関係特別講義

総 1 / SC 1

担 専任教員

受 15,000円

教科（国語） W

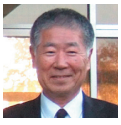
総 2 / SC 0.5

担 嶋田優

受 15,000円

人は言葉によって、思考力や想像力を広げていくことができます。国語科教育とは、それらの基礎を培うことにほかなりません。国語科教育の本質に迫ります。

教科（社会） W



総 2 / SC 0.5

担 南哲朗

受 15,000円

社会科って何のために学ぶの？ いつ頃誕生したの？ その歴史は？ 学習指導要領の読み解き方は？ 教材化の方法は？ 共に学び修得していきましょう！

教科（算数） W

総 2 / SC 0.5

担 永井礼正

受 15,000円

算数という教科は、量の解釈として科学、論理的数学、およびデータサイエンスの基礎を扱います。小学校での学習を、改めて見つめなおしてみましょう。

教科（理科） W

総 2 / SC 0.5

担 浅見奈緒子

受 15,000円

小学校学習指導要領（理科）の改善の視点やその特徴について、変遷等を踏まえて学修し、調査結果等から、さまざまな課題を克服する授業のあり方を考えます。

教科（生活） W

総 2 / SC 0.5

担 片山雅男

受 15,000円

生活科の特質や目標を理解するとともに、学校や家庭、地域などの社会事象や自然や行事、遊びや飼育栽培など、その内容の本質を学びます。

教科（音楽） W

総 2 / SC 0.5

担 坂田映子

受 15,000円

人間と教育と音楽の関係性を理解し、学校教育における音楽の役割や意義を考えます。また、音楽指導のうえで必要な力として楽典や器楽演奏、歌唱などがありますので、グループ活動を通して身につけていきます。

教科（図画工作） W or 会

総 2 / SC 0.5

担 樫永卓三

受 15,000円

図画工作全般にわたって学修するとともに、さまざまな課題について討議を通して考究します。また、幾つかの実技も体験しながら図画工作の楽しさを味わいます。

教科（家庭） 会

総 2 / SC 0.5

担 齋藤憲子

受 15,000円

「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の内容を「生活の営みに係る見方・考え方」の視点で捉え、体験を通して生活に必要な基礎的知識・技能を身につけます。

教科（体育） W or オ

総 2 / SC 0.5

担 大貫耕一

受 15,000円

小学校体育科の意義を理解し、主に運動技術の獲得のために必要な学習指導理論の基礎を学びます。

教科（外国語） W

総 2 / SC 0.5

担 山田裕師

受 15,000円

小学校における外国語活動・外国語の授業に必要な実践的な英語運用能力や背景的な知識を授業場面を意識し、中学校外国語との接続も踏まえて学びます。

初等教科教育法（国語） W or 会

総 2 / SC 0.5

担 嶋田優

受 15,000円

国語科はあらゆる学修の基盤をなしています。教室のこどもたちが、楽しく学び、そして言葉の力を確実に身につける国語科学修指導法について具体的に学び、身につけていきます。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

初等教科教育法(社会) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 南哲朗

受 15,000円

こどもにとって「楽しい、わかりやすい社会科授業」とは？ そのための指導案の作成の仕方は？ 求められる指導技術は？ 共に学び修得していきましょう！

初等教科教育法(算数) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 金子肇

受 15,000円

こどもたちが自ら目的意識をもち、学ぶことの楽しさや有用性を実感できる算数教育を実践事例を通して学修します。

初等教科教育法(理科) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 西村哲雄

受 15,000円

理科全般にわたって理解するとともに、有効な教材の提示、工夫、授業展開の仕方など実践的な指導力の育成を目指します。また、理科における実感を伴った理解のポイントについて実践します。

初等教科教育法(生活) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 片山雅男

受 15,000円

児童に自然現象や社会事象に関心を持たせ、直接体験により疑問や発見、感動を呼び起こし、自立への基礎力を養う指導法について学びます。

初等教科教育法(音楽) 会

総 2 / SC 0.5

担 坂田映子

受 15,000円

スクーリングでは、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の４つから学びます。また、それらの指導法や評価方法、学習指導案が作成できるようにします。

初等教科教育法(図画工作) 会

総 2 / SC 0.5

担 樫永卓三

受 15,000円

図画工作全般にわたって理解するとともに、学習指導案作成から模擬授業までの実践力の育成を目指します。また、授業改善のポイントについても考えていきます。

初等教科教育法(家庭) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 齋藤憲子

受 15,000円

小学校学習指導要領(家庭)に示された目標、内容を理解すると共に、ICTの効果的な活用等を用いた指導法、評価について学び、実践的指導力を身につけます。

初等教科教育法(体育) 会

総 2 / SC 0.5

担 住本純

受 15,000円

小学校における体育授業を実践する基礎的知識の修得を目指す科目です。実際に小学校で取り扱っている教材を体験し、実践的に学んでいきます。

初等教科教育法(外国語) W or 会

総 2 / SC 0.5

担 山田裕師

受 15,000円

小学校における外国語活動及び外国語の学習・指導・評価等に関する基本的な知識・実践的な指導技術を中学校外国語との接続も踏まえて学びます。

保育内容の指導法(健康) W

総 2 / SC 0.5

担 住本純

受 15,000円

乳幼児の健康に関する課題に対応していく力の修得を目指す科目です。乳幼児期の発育発達、運動遊びの意義について具体的事例に触れながら学んでいきます。

保育内容の指導法(人間関係) W & オ

総 2 / SC 0.5

担 青柳和夫

受 15,000円

幼児が安心して園生活を送るには、信頼関係の構築と楽しく過ごせる居場所が必要です。自己主張と自己抑制の関わり方を中心に、思いやりを育む話し合いについて学修します。

保育内容の指導法(環境) W

総 2 / SC 0.5

担 田中純江

受 15,000円

周囲のさまざまな環境(自然や人の生活)に好奇心や探究心をもってかかわり、発見したりそれらを楽しんだりすることができるようにする指導法を学びます。

保育内容の指導法(言葉) W & オ

総 2 / SC 0.5

担 青柳和夫

受 15,000円

幼児が自分の気持ちを言葉で表現したり、美しい言葉や文字を使ったりして、相手と伝え合うことを楽しみ、活動の喜びを全員で味わえる言葉・文字遊びについて学修します。

保育内容の指導法(音楽表現) W

総 2 / SC 0.5

担 坂田映子

受 15,000円

幼稚園の「音楽表現」のねらいや内容全般及び幼児の音楽的な発達について理解していきます。加えて保育指導案を作成し演習を通して指導法を身に付けていきます。こどもの笑顔が見える展開を一緒に学んでいきましょう。

保育内容の指導法(造形表現) オ or 会

総 2 / SC 0.5

担 樫永卓三

受 15,000円

幼児教育における遊びの重要性と主体的な学びを引き出す援助のあり方について保育指導案作成とともに実践を通して学びます。

保育内容の指導法(総合演習) W

総 2 / SC 0.5

担 青柳和夫

受 15,000円

改訂基本方針の中に「主体的・対話的で深い学び」の実践とあります。幼児を育むうえで欠くことができない「資質能力及び育って欲しい姿」をふまえた活動を中心に学修します。

教育原理(初等)

総 2 / SC —

担 古塚典洋

受 10,000円

教えること、学ぶことは不思議に満ちています。さまざまな不思議にじっくりと向き合いながら、一つひとつ自分なりの答えを探す授業です。

教職概論(初等) W or オ

総 2 / SC 0.5

担 天野一哉

受 15,000円

教員に必要な資質能力とは何か、解決しなければならない問題とは何か。対話を通して主体的に思考する学びを目指します。中高の教員を目指す人にも参考になります。

教育経営・学校安全論(初等) W or オ

総 2 / SC 0.5

担 今井文男

受 15,000円

初等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。

教育心理学(初等)

総 2 / SC —

担 平田乃美

受 10,000円

幼児と児童の教員になろうとする人のための教育心理学。幼い時期ほど、生涯の発達をみすえた長期的な視点と広い視野をもった教育が必要になります。

特別の支援を必要とする幼児・児童の理解 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 岩澤一美

受 15,000円

発達障害や不登校、貧困といった現代の幼児・児童が抱える諸問題及びそれらへの対応について具体的に解説します。

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境
… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

教育課程論(初等) W or オ

総 2　SC 0.5

担 水内宏

受 15,000円

誕生からの人格発達・能力発達のプロセスを解明し、学童期を中心にどんな文化内容・文化活動を提供したらいいかを共に考える場としましょう。

教育相談(初等) W or 会

総 2　SC 0.5

担 小澤敬子

受 15,000円

初等教育課程における教育相談の充実が必要だと言われており、教員として児童や保護者への相談対応を行う為に必要な条件や要素について学びます。

学校ボランティア(初等) Ⅱ ★

総 1　SC 1

担 嶋田優
齋藤憲子
坂田映子

受 15,000円

教育実習後、自己課題の克服を目指し、引き続き教育現場に軸足を置き教育活動を行います。担当教員の指導を受け、教員としての資質・能力の向上を目指します。

道徳の理論・指導法(初等) W or 会

総 2　SC 0.5

担 大隅心平

受 15,000円

主体的な判断の下に行動し、他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性の育成を目指す基礎を学び、指導計画や授業プランの作成、スクーリングにおける授業展開の構想など、実践的な指導力を身につけます。

教育実習(初等)(1) W

総 5　SC 5

担 嶋田優
齋藤憲子
坂田映子

受 75,000円

教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。

初等教育特別講義

総 1　SC 1

担 専任教員

受 15,000円

総合的な学習の時間の指導法(初等) W or オ

総 1　SC 0.5

担 和泉良司

受 10,000円

総合的な学習の時間では、課題を見いだし、情報を集め、整理・分析していく探究的な学修を進めます。このねらいを理解し、実践的な指導法の修得を目指します。

教育実習(初等)(2) W

総 3　SC 3

担 嶋田優
齋藤憲子
坂田映子

受 45,000円

教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習での学びを今後の教員人生にどう活かしていくのかについて考えましょう。

福祉文化論 W

総 2　SC 0.5

担 山口道宏

受 15,000円

「福祉の文化化」「文化の福祉化」を考えます。ひとの営みとは単に「食べて、寝る」だけではありません。誰しものライフスタイルが、いかに文化的か!! を福祉の視点から検討します。

特別活動の指導法(初等) W or 会

総 1　SC 0.5

担 丸本茂樹

受 10,000円

特別活動は、集団活動を通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の力を育みます。特別活動の考え方やすすめ方について学び、そこで求められる教員の実践的指導力を培うための基礎を学修していきます。

教職実践演習(初等) W & 会

総 2　SC 2

担 嶋田優
齋藤憲子
丸本茂樹

受 30,000円

待望の教員になるためのステップを登りつめてきたみなさんが、さらにステップアップして立派な教員になるための資質や能力を磨いていくための学びです。

生命倫理 W

総 2　SC 0.5

担 色平哲郎

受 15,000円

日本の介護医療現場で、ケアとはなにか、人間の尊厳とはなにかを考えます。敷衍して、コミュニティの意義、当事者性の重要性を考えることになるでしょう。

教育方法・技術論(初等) W & オ

総 2　SC 0.5

担 仲久徳
斎藤俊則

受 15,000円

教育方法、教材研究、授業の構想・設計と展開、運営に関する基本的な考え方について理解し、情報機器や教材の活用などを具体的な場面で構想できることをねらいとします。

授業実践演習(初等) オ & 会

総 2　SC 0.5

担 仲久徳

受 15,000円

授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を学び、スクーリングにおいては、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業の中で相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。

子ども家庭福祉 W

総 2　SC 0.5

担 伊藤わらび

受 15,000円

1989年国連で「子どもの権利条約」が採択されました。世界のこども達の福祉は実現したでしょうか。「児童福祉法」等を学びながら日本の児童の現状を考えます。

生徒・進路指導論(初等) W

総 2　SC 0.5

担 大隅心平

受 15,000円

一人ひとりの児童の個性を伸ばし、自己実現をめざす自己指導能力を育てる生徒指導及び社会的・職業的自立に向けた進路指導・キャリア教育の意義や原理について学び、スクーリングでは事例研究を通して実践的な指導力の基礎を身に付けます。

多様な幼児・児童の支援演習 W

総 2　SC 0.5

担 阿部利彦

受 15,000円

さまざまな支援ニーズのある幼児・児童を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。

高齢者福祉 W

総 2　SC 0.5

担 竹田久美子

受 15,000円

日本社会が直面する少子高齢多死社会の実情を理解し、社会保障等の施策と高齢者の生きがいと社会参加のあり方、介護サービスや地域社会の役割などを学修します。

幼児理解の理論と方法 W or オ

総 2　SC 0.5

担 吉江幸子

受 15,000円

こどもたちの育ちに関わる保育者は、こどもの何をみて、どのように育ちと関わるのか？ この授業を通して、一人ひとりのこどもを見つめる視点を学びます。

学校ボランティア(初等) Ⅰ W & オ

総 1　SC 1

担 嶋田優
齋藤憲子
坂田映子

受 15,000円

学校体験活動で、教育実習の前段階として位置づけられています。担当教員の指導を受けながら、学校現場の観察・参加を通して学校の様子を知ることをねらいとしています。

少子高齢化とコミュニティ W

総 2　SC 0.5

担 山口道宏

受 15,000円

「少子高齢化」の何が問題でしょうか!? 現状、課題、家族・世帯の変遷、そして地域福祉の関係性を考えます。「孤立しない」「孤立させない」ために福祉は何をすべきか、何ができるのでしょうか。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

障害者福祉研究

総 2　SC —　担 佐々木剛　受 10,000円

この科目は研究者養成でありません。どうすれば受講者の実践が深まるのか受講者と共に創り上げることを目標としています。一緒に考え授業展開をすすめましょう。

入門・生活と社会保障

総 2　SC —　担 砂田淳一郎　受 10,000円

社会保障制度とは、私たちが生活するうえでとても大切なものです。広い視点で社会保障制度の概要について一緒に学んでいきましょう。

介護と看護の基礎知識 W or オ

総 2　SC 0.5　担 鈴木知佐子　受 15,000円

福祉職にかかわるうえで必要となる基本的な医療知識を理解し、介護・看護の対象となる高齢者のエビデンスに基づいたケアのあり方を学修します。

現代社会とメンタルヘルス W

総 2　SC 0.5　担 斎藤やす子　受 15,000円

現代社会の現状・課題・問題点を考えながら、私たちが現代社会の中で生きていくために求められるメンタルヘルスとは何であるかを考えていきます。

貧困と社会的養護 W or オ

総 2　SC 0.5　担 中安恆太　受 15,000円

児童養護施設での勤務経験や、現在は家族が里親をしている経験から、テキストだけでは学べない「社会的養護」について伝えていきます。

事例研究ーくらしと権利擁護 W

総 2　SC 0.5　担 伊東享子　受 15,000円

成年は、自らの判断で法律行為を行い、くらしを営みます。しかし、その判断を誤ると権利侵害が生じることもあります。そこで、自身の権利を擁護するための知識を学びます。

相談援助入門 W

総 2　SC 0.5　担 中安恆太　受 15,000円

ソーシャルワークに必要な技術は多々ありますが、この講義はコミュニケーション技法を中心に「相談援助って何？」という基礎から学んでいきます。

医学概論

総 2　SC —　担 吉田保男　受 10,000円

「人体の構造と機能及び疾病」についての学修は人という利用者がいる福祉の職場でも最も基礎的な知識として必要となります。

心理学と心理的支援

総 2　SC —　担 堀直人　受 10,000円

人の心の理解につながる基礎的な知識の修得を目的とし、さまざまな視点から心にアプローチしていきます。さらに、他者を心理的に支援するための基本についても学びます。

社会学と社会システム

総 2　SC —　担 竹田久美子　受 10,000円

社会福祉の課題を考えるうえで不可欠な社会に対する理解について、社会学の理論や考え方を通して学びます。現代社会の特性、個人と社会の関係、社会問題の背景等について考える基礎となります。

社会福祉の原理と政策

総 4　SC —　担 豊田宗裕　受 20,000円

2000年以降の「社会福祉基礎構造改革」により、我が国の社会福祉は理念や仕組みなどが大きく変化しました。業務を行う際の基本となる考え方や原理、福祉政策の変遷を理解していきます。

社会福祉調査の基礎

総 2　SC —　担 矢原絵理　受 10,000円

制度やサービスが福祉ニーズや福祉問題に対応できているかという効果や成果を評価する「社会調査」の意義や目的、方法について学びます。

ソーシャルワークの基盤と専門職

総 2　SC —　担 矢原絵理　受 10,000円

社会福祉士はどのような役割を担うのか、ソーシャルワークとは何かを押さえ、ソーシャルワークの価値と倫理について学びます。

ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)

総 2　SC —　担 矢原絵理　受 10,000円

専門職としての社会福祉士の職域を捉え、ミクロ・メゾ・マクロレベルによるソーシャルワーク、総合的かつ包括的な支援と多職種連携について学びます。

ソーシャルワークの理論と方法

総 4　SC —　担 矢原絵理　受 20,000円

社会福祉士が行う相談援助とは何か、どのように展開されていくのか、どのような技法・アプローチの理論があるのかということを学びます。

ソーシャルワークの理論と方法(専門)

総 4　SC —　担 井上紀代　受 20,000円

多様化、複雑化する課題に対応できる社会福祉士を目指すための科目です。援助関係の築き方や社会資源の活用、家族・地域を視野に入れた包括的な支援について学びます。

地域福祉と包括的支援体制

総 4　SC —　担 豊田宗裕　受 20,000円

現代社会において、「地域福祉」という考え方が重要視されるようになった背景を理解し、構成内容や概念の変化の理由を時系列で学びます。また、具体的な推進機関や人的資源、法制度についても理解していきます。

福祉サービスの組織と経営

総 2　SC —　担 豊田宗裕　受 10,000円

福祉サービスを提供している組織の種類や特徴を学修し、サービス提供機関が備えるべき経営の視点（人事管理、労務管理、経営管理等）について、具体的な内容や方法を学びます。

社会保障論

総 4　SC —　担 宮寺良光　受 20,000円

医療や年金などの社会保障制度は、私たちの生活に欠かせないものになっています。生活場面に応じて、どう利用し生活を守っていくかを考えていきます。

高齢者福祉論

総 2　SC —　担 伊東一郎　受 10,000円

高齢者を取り巻く環境や高齢者福祉制度の変遷、介護保険制度をはじめとした諸制度、高齢者支援に関わる専門職とその役割等について学修します。

障害者福祉論

総 2　SC —　担 大溝茂　受 10,000円

障がいの特性と障がい者（児）とその家族、地域を基軸とした社会生活・環境を理解します。障がい福祉の歴史と現行の法・制度等について修得し、社会福祉士に期待される支援・援助を考えていきます。

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境
… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

児童・家庭福祉

総 2　SC —

担 中安恆太

受 10,000円

児童が権利の主体であること踏まえ、児童とその家庭及び妊産婦の生活課題を整理し、その背景を理解したうえで適切な支援の仕組みやあり方を理解していきます。

貧困に対する支援

総 2　SC —

担 石坂 誠

受 10,000円

貧困問題はその深刻さを増しています。貧困者への支援のあり方を学ぶことは、社会福祉士に必要な人権感覚を磨くためにも重要な学びとなると確信しています。

保健医療と福祉

総 2　SC —

担 砂田淳一郎

受 10,000円

現在、医療分野における福祉の存在意義は大きくなっています。医療と福祉の連携を中心に保健医療サービスの概要について学びます。

権利擁護を支える法制度

総 2　SC —

担 伊東享子

受 10,000円

契約社会の中で、生きづらさを感じている社会的弱者（認知高齢者、知的・精神障がい者等）の実態を知り、法的な制度を学びつつ、その解決方法を探ります。

刑事司法と福祉

総 2　SC —

担 伊東享子

受 10,000円

刑務所等にいる社会的弱者が、社会復帰後、再犯を犯す事がないように、福祉に繋げていく仕組み（更生保護）と重篤な触法精神障害者の処遇について地域定借を目指す医療、精神保健観察の仕組み（医療観察）を理解します。

ソーシャルワーク演習 会

総 2　SC 1

担 砂田淳一郎
中安恆太
矢原絵理

受 20,000円

実際の現場実習における個別支援や集団場面を想定し、基本的なコミュニケーション技術や面接技法等をロールプレイも行いながら学んでいきます。

ソーシャルワーク演習（専門） 会

総 8　SC 2

担 砂田淳一郎
中安恆太
矢原絵理

受 60,000円

実際の現場実習における個別支援や集団場面の中において、具体的な場面（事例）を活用しながらソーシャルワーク支援の展開を学んでいきます。

ソーシャルワーク実習指導 会

総 6　SC 2

担 砂田淳一郎
中安恆太
矢原絵理

受 50,000円

実習先では勿論、ソーシャルワーカーとしても必要なソーシャルワークの価値規範や倫理、個人のプライバシーの保護等を学んでいきます。

ソーシャルワーク実習Ⅰ 会

総 4　SC 4

担 砂田淳一郎
中安恆太
矢原絵理

受 60,000円

机上で学んだソーシャルワークの知識や技術を実践し、その中で得た内容を概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。

ソーシャルワーク実習Ⅱ 会

総 1　SC 1

担 砂田淳一郎
中安恆太
矢原絵理

受 15,000円

ソーシャルワーク実習Ⅰとは異なる施設・事業所での実習を通し、実践した内容の概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。

福祉特別講義

総 1　SC 1

担 専任教員

受 15,000円

体つくり運動 会

総 1　SC 1

担 高木由起子
飯田路佳
林直樹
渡辺英次

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

体つくり運動は「競争」や「勝敗」に価値を置くのではなく「自己評価」や「達成」を重視し、「気付き」「調整」「交流」を体感していく学修です。

器械運動 会

総 1　SC 1

担 井手口学
岡崎秀人
神門大輔
仲宗根森敦

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

中・高保健体育教諭免許状取得のための必修科目です。スクーリングでは、主に「マット」、「とび箱」、「鉄棒」の種目にあるそれぞれの運動課題の実践とともにその指導法、幇（補）助法を学びます。

陸上 会

総 1　SC 1

担 川面聡大
渋谷聡
桜井智野風
千葉佳裕
與名本稔
渡辺圭佑

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

スポーツの基本とされる「走る・跳ぶ・投げる」ことを通して、楽しさや奥深さを体験し、学びにつなげるための方法を身につけていきます。

水泳 会

総 1　SC 1

担 高木由起子
浅井泰詞
金沢翔一
高野千春
戸佐晃一

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

陸上運動とは異なり、水中動作は固定した支持点がありません。水の特性を理解し、水の中で「浮く」「潜る」「進む」などの動きを修得していきます。また、呼吸法を含めて正しい泳法を学んでいきます。

サッカー 会

総 1　SC 1

担 大槻茂久
青葉幸洋
奥山靖彦
福士徳文

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

他者とのコミュニケーションを図りながら頭と身体を駆使し、学生主体のゲーム形式を中心にサッカーの本質を存分に体感して頂きます。

バレーボール 会

総 1　SC 1

担 渋谷聡
鈴木敦子
西野明
山田美絵子

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

ネットの高さやコートの広さ、ボールの大きさや柔らかさを工夫しながら、バレーボールの楽しさを体験し、技術の向上や指導法を学んでいきます。

野球 会

総 1　SC 1

担 伊藤栄治
高柿健

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

野球は、「捕る」、「投げる」、「打つ」、「走る」といったさまざまな動きを伴います。上手くなる工夫や、できるようになる楽しさを学んでいきます。

柔道 会

総 1　SC 1

担 吉鷹幸春
久保潤二郎
松本秀彦

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

前まわり受身と、基本的な投技である足技・手技・腰技、各３種類（合計９～12種類）及び、固技５種類をマスターすることを目標とします。

ダンス 会

総 1　SC 1

担 林田はるみ
飯田路佳
田巻以津香
朴京眞

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

ダンス領域の内容（創作ダンス、現代的なリズムのダンス、フォークダンス）について講義と実技を通して学修し、ダンス作品の創作に取り組みます。

バドミントン 会

総 1　SC 1

担 升佑二郎
林直樹
渡辺英次

受 25,000円
（別途 保険料・施設管理費5,000円）

バドミントンは「ネット型」の球技として親しみやすい種目です。本科目では技術やルールだけでなく歴史なども正しく学び、指導の基礎を学修します。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

陸上演習 会

総 2 / SC 1

担 渋谷聡 川面聡大

受 20,000円

陸上の指導案や指導プログラムの作成、模擬授業や模擬指導を通して、「走る・跳ぶ・投げる」ことを指導する楽しさや方法を学んでいきます。

球技演習 会

総 2 / SC 1

担 高木由起子 林直樹

受 20,000円

球技における「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」のそれぞれの指導法についてまとめ、指導案作成と模擬授業を展開し、学んでいきます。

武道演習 会

総 2 / SC 1

担 吉鷹幸春

受 20,000円

中学・高校の武道授業実施に向けて、武道（柔道、合気道など）の充分な知識と技能を身につけ、特に基礎・基本の大切さとその指導方法を学びます。

ダンス演習 会

総 2 / SC 1

担 林田はるみ 飯田路佳 朴京眞

受 20,000円

なぜダンスを学校教育において学ばせるのかを考究し、ダンス指導法（教材作り、指導・評価観点等）を学び、模擬授業を通して指導力の向上を図ります。

スポーツ原理 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 神野周太郎

受 15,000円

体育・スポーツを成立させるもの、つまり「原理」とは何か。人間への理解（教育、運動、遊び）を通して体育・スポーツの原理を考えていきます。

スポーツ心理学 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 渋谷聡 矢野宏光

受 15,000円

スポーツの心理的要因や心理的効果を理解し、競技スポーツの競技力向上や指導法、健康スポーツの実践方法を学んでいきます。

スポーツ経営管理論 W

総 2 / SC 0.5

担 行實鉄平

受 15,000円

学校体育をはじめ各種スポーツ組織の力を高め、体育・スポーツの環境整備に必要な課題を創造できる能力を養うことを目的としています。

スポーツ社会学 W

総 2 / SC 0.5

担 吉田毅

受 15,000円

スポーツは近現代において社会や文化との関係性により著しく発展し、またさまざまな問題を引き起こしてきました。その諸相について解説します。

体育史

総 2 / SC —

担 綿貫慶徳

受 10,000円

体育を広義に解釈すれば、人間の生活と密接不可分な身体文化となります。日本を中心とする体育史の学びから、身体文化に関わる歴史的・社会的諸現象を考えていきます。

運動学 W or オ

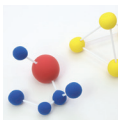
総 2 / SC 0.5

担 小倉晃布

受 15,000円

「運動学」は中・高保健体育教員免許状取得のための必修科目です。体育教員のみならず、スポーツを教えるうえで学ばなければならない内容とは何か、一緒に考えましょう。

生理学 W or オ



総 2 / SC 0.5

担 菊田幸子

受 15,000円

生理学は、ヒトの体の働きを学ぶ学問です。ヒトの体の最小単位である細胞から各組織、臓器の働きまでを学び、身体への理解を深めます。

スポーツ生理学 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 升佑二郎

受 15,000円

生理学を基礎として、運動中の身体の生理的な応答について学びます。特に運動にかかわっている神経一筋、呼吸循環器を中心に運動にかかわる生理的な反応について理解を深めます。

衛生学 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 北原秀治

受 15,000円

日本は長寿国ですが、それでも健康に関わる問題は枚挙に暇がありません。衛生学では、健康に負の影響を及ぼす因子について学び、健康について検討します。

公衆衛生学 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 細田満和子

受 15,000円

公衆衛生学の基礎知識や考え方を修得したうえで、健康を守る仕組みや社会的制度を学修していきます。また、人間関係を知り、教育実践に役立てられるように学んでいきます。

学校保健概論 W

総 2 / SC 0.5

担 斎藤利之

受 15,000円

学校保健は直接・間接的に児童生徒の「命」に係わる為、より具体的な情報を元に適切な対応がとれるよう学修していきます。

解剖学 W or オ

総 2 / SC 0.5

担 北原秀治

受 15,000円

解剖学は、基礎医学・臨床医学を問わず全ての生命科学領域において、その基盤となる非常に重要な学問の一つです。

救急処置法 会

総 2 / SC 1

担 山田美絵子 鈴木洋祐

受 20,000円

救急処置法は人の命を預かる職業である教員が必須条件で学ぶ科目です。身近な怪我、急病、事故の手当てと運搬などを行います。

レクリエーション概論 W

総 2 / SC 0.5

担 重藤誠市郎

受 15,000円

レクリエーションの基本的構造や実施方法などを学び、実際にレクリエーションを体験します。また、プログラムを作成し、受講者同士で実践します。

コーチング演習 会

総 2 / SC 1

担 與名本稔 川面聡大

受 20,000円

スポーツにおける指導者の社会的役割を理解し、その上でスポーツ指導者の役割と使命を把握し、求められるスポーツ指導者像を探求することを目的とします。

スポーツメンタルトレーニング W or オ

総 2 / SC 0.5

担 渋谷聡

受 15,000円

スポーツ心理学の理論を用いて、スポーツ選手が持っている力を試合で充分に発揮するための方法を、体験しながら身につけていきます。

スポーツマネジメント W

総 2 / SC 0.5

担 佐々木悦子

受 15,000円

マネジメントとは「有言実行」。組織をより強くする事と、する、観る、支える、教える、誰でもが成長実感を味わえる活動を同時に追求していきます。

コミュニティスポーツ論

総 2　SC —

担 髙木由起子

受 10,000円

近年コミュニケーションを苦手とするこどもたちが増えていますが、学校や社会といった集団場面において欠かすことができません。バーバルコミュニケーションやノンバーバルコミュニケーションなどの伝達方法を学ぶとともに、高齢者スポーツ、生涯スポーツ、障がい者スポーツについて学修をすすめていきます。

スポーツ論　W or オ

総 2　SC 0.5

担 林直樹

受 15,000円

現代社会における運動・スポーツの構造と役割を「健康」「教育」「文化」という観点から、実際の事例を踏まえて学修します。

インクルーシブスポーツ

総 2　SC —

担 渋谷聡

受 10,000円

障がい者スポーツ、アダプテッドスポーツ、ユニバーサルスポーツについて学び、共生社会に必要なスポーツを考えていきます。

ストレスマネジメント　W

総 2　SC 0.5

担 服部由季夫

受 15,000円

現代の日本においては、ストレスの過剰な曝露によって体調を崩す人が後を断ちません。そのストレスと自律神経の働きについて学びます。

スポーツ栄養学　W or オ

総 2　SC 0.5

担 徳野裕子

受 15,000円

スポーツをする人の健康維持、競技力向上、ケガ予防等のための栄養学を学ぶことを目的に、栄養学の基礎から応用、最新のスポーツ栄養学を説明していきます。

スポーツ調査演習　W

総 2　SC 1

担 渋谷聡

受 20,000円

スポーツに関するさまざまな情報を集め、それを数値（データ）化することによって、どう分析していくか、何が読み取れるかということを学んでいきます。

保健体育科指導法Ⅰ　会

総 2　SC 1

担 杉山正明
渋谷聡
天利公一
戸佐晃一

受 20,000円

これからの時代に求められる保健体育教員の資質と能力について考えながら、より良い体育の授業づくりの方法と学習指導案の作成について学びます。

保健体育科指導法Ⅱ　W or 会

総 2　SC 1

担 長岡邦子
髙木由起子
天利公一

受 20,000円

「保健体育」というと「体育」のイメージが大きいのですが、「保健」の授業もとても大切です。健康に生きていくために必要な内容を幅広く学修します。

保健体育科指導法Ⅲ　オ & 会

総 2　SC 1

担 渋谷聡
天利公一
戸佐晃一

受 20,000円

保健体育科指導法Ⅰで学んだ指導案をもとに、模擬授業を実践することによって、指導の工夫や教材開発の必要性について学んでいきます。

保健体育科指導法Ⅳ　会

総 2　SC 1

担 髙木由起子
内田匡輔

受 20,000円

中学校、高等学校、保健体育の保健または体育理論に焦点をあて、授業づくりや単元構成を行います。また、授業実施に向け教材研究や模擬授業を行います。

スポーツ身体表現特別講義

総 1　SC 1

担 専任教員

受 15,000円

英語学概論Ⅰ　W or オ

総 2　SC 0.5

担 古庄信

受 15,000円

英語という言語がいつ、どこで、どのように歴史上出現し、どのような過程を経て今日の国際語としての地位を築いたか。またその言語的特徴や発話のメカニズム、音の構造について学びます。

英語学概論Ⅱ　W

総 2　SC 0.5

担 中山匡美

受 15,000円

国際共通語としての英語、英語の社会的属性、発話行為・ポライトネス、語彙、文法、音韻からみる英語らしさについて学ぶとともに、理解を深めるために具体的なケーススタディにも触れていきます。

英語文学論（1）　W or オ

総 2　SC 0.5

担 武井博美

受 15,000円

イギリスの児童向け小説一冊を原文で読みます。ユーモアあふれるストーリーを楽しみながら、いきいきとした会話表現を学びます。また、文学作品の「読み」について考察し、作品論を書けるようにします。

英語文学論（2）

総 2　SC —

担 武井博美

受 10,000円

著名なイギリス人作家の小説を読み、小説の味わい方や作品論の書き方、「小説とは何か」ということを学びます。十九世紀初頭のラブコメディをとおして、イギリスの人びとの生活や風俗習慣も垣間見ることができます。

英語文学講読（1）　W or オ

総 2　SC 0.5

担 武井博美

受 15,000円

複数のアメリカ人作家の短編小説をとおして、英語表現を学びます。同時に、文学作品のさまざまな楽しみ方を考えます。文化的背景なども考慮に入れながら作品の奥深さを考察できるようになることが目標です。

英語文学講読（2）

総 2　SC —

担 武井博美

受 10,000円

「短編の名手」と謳われた二十世紀イギリス人作家のショートストーリーを複数読みます。コミカルで少しブラックな味わいのある物語は平易な英語で書かれており、楽しみながら英語の読解力向上につながります。

実践英語コミュニケーションⅠ　W

総 2　SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

ネイティブスピーカーによる授業を通して「聞く、読む、話す［やり取り・発表］、書く」のそれぞれについて実践的な英語運用能力を学びます。

実践英語コミュニケーションⅡ　W

総 2　SC 0.5

担 平岡麻里

受 15,000円

「聞く、読む、話す［やり取り・発表］、書く」能力のレベルアップを図るとともに、英語で考えをまとめて発表資料を作成し、それをもとに発表したり、他者とやり取りする能力を磨きます。

英語表現（writing）　W

総 2　SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

中学校、高等学校の英語科教員に必要なパラグラフ・ライティングを中心とした英語文章表現スキルを磨いていきます。

英語表現（conversation）

総 2　SC —

担 平岡麻里

受 10,000円

会話を中心とした英語表現スキルを磨くことを目的としています。さまざまな動画を見て、単語、音読、ディクテーション、発音練習などの演習を行います。

・★印の科目は2021年度、非開講科目となります。
・以下はスクーリングの受講方式を表しています。
W…Webライブスクーリング　Web会議アプリケーション(Zoom) を利用してご自宅等からライブで受講する科目です。　オ…オンデマンドスクーリング　インターネットを介し、動画視聴にていつでもどこでも受講できる科目です。
会…会場スクーリング　星槎大学の学習センターのほか、連携している教育機関など、全国の会場にて受講する科目です。
※「or」「&」の掲載がある科目について…「or」複数の受講方式からご自身で選択して受講　「&」複数の受講方式を組み合わせて受講

英語表現(presentation) W

総 2 / SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

中学校、高等学校の英語科教員に必要なプレゼンテーションを中心とした英語表現スキルを磨いていきます。

異文化理解 W

総 2 / SC 0.5

担 大和洋子

受 15,000円

「ことばと文化」に焦点を当てて、多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解していきます。

異文化間コミュニケーション W

総 2 / SC 0.5

担 ダニエル・ジョセフ・ウッズ

受 15,000円

基本となる視点や理論を学ぶとともに、他者への共感と他者理解の重要性について考えを深めます。また、実践的なコミュニケーション能力の育成も図るとともに、自文化を相対的に捉える視点を養います。

英語演習(1) W

総 2 / SC 1

担 平岡麻里

受 20,000円

最新のBBC(イギリス公共放送)ニュース映像を使用したテキストを使用し、イギリス内外の世界情勢に触れながら、高度なリスニングや発信力を養っていきます。

英語演習(2) W

総 2 / SC 1

担 大和洋子

受 20,000円

National Geographic、TED TALKSから厳選された教材を活用して、Grammar、Vocabulary、Listening、Speaking and Pronunciation、Reading、Writing、さらには、Discussion、Presentationといった英語科教員に必要なスキルを総合的に身に付けていきます。

グローカル社会論 W

総 2 / SC 0.5

担 東智美

受 15,000円

グローバリゼーションの展開と諸問題を学んだうえで、「グローバル・サウス」の諸地域が抱える課題から、新たな世界秩序のあり方を考察していきます。

国際英語

総 2 / SC —

担 原隆幸

受 10,000円

国際英語が指す内容だけではなく、国際英語に関連する領域にも触れながら理解を深め、国際英語とどのように接していったらいいのかを考察していきます。

近現代政治社会思想論

総 2 / SC —

担 宮﨑文彦

受 10,000円

国家とは異なる「市民社会」や「大衆」の誕生など、今日のさまざまな政治・社会の諸問題とも深いつながりを持つ近現代の政治社会思想を学び、問題解決の糸口を探ります。

地域研究概論 W

総 2 / SC 0.5

担 東智美

受 15,000円

現実世界の諸課題を学際的に研究する地域研究のアプローチを学び、グローバル及びグローカルな課題を多角的・批判的に考察する思考力を身につけることを目指します。

地域研究(1) W

総 2 / SC 1

担 木口由香

受 20,000円

東南アジア諸国の開発・環境問題の事例から、その背景にある社会・経済・政治的な特徴について学び、地域研究の意義やこの地域の多様なあり方への理解を深めます。

地域研究(2) W

総 2 / SC 1

担 岩井雪乃

受 20,000円

アフリカでは、保護すべき動物であるゾウが、害獣になっている地域があります。農村の日常生活から、グローバルな環境政策をとらえなおし、新しい視点を獲得しましょう。

地域研究(3) W

総 2 / SC 1

担 平岡麻里

受 20,000円

ヨーロッパであり、ヨーロッパではないともいえるイギリスの文化的・社会的アイデンティティを現代的問題と歴史的背景の両方から考察し、論理的にまとめる力を養成します。

地域と食文化 W

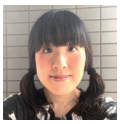
総 2 / SC 0.5

担 山本奈美

受 15,000円

私たちの暮らしと地域に根付く食と農の文化を、グローバル化する世界との連関性から読み解き、ローカル・グローバルな視点から持続可能な未来に向けた食農のあり方を考察します。

アメリカの社会と文化 W



総 2 / SC 0.5

担 斎藤寿葉

受 15,000円

「アメリカ」は単一のイメージに還元できない、さまざまな顔を持っています。この授業では現代アメリカ社会の複数性・多様性とそれがもたらす軋轢について学びます。

持続可能な地域開発

総 2 / SC —

担 坪内俊憲

受 10,000円

地域再生実践家の活動小説を出発点として、持続可能な地域開発にはどのような考えの下に、どのような人材、物、お金を集めて持続性を獲得するか考えてみましょう。

生態資源とグローバル社会 W

総 2 / SC 0.5

担 西原智昭

受 15,000円

アフリカ・コンゴ盆地の熱帯林地域を対象に、森林生態系やそれに隣接する海洋生態系、野生生物及び先住民族について理解し、そこから見える課題の中で今後のアフリカや地球全体及び近代文明のあり方とこれからの人類の生き方について考察していきます。

国際観光論 W

総 2 / SC 0.5

担 遠藤理一

受 15,000円

21世紀は観光の時代とも呼ばれています。国際観光はどのような歴史的・社会的背景をもち、文化的な問題や可能性があるのか、日本と世界の事例から考えていきましょう。

移民と共生 W

総 2 / SC 0.5

担 設楽澄子

受 15,000円

現在日本には、技能実習生や留学生など働く外国人が数多くいる他、外国にルーツを持つこどもも増えています。彼らをどう受け入れ活力ある社会を作っていくか考えます。

共生と場所文化

総 2 / SC —

担 鬼頭秀一

受 10,000円

グローバルな市場経済が人々の暮らしの土台さえ奪ってしまう状況の中で、独自の「場所文化」を持った多様な地域が循環共生型の社会を構築し、グローバルに共生する形を考えます。

コミュニティデザイン論 W

総 2 / SC 0.5

担 渡部陽介

受 15,000円

気候変動など地球規模の危機と身近なまち・地域の暮らしのつながりを理解し、ローカルな自然共生を基軸としたコミュニティデザインについて考えていきます。

コミュニティデザイン演習(1) W

総 2 / SC 1

担 渡部陽介

受 20,000円

国内外のコミュニティにおける自然共生の多様な事例を学び、経済成長を前提とせず豊かに暮らしつづけられるまち・地域のあり方をグループ討議により考えていきます。

… 基盤科目　… 発展研究科目　… 課題実践探究　… 教養科目　… 共通　… 教育　… 特別支援　… 環境
… 国際関係　… 初等教育　… 福祉　… スポーツ身体表現　… グローカルコミュニケーション　… 資格関連

コミュニティデザイン演習（2） W

総 2　SC 1

担 渡部陽介

受 20,000円

身近なまち・地域の自然や社会、歴史等を読み解き、課題探索や調査・分析、解決策の提案といった過程を実践しつつ、コミュニティデザインの多様性を相互に学び合います。

NGO・NPO論

総 2　SC —

担 坪内俊憲

受 10,000円

ボランティア精神、清貧など性善説で覆われているNGO・NPOについて、国際NGO、国連で活躍してきた著者の実践や考え方から、NGO・NPOについて考えてみましょう。

グローカルコミュニケーション特別講義

総 1　SC 1

担 専任教員

受 15,000円

社会科公民科指導法Ⅰ W or 会

総 2　SC 0.5

担 手島純

受 15,000円

社会科公民科指導法Ⅱ W or 会

総 2　SC 0.5

担 手島純

受 15,000円

社会科公民科指導法Ⅲ

総 2　SC —

担 手島純

受 10,000円

社会科公民科指導法Ⅳ

総 2　SC —

担 手島純

受 10,000円

道徳の理論・指導法（中等） W

総 2　SC 0.5

担 飛田仁

受 15,000円

総合的な学習の時間の指導法（中等） W or オ

総 1　SC 0.5

担 高橋正尚

受 10,000円

特別活動の指導法（中等） W or オ

総 1　SC 0.5

担 高橋正尚

受 10,000円

生徒・進路指導論（中等） W or オ

総 2　SC 0.5

担 今井文男
林尚示

受 15,000円

教育実習（中等）Ⅰ（1） W

総 5　SC 5

担 斎藤やす子
天利公一

受 75,000円

教育実習（中等）Ⅰ（2） W

総 3　SC 3

担 斎藤やす子
天利公一

受 45,000円

教育実習（中等）Ⅱ W

総 3　SC 3

担 斎藤やす子
天利公一

受 45,000円

教育実習（特別支援） W

総 3　SC 3

担 千田光久

受 45,000円

教職実践演習（中等） W & 会

総 2　SC 2

担 丸本茂樹
渋谷聡
手島純
大和洋子
天利公一

受 30,000円

地理歴史科指導法Ⅰ W or 会

総 2　SC 0.5

担 日髙智彦

受 15,000円

地理歴史科指導法Ⅱ W or 会

総 2　SC 0.5

担 日髙智彦

受 15,000円

英語科指導法Ⅰ W or 会

総 2　SC 0.5

担 大和洋子
呉屋英樹

受 15,000円

英語科指導法Ⅱ W or 会

総 2　SC 0.5

担 呉屋英樹

受 15,000円

英語科指導法Ⅲ W or 会

総 2　SC 0.5

担 東矢光代

受 15,000円

英語科指導法Ⅳ W or 会

総 2　SC 0.5

担 大和洋子
東矢光代

受 15,000円

特例・教職入門

総 2　SC —

担 手島純

受 16,000円

特例・学校の制度

総 2　SC —

担 水内宏

受 16,000円

特例・教育課程編成論

総 1　SC —

担 田中敏哲

受 8,000円

特例・保育指導法 W

総 1　SC 1

担 樫永卓三

受 18,000円

特例・教育の方法と技術

総 1　SC —

担 仲久徳

受 8,000円

特例・幼児理解

総 1　SC —

担 田中敏哲

受 8,000円

※「特例」の科目については、科目等履修生でのご案内となるため、受講料は科目等履修生の金額です。

INDEX

資格編

資格を持っていることが条件であっても本当に社会で求められるのは、
学んできたことを実践の場で活かせるかどうか。
「人間性」と「実践力」が問われます。
現場で求められている力を身につけるための専門科目を多く開講し、
みなさまをお待ちしておりますので、安心して資格取得を目指してください。

活きる資格取得を目指す

～社会で活躍するための力を身につける～

35 教員免許状の取得について

36 教員免許状教職課程科目
- 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目
- 幼稚園・小学校
- 中学校（社会）・高等学校（地理歴史）（公民）
- 中学校（保健体育）・高等学校（保健体育）
- 中学校（英語）・高等学校（英語）
- 特別支援学校

46 資格履修生による教員免許状の取得について

48 幼稚園教諭免許状特例講座

49 小学校外国語活動指導者認定講座

50 社会福祉士（国家試験受験資格）／
社会福祉主事（任用資格）

51 福祉スポーツ指導員（履修証明プログラム）

52 支援教育専門士（履修証明プログラム）

53 AS（自閉症スペクトラム）サポーター

54 教育カウンセラー／ピアヘルパー

55 准学校心理士

教員免許状の取得について

1 本学で取得可能な教員免許状

本学では以下の教員免許状を取得することができます。

専攻	免許種	教育実習単位数	実習期間
共生科学専攻	中学校教諭1種免許状(社会)	5単位	3週間
	高等学校教諭1種免許状(地理歴史)	3単位	2週間
	高等学校教諭1種免許状(公民)	3単位	2週間
	特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)	3単位	2週間
初等教育専攻	幼稚園教諭1種免許状	5単位	3週間
	小学校教諭1種免許状	5単位	3週間
スポーツ身体表現専攻	中学校教諭1種免許状(保健体育)	5単位	3週間
	高等学校教諭1種免許状(保健体育)	3単位	2週間
グローカル コミュニケーション専攻	中学校教諭1種免許状(英語)	5単位	3週間
	高等学校教諭1種免許状(英語)	3単位	2週間

※すでに免許状を所有している場合は、修得すべき教育実習単位数が変わる場合がありますので、ご相談ください。
※2種免許状(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)の取得をご希望の方はご相談ください。
※本学の3月卒業と同時に1種免許状授与に必要なすべての単位(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を含む)を修得する場合、神奈川県教育委員会に一括申請することができます。その他の場合は、現住所がある(現職教員の方は勤務校所在地)都道府県教育委員会に個人で申請していただきます。

2 教員免許状を取得するために必要な条件

(1)幼稚園教諭1種、小学校教諭1種、中学校教諭1種(社会／保健体育／英語)、高等学校教諭1種(地理歴史／公民／保健体育／英語)

①学士の学位を有すること(本学で取得可)。
②教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を修得すること。
③教職課程において所定の単位を修得していること。
④小学校教諭1種、中学校教諭1種(社会／保健体育／英語)の免許状を取得する場合、「介護等体験(※)」を実施していること(本学で実施する場合、正科生のみ申し込み可)。
※原則として2日間の特別支援学校での体験、5日間の社会福祉施設での体験、計7日間の体験を行うことが必要です。
※介護等体験は大学を通して申請します。
(注)初めて免許状を取得される方は、以上のすべての要件をみたす必要があります。

(2)特別支援学校教諭1種

①学士の学位を有すること(本学で取得可)。
②教員免許状の普通免許状を所有していること(本学で取得可。「幼稚園」「小学校」「中学校」「高等学校」を問いません。また、1種2種も問いません)。
③教職課程において所定の単位を修得していること。

(3)免許状取得についての注意事項

①免許状取得希望の方は星槎大学の教職課程登録をする必要があります(教職課程登録費・教育実習費が必要となります)。〈学生募集要項P.6参照〉
②教員としての勤務経験を活かして免許状取得を目指される場合、必要科目・単位数については、各都道府県の教育委員会に必ず確認してください(教育職員検定)。

3 教育実習について

(1)他の免許状を所有している場合は、教育実習単位数が変わる場合があります。必ず免許状を取得された大学発行の「学力に関する証明書」を提出し、本学教職総合支援センターの確認を受けてください。

(2)教育実習科目には事前・事後指導(1単位)が含まれます。
事前指導スクーリング、事後指導スクーリング(各1日)を必ず受講してください。

(3)授業料、スクーリング受講料のほか、教職課程登録費、教育実習費等がかかります(教職課程登録が必要です)。
〈学生募集要項P.6参照〉

(4)実習校は基本的にご自身で開拓していただきます(内諾活動【自己開拓】時期は実習前年度8月末までに行うことが望ましい)。ただし、地域によって大学より教育委員会等に一括して申請をする場合もありますので、希望される地域の実習受入れの流れを早めに確認してください。

■教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

1.教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（合計8単位以上）

＊SC＝スクーリング

教育職員免許法施行規則に規定する科目	本学開設科目			
	科目名	単位数		区分
		総単位	SC	
日本国憲法	日本国憲法	2	0	必修
体育	スポーツ（1）	1	0.5	必修
	スポーツ（2）	1	0.5	必修
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション（1）	2	0.5	いずれか1科目以上必修
	英語コミュニケーション（2）	2	0.5	
情報機器の操作	情報処理	2	0	必修
本学必修単位数合計		8	1.5	

■幼稚園・小学校教職課程科目

1.教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（上記参照）に加え、以下の通り履修してください。

幼稚園教諭1種免許状　以下の区分に従って、51単位以上履修してください。

・選択科目から2単位以上の修得が必要となります。

小学校教諭1種免許状　以下の区分に従って、69単位以上履修してください。

幼稚園教諭1種免許状/小学校教諭1種免許状　以下の区分に従って、85単位以上履修してください。

・選択科目から2単位以上の修得が必要となります。

2.領域及び保育内容の指導法に関する科目/ 教科及び教科の指導法に関する科目

＊SC＝スクーリング

科目区分	左項の各項目に含めることが必要な事項	本学の開設授業科目			幼稚園	小学校	幼稚園/小学校
		科目	単位数				
			総単位	SC			
領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校）	国語（書写を含む。）	教科（国語）	2	0.5	○	○	○
	社会	教科（社会）	2	0.5	―	○	○
	算数	教科（算数）	2	0.5	○	○	○
	理科	教科（理科）	2	0.5	―	○	○
	生活	教科（生活）	2	0.5	○	○	○
	音楽	教科（音楽）	2	0.5	○	○	○
	図画工作	教科（図画工作）	2	0.5	○	○	○
	家庭	教科（家庭）	2	0.5	―	○	○
	体育	教科（体育）	2	0.5	○	○	○
	外国語	教科（外国語）	2	0.5	―	○	○
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）（幼稚園） 各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）（小学校）	保育内容の指導法	保育内容の指導法（健康）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（人間関係）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（環境）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（言葉）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（音楽表現）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（造形表現）	2	0.5	○	―	○
		保育内容の指導法（総合演習）	2	0.5	選	―	選
	国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	2	0.5	―	○	○
	社会	初等教科教育法（社会）	2	0.5	―	○	○
	算数	初等教科教育法（算数）	2	0.5	―	○	○
	理科	初等教科教育法（理科）	2	0.5	―	○	○
	生活	初等教科教育法（生活）	2	0.5	―	○	○
	音楽	初等教科教育法（音楽）	2	0.5	―	○	○
	図画工作	初等教科教育法（図画工作）	2	0.5	―	○	○
	家庭	初等教科教育法（家庭）	2	0.5	―	○	○
	体育	初等教科教育法（体育）	2	0.5	―	○	○
	外国語	初等教科教育法（外国語）	2	0.5	―	○	○
本学必修単位数合計					24（6）	40（10）	52（13）

○＝必修、選＝選択

3.教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目			幼稚園	小学校	幼稚園/小学校
		科目	単位数				
科目区分	左項の各項目に含めることが必要な事項		総単位	SC			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(初等)	2	0	○	○	○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(初等)	2	0.5	○	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営・学校安全論(初等)	2	0.5	○	○	○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(初等)	2	0	○	○	○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	2	0.5	○	○	○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(初等)	2	0.5	○	○	○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法(初等)	2	0.5	—	○	○
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(初等)	1	0.5	—	○	○
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(初等)	1	0.5	—	○	○
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(初等)	2	0.5	○	○	○
	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論(初等)	2	0.5	—	○	○
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	2	0.5	○	—	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(初等)	2	0.5	○	○	○
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(初等)(1)	5	5	○	○	○
		教育実習(初等)(2)	3	3			
	教職実践演習	教職実践演習(初等)	2	2	○	○	○
本学必修単位数合計					25(10.5)	29(12)	31(12.5)

○＝必修
※教育実習科目には事前・事後指導(1単位)が含まれています。

4.大学が独自に設定する科目

科目区分	本学の開設授業科目			幼稚園	小学校	幼稚園/小学校
	科目	単位数				
		総単位	SC			
大学が独自に設定する科目	生涯学習論	2	0	選	選	選
	発達障害概論	2	1			
	持続可能な開発のための教育(ESD)	2	0.5			
	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	0.5			
	ワーク・ライフ・バランス論	2	0			
	授業実践演習(初等)	2	0.5			
	アクティブラーニング演習	2	0.5			
	多様な幼児・児童の支援演習	2	0.5			
	学校ボランティア(初等)Ⅰ	1	1			
	学校ボランティア(初等)Ⅱ	1	1			

選＝選択

■中学校（社会）・高等学校（地理歴史）（公民）教職課程科目

1.教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（P.36参照）に加え、以下の通り履修してください。

中学校教諭1種（社会）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択・選択必修科目（履修済み科目を除く）から2単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において28単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

高等学校教諭1種（地理歴史）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択・選択必修科目（履修済み科目を除く）から10単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において24単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

高等学校教諭1種（公民）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択・選択必修科目（履修済み科目を除く）から10単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において24単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

中学校教諭1種（社会）/高等学校教諭1種（地理歴史）（公民）　以下の区分に従って、87単位以上履修してください。

・「大学が独自に設定する科目」から6単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」から修得する場合は、「地理歴史」の「選」から2単位以上、「公民」の「☆」、「選」から6単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において24単位以上となるよう選択履修した科目は除く））。

2.教科及び教科の指導法に関する科目

＊SC＝スクーリング

免許法施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目	単位数		社会	地理歴史	公民	社会/地歴/公民	
科目区分		左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史（中学校社会）	歴史概説Ⅰ	2	0.5	○	選	−	○	
			歴史概説Ⅱ	2	0.5	○		−	○	
			アジアの近代と社会	2	0.5	選		−	選	
		地理学（地誌を含む。）（中学校社会）	地理概説Ⅰ	2	0.5	○	選	−	○	
			地理概説Ⅱ	2	0	☆		−	☆	
			風土と内発的発展	2	0					
			地理情報システム（GIS）演習	2	0.5					
		「法律学、政治学」（中学校社会） 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」（高等学校公民）	法学Ⅰ	2	0	○	−	○	○	
			国際法	2	0.5	☆	−	○	○	
			法学Ⅱ	2	0		−	☆	☆	※
			国際関係論	2	0.5		−			
			環境法	2	0.5		−			
			政治学	2	0.5		−			
		「社会学、経済学」（中学校社会） 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」（高等学校公民）	社会学	2	0.5	☆	−	☆	☆	
			経済学	2	0					
			医療社会学	2	0	☆	−	☆	☆	
			比較文化論	2	0.5		−			
			環境社会学	2	0.5		−			
			国際ジャーナリズム論	2	0.5		−			
			問題解決のための国際協働論	2	0.5		−			
		「哲学、倫理学、宗教学」（中学校社会）	哲学・倫理学	2	0.5	☆	−	☆	☆	
			宗教学	2	0.5		−			
			環境倫理	2	0	☆	−	☆	☆	
			公共哲学	2	0.5		−			
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」（高等学校公民）	心理学（1）	2	0	−	−		選	
			心理学（2）	2	0	−	−			
		日本史（高等学校地理歴史）	日本史Ⅰ	2	0.5	−	○	−	○	
			日本史Ⅱ	2	0	−	○	−	○	
			日本史演習	2	0.5	−	選	−	選	
		外国史（高等学校地理歴史）	外国史Ⅰ	2	0.5	−	○	−	○	
			外国史Ⅱ	2	0	−	○	−	○	
			外国史演習	2	0.5	−	選	−	選	
		人文地理学・自然地理学（高等学校地理歴史）	人文地理学	2	0.5	−	○	−	○	
			自然地理学	2	0.5	−	○	−	○	
		地誌（高等学校地理歴史）	地誌概論	2	0.5	−	○	−	○	
			地誌	2	0.5	−	○	−	○	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		公共演習	2	0.5	選	−	選	選	※
			平和演習	2	0.5	選	−	選	選	
			人権演習	2	0.5	選	−	選	選	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		社会科公民科科指導法Ⅰ	2	0.5	○	−	○	○	
			社会科公民科科指導法Ⅱ	2	0.5	○	−	○	○	
			社会科公民科科指導法Ⅲ	2	0	○	−	選	○	
			社会科公民科科指導法Ⅳ	2	0	○	−	選	○	
			地理歴史科指導法Ⅰ	2	0.5	−	○	−	○	
			地理歴史科指導法Ⅱ	2	0.5	−	○	−	○	
本学必修単位数合計						28（3〜）	24（4.5〜）	24（2〜）	52（7.5〜）	

○＝必修、☆＝各区分でいずれか1科目以上選択必修、選＝選択

高校（地理歴史）：必修、選択を合わせて24単位以上になるよう履修してください。

高校（公民）：必修、選択を合わせて24単位以上になるよう履修してください。

中学校（社会）/高校（地理歴史）（公民）：※印内の☆の各区分で1科目以上（計5科目以上）選択したうえで、さらに1科目以上（2単位以上）選択し、計12単位以上となるよう履修してください。

3.教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目	必要科目		社会	地理歴史	公民	社会/地歴/公民
科目区分	左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中等)	2	0	○	○	○	○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中等)	2	0.5	○	○	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営・学校安全論(中等)	2	0.5	○	○	○	○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中等)	2	0	○	○	○	○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	0.5	○	○	○	○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中等)	2	0.5	○	○	○	○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法(中等)	2	0.5	○	選	選	○
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○	○
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○	○
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中等)	2	0.5	○	○	○	○
	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論(中等)	2	0.5	○	○	○	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(中等)	2	0.5	○	○	○	○
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(中等)Ⅰ(1)	5	5	○			○
		教育実習(中等)Ⅰ(2)	3	3		○	○	
		教育実習(中等)Ⅱ	3	3				
	教職実践演習	教職実践演習(中等)	2	2	○	○	○	○
本学必修単位数合計					29(12)	25(9.5)	25(9.5)	29(12)

○＝必修、選＝選択

※教育実習科目には事前・事後指導(1単位)が含まれています。

4.大学が独自に設定する科目

科目区分	本学の開設授業科目			社会	地理歴史	公民	社会/地歴/公民
	科目	単位数					
		総単位	SC				
大学が独自に設定する科目	生涯学習論	2	0	選	選	選	選
	発達障害概論	2	1				
	持続可能な開発のための教育(ESD)	2	0.5				
	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	0.5				
	ワーク・ライフ・バランス論	2	0				
	授業実践演習(中等)	2	0.5				
	アクティブラーニング演習	2	0.5				
	多様な生徒の支援演習	2	0.5				
	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1	1				
	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1	1				

選＝選択

■中学校（保健体育）・高等学校（保健体育）教職課程科目

1.教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（P.36参照）に加え、以下の通り履修してください。

中学校教諭1種（保健体育）　以下の区分に従って、62単位以上履修してください。

高等学校教諭1種（保健体育）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択・選択必修科目（履修済み科目を除く）から5単位以上の修得が必要となります。

中学校教諭1種（保健体育）/高等学校教諭1種（保健体育）　以下の区分に従って、62単位以上履修してください。

2.教科及び教科の指導法に関する科目

＊SC＝スクーリング

免許法施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目	単位数		中学校	高等学校	中学校/高等学校
科目区分		左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	体つくり運動	1	1	○	○	○
			器械運動	1	1	○	○	○
			陸上	1	1	○	○	○
			水泳	1	1	○	○	○
			サッカー	1	1	○	○	○
			バレーボール	1	1	○	○	○
			野球	1	1	○	○	○
			柔道	1	1	○	○	○
			ダンス	1	1	○	○	○
			バドミントン	1	1	選	選	選
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	スポーツ原理	2	0.5	☆	☆	☆
			スポーツ心理学	2	0.5			
			スポーツ経営管理論	2	0.5			
			スポーツ社会学	2	0.5			
			体育史	2	0			
			運動学	2	0.5	○	○	○
		生理学（運動生理学を含む。）	生理学	2	0.5	○	○	○
			スポーツ生理学	2	0.5	○	○	○
			解剖学	2	0.5	選	選	選
		衛生学・公衆衛生学	衛生学	2	0.5	○	○	○
			公衆衛生学	2	0.5	○	○	○
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健概論	2	0.5	○	○	○
			救急処置法	2	1	○	○	○
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		陸上演習	2	1	選	選	選
			球技演習	2	1	選	選	選
			武道演習	2	1	選	選	選
			ダンス演習	2	1	選	選	選
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	2	1	○	○	○
			保健体育科指導法Ⅱ	2	1	○	○	○
			保健体育科指導法Ⅲ	2	1	○	選	○
			保健体育科指導法Ⅳ	2	1	○	選	○
本学必修単位数合計						33（17～）	29（15～）	33（17～）

○＝必修、☆＝1科目以上選択必修、選＝選択

3.教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目	単位数		中学校	高等学校	中学校/高等学校
科目区分	左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中等)	2	0	○	○	○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中等)	2	0.5	○	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営・学校安全論(中等)	2	0.5	○	○	○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中等)	2	0	○	○	○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	0.5	○	○	○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中等)	2	0.5	○	○	○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法(中等)	2	0.5	○	選	○
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中等)	2	0.5	○	○	○
	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論(中等)	2	0.5	○	○	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(中等)	2	0.5	○	○	○
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(中等)Ⅰ(1)	5	5	○		○
		教育実習(中等)Ⅰ(2)	3	3		○	
		教育実習(中等)Ⅱ	3	3			
	教職実践演習	教職実践演習(中等)	2	2	○	○	○
本学必修単位数合計					29(12)	25(9.5)	29(12)

○＝必修、選＝選択

※教育実習科目には事前・事後指導(1単位)が含まれています。

4.大学が独自に設定する科目

科目区分	本学の開設授業科目			中学校	高等学校	中学校/高等学校
	科目	単位数				
		総単位	SC			
大学が独自に設定する科目	生涯学習論	2	0	選	選	選
	発達障害概論	2	1			
	持続可能な開発のための教育(ESD)	2	0.5			
	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	0.5			
	ワーク・ライフ・バランス論	2	0			
	授業実践演習(中等)	2	0.5			
	アクティブラーニング演習	2	0.5			
	多様な生徒の支援演習	2	0.5			
	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1	1			
	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1	1			

選＝選択

■中学校（英語）・高等学校（英語）教職課程科目

1.教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（P.36参照）に加え、以下の通り履修してください。

中学校教諭1種（英語）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択科目から2単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において28単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

高等学校教諭1種（英語）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択科目から10単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において24単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

中学校教諭1種（英語）/高等学校教諭1種（英語）　以下の区分に従って、59単位以上履修してください。

・選択科目から2単位以上の修得が必要となります（「教科及び教科の指導法に関する科目」において28単位以上となるよう選択履修した科目は除く）。

2.教科及び教科の指導法に関する科目

＊SC＝スクーリング

免許法施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目	単位数		中学校	高等学校	中学校/高等学校
科目区分		左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論Ⅰ	2	0.5	○	○	○
			英語学概論Ⅱ	2	0.5	○	○	○
		英語文学	英語文学論（1）	2	0.5	○	○	○
			英語文学論（2）	2	0	選	選	選
			英語文学講読（1）	2	0.5	○	○	○
			英語文学講読（2）	2	0	選	選	選
		英語コミュニケーション	実践英語コミュニケーションⅠ	2	0.5	○	○	○
			実践英語コミュニケーションⅡ	2	0.5	○	○	○
			英語表現（writing）	2	0.5	選	選	選
			英語表現（conversation）	2	0	選	選	選
			英語表現（presentation）	2	0.5	選	選	選
		異文化理解	異文化理解	2	0.5	○	○	○
			異文化間コミュニケーション	2	0.5	選	選	選
			国際関係論	2	0.5	選	選	選
			比較文化論	2	0.5	選	選	選
			国際ジャーナリズム論	2	0.5	選	選	選
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		英語演習（1）	2	1	選	選	選
			英語演習（2）	2	1	選	選	選
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		英語科指導法Ⅰ	2	0.5	○	○	○
			英語科指導法Ⅱ	2	0.5	○	○	○
			英語科指導法Ⅲ	2	0.5	○	選	○
			英語科指導法Ⅳ	2	0.5	○	選	○
本学必修単位数合計						28（5.5～）	24（4.5～）	28（5.5～）

○＝必修、選＝選択

中学校：必修、選択を合わせて28単位以上になるよう履修してください。

高等学校：必修、選択を合わせて24単位以上となるよう履修してください。

中学校/高等学校：必修、選択を合わせて28単位以上になるよう履修してください。

3.教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目	単位数		中学校	高等学校	中学校/高等学校
科目区分	左項の各項目に含めることが必要な事項	科目	総単位	SC			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理(中等)	2	0	○	○	○
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中等)	2	0.5	○	○	○
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営・学校安全論(中等)	2	0.5	○	○	○
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(中等)	2	0	○	○	○
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	0.5	○	○	○
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中等)	2	0.5	○	○	○
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法(中等)	2	0.5	○	選	○
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中等)	1	0.5	○	○	○
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中等)	2	0.5	○	○	○
	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論(中等)	2	0.5	○	○	○
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(中等)	2	0.5	○	○	○
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(中等)Ⅰ(1)	5	5	○		○
		教育実習(中等)Ⅰ(2)	3	3		○	
		教育実習(中等)Ⅱ	3	3			
	教職実践演習	教職実践演習(中等)	2	2	○	○	○
本学必修単位数合計					29(12)	25(9.5)	29(12)

○＝必修、選＝選択

※教育実習科目には事前・事後指導(1単位)が含まれています。

4.大学が独自に設定する科目

科目区分	本学の開設授業科目			中学校	高等学校	中学校/高等学校
	科目	単位数				
		総単位	SC			
大学が独自に設定する科目	生涯学習論	2	0	選	選	選
	発達障害概論	2	1			
	持続可能な開発のための教育(ESD)	2	0.5			
	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	0.5			
	ワーク・ライフ・バランス論	2	0			
	授業実践演習(中等)	2	0.5			
	アクティブラーニング演習	2	0.5			
	多様な生徒の支援演習	2	0.5			
	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1	1			
	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1	1			

選＝選択

■特別支援学校 教職課程科目

特別支援学校教諭1種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）（以下の区分にしたがって 29単位以上が必要）

＊SC＝スクーリング

免許法施行規則に定める科目区分等		本学開設科目			
		科目名	単位数		区分
			総単位	SC	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育論	2	1	必修
		障害児教育総論	2	0	選択
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児・者の心理・生理・病理	2	0	必修
		肢体不自由児・者の心理・生理・病理	2	0	必修
		病弱児・者の心理・生理・病理	2	0	必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害児・者への支援	2	0	必修
		肢体不自由児・者への支援	2	0	必修
		病弱児・者への支援	2	0	必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育総論	2	0.5	必修
		肢体不自由教育総論	2	0	必修
		病弱教育総論	2	0	必修
特別支援教育領域以外の領域に関する科目（免許状に定められることとなる）	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	自閉症児・者の心理	2	0	選択
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	自閉症児・者への支援	2	0	選択
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	聴覚障害教育総論	2	0	必修
		視覚障害教育総論	2	0	必修
		発達障害概論	2	1	必修
		発達障害教育指導法（1）	2	1	選択
		発達障害教育指導法（2）	2	1	選択
		発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	1	1	選択
		発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	1	1	選択
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		教育実習（特別支援）	3	3	必修※
本学必修単位数合計			29	5.5	

※教育実習科目には、事前・事後指導（1単位）が含まれます。

特別支援学校教諭 免許状取得について

A 現在お持ちの免許状での勤務経験がない、または3年未満の方が特別支援学校教諭1種免許状を取得する場合

□本学で受講が必要な科目（モデルコース）14科目

前ページの「特別支援学校 教職課程科目」の必修科目（14科目）を履修してください。

【留意事項】

● 免許状の申請に関して

本学の3月卒業と同時に1種免許状授与に必要なすべての単位を修得する場合、神奈川県教育委員会に一括申請することができます。
その他の場合は、お住まいの都道府県（現職教員の方は勤務校所在地）に個人で申請していただきます。

B 現在お持ちの免許状での勤務経験がない、または3年未満の方が特別支援学校教諭2種免許状を取得する場合

□本学で受講が必要な科目（モデルコース）11科目

前ページの「特別支援学校 教職課程科目」の中から次の11科目を履修してください。

○特別支援教育論	○知的障害児・者の心理・生理・病理	○肢体不自由児・者の心理・生理・病理	○病弱児・者の心理・生理・病理
○知的障害児・者への支援	○肢体不自由児・者への支援	○病弱児・者への支援	○聴覚障害教育総論
○視覚障害教育総論	○発達障害概論	○教育実習（特別支援）	

【留意事項】

● 免許状の申請に関して

お住まいの都道府県教育委員会（現職教員の方は勤務校所在地）に個人で申請します。

C 現在お持ちの免許状での勤務経験が3年以上（申請時において）の方が特別支援学校教諭2種免許状を取得する場合（教育職員検定 別表第7）

□本学で受講が必要な科目（モデルコース）7科目

前ページの「特別支援学校 教職課程科目」の中から次の7科目を履修してください。

○特別支援教育論	○知的障害教育総論	○肢体不自由教育総論	○病弱教育総論
○聴覚障害教育総論	○視覚障害教育総論	○発達障害概論	

【留意事項】

● 受講が必要な科目について

修得すべき必要単位数が、都道府県教育委員会によって異なる場合がありますので、必ずご自身が申請する教育委員会に確認してください。

● 勤務年数について

勤務年数の計算方法については、都道府県教育委員会によって細部が異なる場合がありますので、必ずご自身が申請する教育委員会に確認してください。

● 免許状の申請に関して

勤務校所在地の都道府県教育委員会に個人で申請します。

D 教育領域を追加する場合

ケース1.特別支援学校教諭2種免許状（知的障害者）を所有、「肢体不自由者」「病弱者」を追加したい。

□本学で受講が必要な科目（モデルコース）4科目

前ページの「特別支援学校 教職課程科目」の中から以下の4科目を履修してください。

○肢体不自由児・者の心理・生理・病理	○肢体不自由児・者への支援	○病弱児・者の心理・生理・病理	○病弱児・者への支援

ケース2.特別支援学校教諭2種免許状（知的障害者・肢体不自由者）を所有、「病弱者」を追加したい。

□本学で受講が必要な科目（モデルコース）2科目

前ページの「特別支援学校 教職課程科目」の中から以下の2科目を履修してください。

○病弱児・者の心理・生理・病理　○病弱児・者への支援

【留意事項】

● 免許状の申請に関して

お住まいの都道府県教育委員会（現職教員の方は勤務校所在地）に個人で申請します。

資格履修生による教員免許状の取得について

資格履修生とは、科目等履修生としての入学区分の中で、教育職員検定を利用し、定額コースにて新たに特別支援学校、幼稚園、小学校の2種免許状を取得することを目的とした方々を指します。最短半年間で取得できます。
また、資格履修生は、以下にある各科目以外に定額費用内で**「星槎学」「共生科学概説（1）」「共生科学概説（2）」**の3科目を学ぶことができ、1科目以上修得することで修了証を発行いたします。
※費用等の詳細につきましては、『学生募集要項』P.5をご覧ください。

教育職員検定とは

教育職員検定の対象になるのは、主として現職教員または過去に教員として実務経験のあった方です。教育職員検定とは「検定」とあるので試験のようですが、実際には試験があるわけではありません。
教育職員免許法第6条に「教育職員検定は、受検者の人物、学力、実務及び身体について、授与権者が行う。」とあり、学力の検定は「大学での単位修得」、もしくは授与権者の行う「認定講習での単位修得」、人物、実務及び身体の検定は、基本的には勤務校（もしくは勤務していた学校）の管理職が書面により証明します。

■特別支援学校教諭2種免許状

所有免許状での勤務経験が3年以上ある方は、以下の7科目の修得により免許状の個人申請をすることができます。

＊SC＝スクーリング

教育職員免許状施行規則に定める科目区分	本学開設科目			
	科目名	総単位	SC	区分
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育論	2	1	必修
特別支援教育領域に関する科目	知的障害教育総論	2	0.5	必修
	肢体不自由教育総論	2	0	必修
	病弱教育総論	2	0	必修
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	聴覚障害教育総論	2	0	必修
	視覚障害教育総論	2	0	必修
	発達障害概論	2	1	必修
修得が必要な科目の単位数合計		14	2.5	

※所有免許状：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれかの普通免許状

■幼稚園教諭2種免許状（■から3科目以上を選択）

小学校教諭免許状での勤務経験が3年以上ある方は、以下の科目から3区分以上の修得により免許状の個人申請をすることができます。

＊SC＝スクーリング

教育職員免許状施行規則に定める科目区分	本学開設科目			
	科目名	総単位	SC	区分
領域及び保育内容の指導法に関する科目〈保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉	保育内容の指導法（健康）	2	0.5	■
	保育内容の指導法（人間関係）	2	0.5	■
	保育内容の指導法（環境）	2	0.5	■
	保育内容の指導法（言葉）	2	0.5	■
	保育内容の指導法（音楽表現）	2	0.5	■
	保育内容の指導法（造形表現）	2	0.5	
修得が必要な科目の単位数合計		6～	1.5～	

※「保育内容の指導法（音楽表現）」と「保育内容の指導法（造形表現）」は、2科目で1区分となります。
※教育委員会によっては、全科目の修得が必要となる場合がありますので、申請予定の教育委員会に直接確認してください。

■小学校教諭2種免許状（必修3科目に加え、■から5科目以上を選択）

幼稚園教諭免許状での勤務経験が3年以上ある方は、以下の科目から8科目以上の修得により免許状の個人申請をすることができます。

＊SC＝スクーリング

教育職員免許状施行規則に定める科目区分		本学開設科目			
		科目名	総単位	SC	区分
教科及び教科の指導法に関する科目〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉		初等教科教育法（国語）	2	0.5	■
		初等教科教育法（社会）	2	0.5	■
		初等教科教育法（算数）	2	0.5	■
		初等教科教育法（理科）	2	0.5	■
		初等教科教育法（音楽）	2	0.5	■
		初等教科教育法（図画工作）	2	0.5	■
		初等教科教育法（家庭）	2	0.5	■
		初等教科教育法（体育）	2	0.5	■
		初等教科教育法（外国語）	2	0.5	■
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論・指導法（初等）	2	0.5	必修
	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論（初等）	2	0.5	必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（初等）	2	0.5	必修
修得が必要な科目の単位数合計			16	4	

■小学校教諭2種免許状（必修2科目に加え、■から5科目以上を選択）

中学校教諭免許状での勤務経験が3年以上ある方は、以下の科目から7科目以上の修得により免許状の個人申請をすることができます。

＊SC＝スクーリング

教育職員免許状施行規則に定める科目区分		本学開設科目			
		科目名	総単位	SC	区分
教科及び教科の指導法に関する科目〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉		初等教科教育法（国語）	2	0.5	■
		初等教科教育法（社会）	2	0.5	■
		初等教科教育法（算数）	2	0.5	■
		初等教科教育法（理科）	2	0.5	■
		初等教科教育法（生活）	2	0.5	■
		初等教科教育法（音楽）	2	0.5	■
		初等教科教育法（図画工作）	2	0.5	■
		初等教科教育法（家庭）	2	0.5	■
		初等教科教育法（体育）	2	0.5	■
		初等教科教育法（外国語）	2	0.5	■
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論（初等）	2	0.5	必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（初等）	2	0.5	必修
修得が必要な科目の単位数合計			14	3.5	

※各教科の指導法の選択科目は、所有する中学校教諭免許状の教科に相当する教科を除いて選択してください。
（例：中学校教諭国語の免許状での勤務経験がある方は、「初等教科教育法（国語）」以外から選択）

留意事項

○受講が必要な科目について

修得すべき必要単位数が、都道府県教育委員会によって異なる場合がありますので、必ずご自身が申請する教育委員会に確認してください。

○勤務年数について

勤務年数の計算方法については、都道府県教育委員会によって細部が異なる場合がありますので、必ずご自身が申請する教育委員会に確認してください。

○免許状の申請について

勤務校所在地の都道府県教育委員会に個人で申請します。

幼稚園教諭免許状特例講座

保育士としての実務経験を活かして幼稚園教諭免許状を取得

保育士の資格を持ち、所定の実務経験を有する方は、特例制度を利用し、本学で指定の科目（6科目、8単位）を履修し単位を修得することにより、幼稚園教諭免許状（1種または2種）を取得することが可能です。

認定こども園法の改正により、新たに「幼保連携型認定こども園」が設けられることになりました。新たな「幼保連携型認定こども園」は、学校教育と保育を一体的に提供する施設であるため、その職員である「保育教諭」については、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方の免許状・資格を有していることを原則としています。

この「幼保連携型認定こども園」の導入を促進する目的から、一定の実務経験を持つ保育士が少ない学修負担で幼稚園教諭免許状を取得できるよう特例制度が期間限定で実施されています。

※特例期間：2025年3月まで

※費用につきましては、『学生募集要項』P.5をご覧ください。

この特例により幼稚園教諭免許状を取得するための条件は以下のとおりとされています。

取得条件

基礎資格	1種	学士の学位を有し、かつ保育士資格を有すること
	2種	保育士の資格を有すること
実務経験		保育所等の施設での3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有すること
必要単位		所定の科目を8単位以上修得すること

※高等学校を卒業していない場合、免許状は取得できません。

制度の詳細は、文部科学省のホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/1339596.htm

特例の対象となる方

指定の施設で保育士として「3年以上かつ4,320時間以上」の実務経験がある方　※見込みも可

本学開設科目（指定科目）

本特例による要件		本学開設科目		
教育職員免許法 施行規則上での科目	科目の内容	科目名	単位数	
			総単位	SC
領域及び保育内容の 指導法に関する科目	保育内容の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）	特例・保育指導法	1	1
教育の基礎的理解に 関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容 （チーム学校運営への対応を含む。）	特例・教職入門	2	0
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 （学校と地域との連携及び学校安全への対応含む。）	特例・学校の制度	2	0
	教育課程の意義及び編成の方法 （カリキュラム・マネジメント含む。）	特例・教育課程編成論	1	0
道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目	教育の方法及び技術 （情報機器及び教材の活用を含む。）	特例・教育の方法と技術	1	0
	幼児理解の理論及び方法	特例・幼児理解	1	0

※SC＝スクーリング

小学校外国語活動指導者認定講座

こどもたちを惹きつける外国語の授業力を学ぶ

新小学校学習指導要領（平成29年3月告示）において、中学年に外国語活動、高学年に外国語科が導入されました。2年間の学習指導要領移行期を経て、2020年からは高学年において教科「外国語」がスタートしています。

そこで、小学校外国語活動指導者認定講座では、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とした講義を行います。本学ではみなさんの経験と知恵を活かしつつ、明日の授業につながる講座を開講します。

講座を修了することで教育支援人材認証協会認定の「こどもサポーター」の取得もできます。

【受講資格】

正科生、科目等履修生（特修生含む）のいずれの区分でも受講できます。

【プログラム内容】※一部変更になる場合があります。

主に小学生を想定し、さまざまな理解度のこどもたちと、どのように外国語活動・外国語科の授業を行うのか、どのような点に気を配り、授業を進めるのかを学ぶ講座です。
実際に授業を行ううえで、すぐに役に立つ知識が身につきます。

1日目　「小学校外国語活動と小学校外国語科へ
　　～その歴史的背景～」
　　Warm up ①～Interaction with each other～
　　小学校英語活動の変遷
　　学習指導案の作成①
　　模擬授業①

2日目　「小学校外国語活動・外国語の実際」
　　Warm up ②～Interaction with each other～
　　小学校外国語活動・外国語の実際
　　学習指導案の作成②
　　模擬授業②

3日目　「小学校外国語活動・外国語の今後」
　　Warm up ③～Interaction with each other～
　　小学校外国語活動・外国語の今後及び特別支援を要するこどもたちの英語指導
　　学習指導案の作成③
　　模擬授業③

こんな方におすすめ

〇英語から遠ざかっていて指導に不安がある先生
〇英語は得意であるが、授業づくり、教材づくりを学びたい先生
〇こどもと接する仕事の中でスキルアップを目指している方

【受講生からの声】

◇模擬授業を通して改善点がわかり、授業のつくり方も学べました。
◇経験豊富な先生方を含め、同じ受講生からも学べることが多かったです。
◇Web会議アプリケーションによる授業は、不登校の児童の対応にも役立つと感じました。
◇3日間で英語力・授業力がかなりアップしたことを実感しています。
◇教材づくりなどで障がいをもつこどもが楽しむための工夫に、特別支援の大切さが伝わってきました。

同時に「こどもサポーター」も取得可能
（教育支援人材認証協会認定）

こどもサポーターとは、各自が関心のある分野、あるいは得意とする分野での支援（サポート）のために、「こどもの理解」や「教育指導者とは」などを学び、こどもとの接し方を身につけることを目標とする認証です。

社会福祉士 国家試験受験資格 ／社会福祉主事（任用資格）

社会福祉士として、専門知識・技術をもって相談・助言・援助を行うために

社会福祉士は、専門的知識及び技術をもって、身体上もしくは精神上の障がいがある、または環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある人の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、その他の援助をすることが主な業務となります。具体的な役割としては、児童相談所、児童養護施設、身体障害者更生施設、救護施設、福祉事務所、障害者支援施設、老人ホーム、母子・父子福祉センター、病院などにおける相談・援助業務があげられます。

※社会福祉士資格は、国家資格ですが医師や弁護士のように「業務独占」の資格でなく、「名称独占」の資格です。「名称独占」とは、資格をもたない者が、「社会福祉士」という名称を勝手に使用してはならないということで、社会福祉士資格をもっていなければ、上記の業務につけないということではありません。しかし、社会福祉士資格をもっていることは、専門職としての水準の高さを表すものであり、今後有資格者が増加すれば、将来的に実質的な業務独占状態になることが考えられます。

取得方法等

【履修資格】

正科生としての入学資格を有する方。
（正科生としての履修が必要になります）

【認定要件】

本学「福祉専攻」に入学（３年次への編入学も可能）後、右表の指定科目をすべて履修し、単位を修得したうえで本学を卒業すること。
※3年次への編入学希望の方は、学修計画によりご案内科目が異なる場合があります。

◎既修得単位の認定（個別認定）について

他大学の正科生として在学中に単位修得された社会福祉士の指定科目について、入学時に本人の申請に基づき、既修得単位の認定（個別認定）を行います。

◎実習の免除

・厚生労働省令で定められた指定施設・職種にて専任の職員として１年以上相談援助業務に従事されたことを入学前に確認できる場合、入学時の申請に基づき「ソーシャルワーク実習指導」「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」の3科目が免除になります。
※入学時に「実務経験証明書（本学書式）」を提出してください。

・介護福祉士、精神保健福祉士の資格をお持ちの方（履修中含む）は、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」が免除となります。また、精神保健福祉士の資格をお持ちの方は、「ソーシャルワーク演習」が免除となります。

＊SC＝スクーリング

科　目　名	単位数	
	総単位	SC
医学概論	2	0
心理学と心理的支援	2	0
社会学と社会システム	2	0
社会福祉の原理と政策	4	0
社会福祉調査の基礎	2	0
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	0
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	0
ソーシャルワークの理論と方法	4	0
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4	0
地域福祉と包括的支援体制	4	0
福祉サービスの組織と経営	2	0
社会保障論	4	0
高齢者福祉論	2	0
障害者福祉論	2	0
児童・家庭福祉	2	0
貧困に対する支援	2	0
保健医療と福祉	2	0
権利擁護を支える法制度	2	0
刑事司法と福祉	2	0
ソーシャルワーク演習	2	1
ソーシャルワーク演習（専門）	8	2
ソーシャルワーク実習指導	6	2
ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	4
ソーシャルワーク実習Ⅱ	1	1

（注）厚生労働省が示す単位数により変更になる場合があります。

◆社会福祉主事 任用資格

【社会福祉主事】

公務員として採用後、福祉事務所に現業員（ケースワーカー）として配属されて初めて効力を持ちます。社会福祉主事は、支援や保護を必要としている人に対して相談や指導を行い、福祉法に基づく援助・育成・更正などに関する事務を行います。福祉事務所では社会福祉主事を置くことが必須となっています。

【任用資格】

公務員として採用後、特定の業務に任用されるときに必要となる資格です。任用されて初めてその資格を名乗ることができるものですが、場合によっては公務員の受験資格になる場合もあります。資格取得は、本学の卒業証明書と単位修得証明書をもって証明されます。

【資格を得るためには】

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修得したもの。本学の場合は、以下の15項目の中から3科目以上（項目により要件あり）修得し卒業すれば条件を満たします（一般に3科目主事と呼ばれる）。

1 .社会福祉の原理と政策
2 .ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）およびソーシャルワークの理論と方法、ソーシャルワークの理論と方法（専門）
3 .社会福祉調査の基礎　4 .福祉サービスの組織と経営　5 .社会保障論
6 .貧困に対する支援　7 .児童・家庭福祉または子ども家庭福祉　8 .高齢者福祉論
9 .地域福祉と包括的支援体制　10 .法学ⅠとⅡ　11 .経済学
12 .心理学（1）と（2）　13 .社会学　14 .公衆衛生学　15 .医学概論

※2に関しては、4科目で1科目としての資格該当科目となります。 ※7に関しては、2科目からどちらか1科目以上修得することで、資格該当科目となります。
※10と12に関しては、2科目で1科目としての資格該当科目となります。

福祉スポーツ指導員 履修証明プログラム

「福祉×スポーツ」専門家養成プログラム

現在、高齢者あるいは障がい児・者に対して、体を動かすことだけではなく、勝敗による楽しみやコミュニケーションツールとしてのスポーツのニーズが高まっています。

本プログラムでは、福祉現場で体を動かすことの楽しさはもちろん、競い合う楽しさやコミュニケーションスキル向上を目指したスポーツの指導や支援の専門家を養成していくことを目的としています。初級から上級までの3つの段階があり、初級資格である福祉スポーツサポーターから上級資格である福祉スポーツインストラクターまですべて取得することで、福祉スポーツ指導員となります。

福祉分野でスポーツの特性をいかして働くことを支援するプログラムですので、福祉業界で働きたい、または働いている方、そして、教育・児童関連の仕事に就きたい方や指導者としてのスキルを身につけたい方におすすめの資格です。

取得方法等

【履修資格】

正科生、科目等履修生のいずれの区分でも履修できます。

【認定条件】

資格取得までの流れ

(1)初級(2)中級(3)上級という3つの段階的な資格です。それぞれの段階に応じて指定の動画視聴や単位の修得、実習等が必要となります。それぞれの要件をみたした方は、申請後に修了証を発行します。中級までを取得した方には、申請後、履修証明プログラムの「履修証明書」を発行いたします。上級資格まですべて修了した方は「福祉スポーツ指導員」として一般社団法人星槎グループが認定します。

(1)初級資格　福祉スポーツサポーター

福祉スポーツリーダーと協力して、障がい児に対してのスポーツ指導の補助、高齢者のレクリエーションスポーツのサポートができる。

《認定要件》

動画視聴「福祉スポーツサポーターとは」／3科目の修得「レクリエーション概論」「救急処置法」「共生のための福祉」／6時間以上の福祉現場でのボランティア活動後、レポートの合格(ボランティア活動後に作成・提出)

(2)中級資格　福祉スポーツリーダー

高齢者や障がい児・者に対して、福祉スポーツプログラムの作成し、福祉事業や施設の活性化に役立てることができる。

《認定要件》

動画視聴「福祉スポーツのプログラム」／3科目の修得「スポーツマネジメント」「コミュニティスポーツ論」「貧困と社会的養護」／48時間以上の福祉現場での実習後、課題(福祉スポーツのプログラム案の作成)の合格

(3)上級資格　福祉スポーツインストラクター

福祉スポーツリーダーの考えたプログラムや指導内容を検証し、全体の統括、運営を行うことができる。

《認定要件》

福祉現場での50時間以上のスポーツ指導実習／2講座の修得「特別講座(福祉)」「特別講座(スポーツ)」／福祉現場での50時間以上のスポーツ指導実習後、レポートの合格(福祉スポーツの課題解決について)

こんな方におすすめ

〇福祉業界に興味がある方、働きたいもしくは働いている方
〇現職教員の方、その他、教育、医療の分野に従事されている方
〇指導者としてのスキルアップを目指している方
〇児童関連の仕事に関わりたいと思っている方
〇スポーツが得意で、今後スポーツを仕事にいかしていきたいと考えている方

支援教育専門士 履修証明プログラム

特別支援教育、発達障がいの基本から、判定法、支援法などの具体的実践まで

特別支援教育に関わる人だけでなく、広く社会のさまざまな分野で生活する人たちに、インクルージョン（共生）・インクルーシブ教育の意識を育てることを目的とし、体系的な知識・技術等を修得できる本学独自のプログラムです。

特別支援教育に関する基本的な仕組みから、発達障がい等に関する医学的見解や支援、アセスメントの方法まで幅広く科目を展開し、現職教員はもちろんのこと、保護者、支援員の方々など教育、医療、福祉に関わるすべての方に現場で役立つよう構成されています。

こんな方におすすめ

○現職教員の方、その他、教育、医療、福祉の分野に従事されている方
○教員免許状の取得を目指されている方
（特に特別支援学校の免許状取得を目指されている方）
○子育て中の方、保護者の方
○さまざまな方とのコミュニケーションを必要とする方
○特別支援教育に関わる仕事への就職・再就職をお考えの方　など

取得方法等

【履修資格】

正科生・科目等履修生のいずれの区分でも履修できます。

【認定要件】

①支援教育専門士（初級）については、右表の指定科目の単位を修得後、所定の手続きにより大学事務局に申請された方に対し、本学が認定し、修了証を発行します。

②右表のすべての指定科目を修得された方には、当該科目の単位が認定され、申請後、履修証明プログラムとしての「履修証明書」が発行されます。

※SC＝スクーリング

区分	科目名	単位数	
		総単位	SC
初級	特別支援教育論	2	1
	発達障害概論	2	1
	臨床心理学	2	1
	カウンセリングの基礎	2	1
	応用行動分析学	2	0.5
	発達障害の判定とその教育的対応I	1	1
	発達障害の判定とその教育的対応II	1	1
中級	認知心理学	2	0.5
	多様な幼児・児童の支援演習	2	0.5
	聴覚・言語障害児への支援	2	1
	教育カウンセリング	2	1
	発達障害教育指導法（1）	2	1
	発達障害教育指導法（2）	2	1
合　計		24	11.5

履修証明プログラムとは?

履修証明制度とは、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）です。
修了者には単位を認定することができ、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。
学びたい分野の知識や技術を体系的に学ぶことで専門性の向上につながるだけでなく、学んだことを履歴書やジョブカードに書くことができるので、キャリアアップや転職、再就職に活用できます。
（学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条等）

AS（自閉症スペクトラム）サポーター　日本自閉症スペクトラム学会認定

自閉症スペクトラムを理解し、よりよいサポートの方法を学ぶ

AS（自閉症スペクトラム）サポーターとは、独特な世界に生きる自閉症スペクトラムの人たちが、社会で心地よく生活できるようにサポートする人のことをいいます。自閉症スペクトラムの感じ方やニーズを理解し、よりよいサポート方法を考え、実施していくための基本的な専門知識と支援方法を修得した方に日本自閉症スペクトラム学会が認定します。

取得方法等

【履修資格】

正科生・科目等履修生のいずれの区分でも履修できます。

【認定要件】

以下の①～③の条件を満たし、所定の手続き後、大学事務局に申請された方に対し、日本自閉症スペクトラム学会が認定します。
※年2回（2月もしくは7月）の申請時に本学に在籍している必要があります。

①本学が開講する以下の３科目の中から１科目以上履修し単位を修得すること。

科　目　名	単位数	
	総単位	SC
自閉症児・者の心理	2	0
自閉症児・者への支援	2	0
発達障害と医療	1	1

※SC＝スクーリング

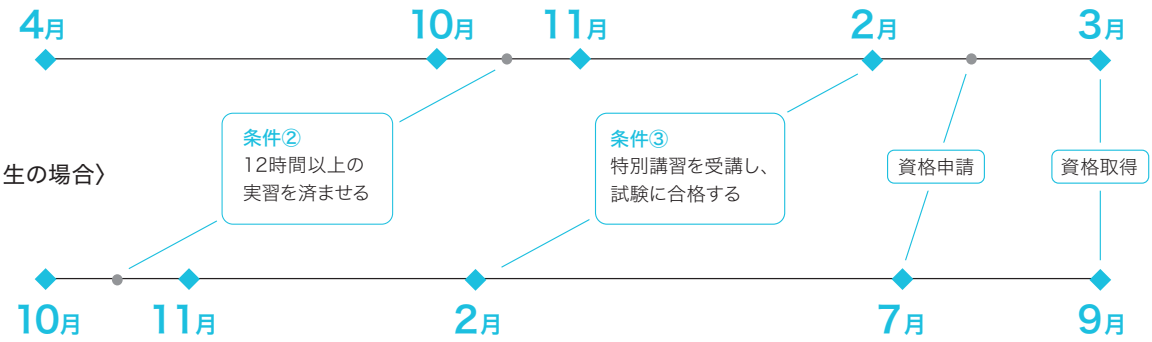
②12時間以上の実習を済ませていること。
これまでの職業を通して、自閉症など支援を必要とする方に対して支援をされたことがない方は、学会指定施設での実習が必要です（例年10月～12月、関東・関西で実施）。教員、保育士その他、自閉症児・者への教育活動等にかかわる仕事に常勤で1年以上従事されている方、またはされていた方は実習が免除になる可能性がありますので、本学事務局にお問い合わせください。

③本学で開講するASサポーター特別講習を受講し、筆記試験に合格すること。
日本自閉症スペクトラム学会講師による講習となります。
特別講習は全国の会場で毎年1回（例年2月上旬）半日ほどの日程で行われ、筆記試験特別講習の中で実施します。

【申請スケジュール】

申請時期は年2回（2月もしくは7月）となります。
申請するためには、指定科目の単位取得とともに以下の流れで手続きが必要となります。

〈4月生の場合〉



教育カウンセラー／ピアヘルパー　日本教育カウンセラー協会認定

教育とカウンセリングの両方に見識と技能を有する教育の専門家

本学では、日本教育カウンセラー協会の認定校として指定科目の単位を修得することにより、教育カウンセラー補・ピアヘルパーの受験資格を得ることができます。

■教育カウンセラーとは

「教育とカウンセリングの両方になじみのある専門教育者」を目指し、こどもたちの「生きる力」を育む支援をする資格です。カウンセリングの発想や技法を学校教育の場やサイコエジュケーションなどで駆使し、展開できるプロフェッショナルを目指します。

■ピアヘルパーとは

Peer（仲間）、Helper（助ける人）であり、直訳すると『仲間を助ける人』という意味です。仲間を助けることは年齢を問わず、対等な立場で相談相手になることです。

カウンセリングや関連する心理学の理論・方法について学び、教育・福祉・保育などの実際の場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけます。

取得方法等

【履修資格】

正科生・科目等履修生のいずれの区分でも履修できます。

【認定要件】

1. ピアヘルパー

右表の中の①～③（それぞれ1科目以上）の中から、2つの区分（以上）よりそれぞれ1科目以上（計4単位以上）の単位修得後、本学の在学中に協会の試験（例年1月頃）に合格すること。

2. 教育カウンセラー補

右表の中の科目（ピアヘルパー指定科目を含む23単位）の単位修得後、ピアヘルパーに合格し、在学中に協会の試験（例年3月頃）に合格すること。

3. 初級教育カウンセラー

教育カウンセラー補の試験に合格し、2年以上の実務経験などを経た後、協会に申請し、認定されること。

※初級教育カウンセラーとして認定を受けるためには協会への入会が必要です（初級教育カウンセラーは、認定された年度から7年間有効です）。

※SC＝スクーリング

科目名	単位数		教職課程の科目区分	修得要件			摘要
	総	SC		ピアヘルパー		教育カウンセラー補	
教育カウンセリング	2	1		①	1科目以上選択必修	必修	
カウンセリングの基礎	2	1				必修	
心理学(1)	2	0		②	1科目以上選択必修	必修	
心理学(2)	2	0				必修	
教育心理学(初等)	2	0	(*)教育の基礎的理解に関する科目	③	1科目以上選択必修	1科目以上選択必修	初等
教育心理学(中等)	2	0					中等
臨床心理学	2	1		必修			
応用行動分析学	2	0.5		必修			
教育相談(中等)	2	0.5		必修			
教職概論(初等)	2	0.5	(*)教育の基礎的理解に関する科目	1科目以上選択必修			初等
教職概論(中等)	2	0.5					中等
道徳の理論・指導法(初等)	2	0.5	(*)道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	1科目以上選択必修			初等
道徳の理論・指導法(中等)	2	0.5					中等
特別活動の指導法(初等)	1	0.5	(*)道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	1科目以上選択必修			初等
特別活動の指導法(中等)	1	0.5					中等
生徒・進路指導論(初等)	2	0.5	(*)道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	1科目以上選択必修			初等
生徒・進路指導論(中等)	2	0.5					中等
計	23	6					

(*)既に教職課程の認定を受けた他大学の教職科目として同一区分で単位修得されている場合には、本学の教育カウンセラー資格指定科目として認定します（再度履修する必要はありません）。単位修得済みの方は、本学事務局にご相談ください。

准学校心理士　学校心理士認定運営機構認定

すべてのこどもの学校生活を支援する ～心理に強い保育士や教員の育成～

文部科学省の「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」によれば、2019年度の小中学校の不登校児童生徒数は前年度より約16,744人増加し、ここ10年では60,000人近く増加しています。また、学校現場では不登校以外にも、いじめや非行、自殺といった問題が深刻化し、誰にも相談できずに一人で悩むこどもたちが増加しています。さらには発達障がい児への対処などにも援助が求められています。

准学校心理士は、このような学校生活におけるさまざまな問題について、カウンセリングなどによるこどもへの直接的援助を行うとともに、こどもを取り巻く環境に対しても、心理教育的援助サービスを行うことを目的としています。

取得方法等

【履修資格】

以下の①②の資格を有する方を対象とします。

①正科生であること。

②学校教育法第1条に定められた学校の教員免許状所有者（申請年度に取得見込みを含む）で、実務経験5年未満の者又は保育士資格所有者（申請年度に取得見込みを含む）で、実務経験5年未満の者。

※常勤・非常勤を問わず、週3日以上勤務し1年間実務を行った場合に、1年間の実務経験とみなします。

【申請条件】

①以下に示す指定科目のうち、A、B、C群からそれぞれ1科目2単位以上を申請時に修得済または修得見込であること。

②申請時に4年次で本学に在籍していること。

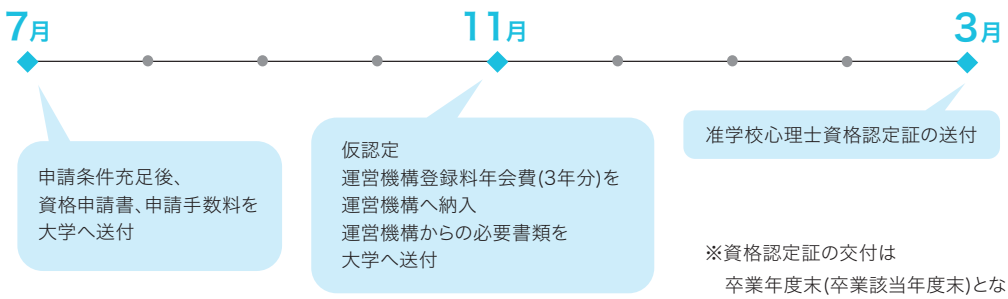
※SC＝スクーリング

科目群	科　目　名	単位数	
		総単位	SC
A群	教育相談（中等）	2	0.5
	教育カウンセリング	2	1
	教育相談（初等）	2	0.5
B群	教育心理学（中等）	2	0
	教育心理学（初等）	2	0
C群	特別支援教育論	2	1
	発達障害概論	2	1
	発達障害教育指導法（1）	2	1

【申請時期】

申請時期は年1回（7月予定）となります。

申請するためには、以下の流れで手続きが必要となります。



※資格認定証の交付は
卒業年度末(卒業該当年度末)となります。

日本で唯一！

保健体育の教員免許状が取得可能！ ※通信制大学として

星槎大学では すべての学校種の 教員免許状の取得が 可能です！

- □ 幼稚園教諭Ⅰ種
- □ 小学校教諭Ⅰ種
- □ 中学校教諭Ⅰ種（社会／保健体育／英語）
- □ 高等学校教諭Ⅰ種（地理歴史／公民／保健体育／英語）
- □ 特別支援学校教諭Ⅰ種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- □ 社会福祉士（国家試験受験資格）
- □ 社会福祉主事（任用資格）
- □ 福祉スポーツ指導員（履修証明プログラム）
- □ 支援教育専門士（履修証明プログラム）
- □ AS（自閉症スペクトラム）サポーター
- □ 教育カウンセラー／ピアヘルパー
- □ 准学校心理士
- □ 小学校外国語活動指導者

SEISA 星槎大学 共生科学部 通信教育課程

www.seisa.ac.jp せいさだいがく 検索

横浜事務局　〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80　E-mail：info@seisa.ac.jp　0120-82-2686

2020.11

資料 2-1-2

星槎大学ホームページ「教員免許状・資格」

https://seisa.ac.jp/

資料2-1-3

星槎大学出願書類 **様式－①**

入学年月日※	西暦 20　　年　　月　　日	学籍番号※	

※太枠内は事務局記入

2021年度
星槎大学入学志願書

写真
(4cm×3cm)
※必ず裏面に氏名を記載してください。

記入年月日　西暦20　　年　　月　　日

氏　名	ふりがな			性　別	1 男 2 女 3 未回答
	漢　字	姓	名		
	ローマ字				
生年月日	西暦　　年　　月　　日			年　齢	歳
現住所	ふりがな				
	〒　　－　　都・道 府・県				
	※マンション・アパート名、部屋番号まで明記してください。				
連絡先 (必須)	自宅電話 (　　)　　－		自宅FAX (　　)　　－		
	携帯電話 (　　)　　－		緊急連絡先 (　　)　　－		
	PC メール　メールアドレスをお持ちの場合は必ず記入してください。お持ちでない場合は☑してください。→☐ メールアドレスなし				
	携帯 メール　メールアドレスをお持ちの場合は必ず記入してください。お持ちでない場合は☑してください。→☐ メールアドレスなし				

※緊急連絡先は志願者本人以外の連絡先を記入してください。

入学期	☐ 4月生　　☐ 10月生

入学区分	※下欄より一つだけ選択し、該当するものに☑してください。			
	正科生	専攻	共生科学専攻	☐ 1年次入学　☐ 2年次編入学　☐ 3年次編入学　☐ 4年次編入学
			初等教育専攻	☐ 1年次入学　☐ 3年次編入学
			福祉専攻	☐ 1年次入学　☐ 3年次編入学
			スポーツ身体表現専攻	☐ 1年次入学　☐ 3年次編入学
			グローカルコミュニケーション専攻	☐ 1年次入学　☐ 3年次編入学
		→コースを一つ選択してください。(学生募集要項3~4ページ) ☐ 従量課金制 ☐ 定額制A ☐ 定額制 B ☐ 定額制C ☐ 定額制D		
	科目等履修生	☐ 従量課金制(特修生除く)		
		資格履修生(対象コースを選択してください) (所有する免許状で勤務経験のある方対象)	☐ 特別支援学校2種(幼・小・中・高教諭対象) ☐ 幼稚園2種(小学校教諭対象) ☐ 小学校2種(幼稚園教諭対象) ☐ 小学校2種(中学校教諭対象)	
		→費用の納入方法を一つ選択してください。	☐ 一括　☐ 2分納　☐ 4分納	
		☐ 幼稚園教諭免許状特例講座		
		→費用の納入方法を一つ選択してください。 ※一部の単位のみの修得を希望の場合は横浜事務局までお問い合わせください。	☐ 一括　☐ 2分納　☐ 4分納	
	特修生	☐ 特修生		

入学区分の詳細については「学生募集要項」2~5ページをご覧ください。

学歴									
		高等学校	（西暦）	年	月	入学 ～	（西暦）	年	月 卒・修・退・除・卒業見込
			（西暦）	年	月	入学 ～	（西暦）	年	月 卒・修・退・除・卒業見込
			（西暦）	年	月	入学 ～	（西暦）	年	月 卒・修・退・除・卒業見込
			（西暦）	年	月	入学 ～	（西暦）	年	月 卒・修・退・除・卒業見込
	特修生希望の場合	中学校	（西暦）	年	月	入学 ～	（西暦）	年	月 卒・修・退・除・卒業見込

勤務先名	電話（　　）　　－　　（内線　　）　※電話番号は勤務先への連絡可能な場合のみ記入してください。

紹介者	※紹介を受け、ご入学いただいた場合は紹介者名を記入してください。 紹介者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 1. 星槎大学在学生　　2. 星槎大学卒業生等 3. 星槎グループ関係者（保護者含む）（学校・校舎名：　　） □

提携校名
※本学と提携している学校で学ばれている方のみ記入してください。

教員免許状更新講習	本学の教員免許状更新講習を受講された方は記入してください。必修・選択必修・選択のうち、どの領域の講習でも構いません。 受講年月（西暦）　　年　　月（会場または地域　　）

「職業」「志望動機」「媒体・理由」については13～14ページのコード表から選択し、あてはまる数字を記入してください。

職業	□	志望動機	□	媒体・理由	□

入学前相談	1. ある □ 2. ない	「1.ある」にチェックした方 →担当職員の名前を記入してください。 （職員名：　　）

障がいについての相談	1. ある □ 2. ない	種別：1.視覚障がい　2.聴覚・言語障がい　3.肢体不自由 4.重複　5.発達障がい　6.その他 □
	障がいについての相談「1.ある」にチェックした方 → 医師の診断書もしくは障害者手帳はお持ちですか。（支援方法等についてご連絡する場合があります） ⇒「1.有」の方は、診断書または障害者手帳のコピーを出願書類とともに提出してください。	1. 有 2. 無 □

旧学籍番号	以前、本学に在籍したことのある方は、当時の学籍番号、在籍期間を記入してください。 【旧学籍番号】　　在籍期間　西暦20　　年　　月 ～ 西暦20　　年　　月

誓約欄	本人	**星槎の建学の精神、教育の理念を尊重し、学則並びに関連諸規定を遵守することを誓約いたします。** 署名日（西暦）20　　年　　月　　日 氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印（自署、押印）
	保証人	**上記の者の在学中の一切の事項についての責任を負います。**　※成人の場合、保証人は不要です。 署名日（西暦）20　　年　　月　　日 保証人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印（保証人自署、押印） 住　　所 〒 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 学生との続柄 ＿＿＿＿＿＿　電話番号（　　）　　－ ＿＿＿＿＿＿

教員免許状・資格の取得、プログラムの修了などを目指される場合は、該当するものに☑してください。（複数回答可）

□学士（4年制大学卒業資格）
□社会福祉士（国家試験受験資格）
□社会福祉主事（任用資格）
□福祉スポーツ指導員（履修証明プログラム）
□支援教育専門士（履修証明プログラム）
□AS（自閉症スペクトラム）サポーター
□教育カウンセラー／ピアヘルパー
□准学校心理士
□児童指導員（任用資格）
□小学校外国語活動指導者

□教員免許状　※1種・2種についてはいずれかに丸をつけてください。
教員免許状の取得を目指す場合は、必ず「教職課程登録申込書（兼）調査書（星槎大学出願書類 様式-③）」を提出してください。（資格履修生、幼稚園教諭免許状特例講座を除く）

□ 幼稚園（ 1 種 ・ 2 種 ）　□ 小学校（ 1 種 ・ 2 種 ）
□ 中学校「社会」（ 1 種 ・ 2 種 ）
□ 中学校「保健体育」（ 1 種 ・ 2 種 ）
□ 中学校「英語」（ 1 種 ・ 2 種 ）
□ 高等学校「地理歴史」 1 種　□ 高等学校「公民」 1 種
□ 高等学校「保健体育」 1 種　□ 高等学校「英語」 1 種
□ 特別支援学校（知肢病）（ 1 種 ・ 2 種 ）

志望理由書

氏　　名　　記入年月日　西暦20　　年　　月　　日

志望理由

星槎大学を志望された理由をお書きください。 ※横書き、400文字以上。文字数不足の場合、再提出となります。

（注）教員免許状の取得を目指される方

「どのような教員になりたいか」というテーマで、取得を目指される免許状の種類をふまえて、その想いを自由にお書きください

※保健体育の教員免許状取得を目指される方は、「運動が苦手な生徒に対して、どのようにアプローチしたいか」、現職教員の方は「今後教員としてさらにどのような力をつけていきたいか」ということを「どのような教員になりたいか」という熱い想いと共にお書きください。

志望理由（横書き・400文字以上）

※黒のボールペンを使用し、楷書でていねいに記入してください。
※志望理由が書ききれない場合は、レポート用紙や原稿用紙などに書いて提出してください。

■スポーツ、文化、芸術活動等において活動実績、指導の経験などがある場合は記入してください。

活動実績 （競技歴、入賞歴･受賞歴など）	
指導歴	

■アレルギー等をお持ちの場合は記入してください。

アレルギー等	

教職課程登録申込書（兼）調査書

【注意】 ①教員免許状の取得を目指される方は科目数問わず必ず提出してください（資格履修生、幼稚園教諭免許状特例講座除く）。
②教育実習費は実習年度の納入になります。 ③必ずすべての項目を記入してください。

教職課程登録を申し込みます。

申込日：西暦20　　年　　月　　日　　署　名：

学籍番号（事務局記入）				専　攻（正科生のみ）	
氏　名	ふりがな			在住都道府県	都道府県
	漢　字	姓	名		
生年月日	西暦　　年　　月　　日			性　別	□ 男 □ 女

取得希望免許状	□ 幼稚園（ 1 種 ・ 2 種 ）　□ 小学校（ 1 種 ・ 2 種 ） □ 中学校「社会」（ 1 種 ・ 2 種 ）　□ 中学校「保健体育」（ 1 種 ・ 2 種 ） □ 中学校「英語」（ 1 種 ・ 2 種 ）　□ 高等学校「地理歴史」 1 種 □ 高等学校「公民」 1 種　□ 高等学校「保健体育」 1 種 □ 高等学校「英語」 1 種　□ 特別支援学校（知肢病）（ 1 種 ・ 2 種 ）
教育実習※1	□ 要　（希望時期:　　年度）※2022年度以降を記入してください。 □ 不要（理由:　□ 他大学で実施済（予定）　□ その他（　　））
介護等体験※2（正科生のみ申込可）	□ 要　（希望時期:　　年度　※2022年度以降を記入してください。／希望都道府県:　　） □ 不要（理由:　□ 他大学で実施済（予定）　□ 特別支援学校免許状所有 □ その他（　　））

基礎資格（最終学歴）	□ 学士あり（4年制大学卒業資格）　□ 短期大学士あり（短期大学卒業資格）　□ 専門学校卒業　□ 高等学校卒業 □ 学士取得中（在籍大学名:　　／卒業見込年月:西暦＿＿年＿月）　□ その他（　　）
所有免許状	□ 幼稚園（ 専修 ・ 1 種 ・ 2 種 ）　□ 小学校（ 専修 ・ 1 種 ・ 2 種 ） □ 中学校（ 専修 ・ 1 種 ・ 2 種 ）教科＿＿＿＿　□ 高等学校（ 専修 ・ 1 種 ）教科＿＿＿＿ □ 特別支援学校（ 専修 ・ 1 種 ・ 2 種 ）（領域:　　） □ 所有免許状なし □ 西暦20＿＿年＿＿月＿＿日　取得見込み（学校種:　　）
他大での教職単位	□ 取得希望免許状の修得単位あり（66条の6に定める科目も含む）⇒「学力に関する証明書」の提出が必要です　□ 修得単位なし
教員としての勤務経験	□ 有 ⇒ 勤務経験をいかすことができるか、教育委員会へ確認が必要です（ 済・未 ）※いずれかに丸印 （具体的な勤務経験／年数:　　学校種:　　） □ 無
教職実践演習の受講	□ 必要 □ 不要（理由：□ 他大学で同じ学校種の同一科目を修得済（予定）　□ 他免許状取得時に修得済（予定） □ 特別支援学校教諭免許状希望のため　□ その他（　　））

※1 教育実習実施前年度の年度当初に「教育実習実施申請書」、「教職課程履修計画書」の提出が必要です。また、教育実習前年度までに本学が定める教育実習履修要件を満たす必要があります。
※2 介護等体験実施前年度の11月末までに「介護等体験実施申請書」の提出が必要です。

■提出が必要となる書類について

書類の種類	提出が必要となる方	提出状況（該当する場合チェック）
学力に関する証明書※3	他の大学等での修得単位がある方	□ 既に提出済（出願時・入学前相談時）
所有免許状のコピー	既に免許状を所有されている方	□ 既に提出済（出願時・入学前相談時）
健康診断書（様式-④）※4	保健体育の免許状取得を目指される方	□ 出願書類に同封

※3 教職課程で修得された単位についての証明書で、単位を修得された大学で発行されます（「成績・単位修得証明書」とは異なります）。
※4 出願後、履修科目登録前までに提出してください（毎年提出が必要になります）。

資料 2-1-4

星槎大学　教職課程履修規程

（趣旨）

第１条　この規程は、星槎大学学則（以下「学則」という。）第３８条５に基づき、星槎大学（以下「本学」という。）における教職課程（以下「本課程」という。）の履修に関し必要な事項を定める。

（定義）

第２条　本課程を履修し教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許法」および、「教育職員免許法施行規則」に定めるところに従い、本学所定の単位を取得しなければならない。

（教員免許状の種類）

第３条　本学共生科学部共生科学科各専攻において取得できる教育職員免許状（以下「免許状」という）は以下のとおりである。

専　攻	免許状
共生科学専攻	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者･病弱者）
初等教育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
スポーツ身体表現専攻	中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
グローカルコミュニケーション専攻	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

（要件）

第４条　前条の免許状を取得しようとする者は、以下の条件を充たさなければならない。

１．学則第４６条に定める卒業に必要な要件を充たしていること。

２．幼稚園教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

（１）以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

（２）以下の領域及び保育内容の指導法に関する科目より、必修単位を含め２４単位以上修得していると。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保育内容（健康）	2	必修	保育内容の指導法（健康）	2
必修	保育内容（人間関係）	2	必修	保育内容の指導法（人間関係）	2
必修	保育内容（環境）	2	必修	保育内容の指導法（環境）	2
必修	保育内容（言葉）	2	必修	保育内容の指導法（言葉）	2
必修	保育内容（音楽表現）	2	必修	保育内容の指導法（音楽表現）	2
必修	保育内容（造形表現）	2	必修	保育内容の指導法（造形表現）	2
			選択	保育内容の指導法（総合演習）	2

（３）以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（初等）	2	必修	教育方法・技術論（初等）	2
必修	教職概論（初等）	2	必修	幼児理解の理論と方法	2
必修	教育経営・学校安全論（初等）	2	必修	教育相談（初等）	2
必修	教育心理学（初等）	2	必修	教育実習（初等）（１）	5
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	2	選択	教育実習（初等）（２）	3
必修	教育課程論（初等）	2	必修	教職実践演習（初等）	2

（４）先に示した領域及び保育内容の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５１単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習(初等)	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な幼児・児童の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅱ	1

３．小学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

（１）以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

（２）以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め４０単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教科（国語）	2	必修	初等教科教育法（国語）	2
必修	教科（社会）	2	必修	初等教科教育法（社会）	2
必修	教科（算数）	2	必修	初等教科教育法（算数）	2
必修	教科（理科）	2	必修	初等教科教育法（理科）	2
必修	教科（生活）	2	必修	初等教科教育法（生活）	2
必修	教科（音楽）	2	必修	初等教科教育法（音楽）	2
必修	教科（図画工作）	2	必修	初等教科教育法(図画工作)	2
必修	教科（家庭）	2	必修	初等教科教育法（家庭）	2
必修	教科（体育）	2	必修	初等教科教育法（体育）	2
必修	教科（外国語）	2	必修	初等教科教育法（外国語）	2

（３）以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（初等）	2	必修	特別活動の指導法（初等）	1
必修	教職概論（初等）	2	必修	教育方法・技術論（初等）	2
必修	教育経営・学校安全論（初等）	2	必修	生徒・進路指導論（初等）	2
必修	教育心理学（初等）	2	必修	教育相談（初等）	2
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	2	必修	教育実習（初等）（1）	5
必修	教育課程論（初等）	2	選択	教育実習（初等）（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（初等）	2	必修	教職実践演習（初等）	2
必修	総合的な学習の時間の指導法（初等）	1			

（４）先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習(初等)	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演	2

				習	
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な幼児・児童の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅱ	1

４．中学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

（１)社会

ア.以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（１）	2
必修	スポーツ（１）	1		英語コミュニケーション（２）	2
必修	スポーツ（２）	1	必修	情報処理	2

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２８単位以上修得していること。

⑴教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	歴史概説Ⅰ	2	いずれか1科目選択必修	社会学	2
必修	歴史概説Ⅱ	2		経済学	2
選択	アジアの近代と社会	2	1科目以上選択必修	医療社会学	2
必修	地理概説Ⅰ	2		比較文化論	2
1科目以上選択必修	地理概説Ⅱ	2		環境社会学	2
	風土と内発的発展	2		国際ジャーナリズム論	2
	地理情報システム(GIS)演習	2		問題解決のための国際協働論	2
必修	法学Ⅰ	2	いずれか1科目選択必修	哲学・倫理学	2
1科目以上選択必修	法学Ⅱ	2		宗教学	2
	国際法	2	1科目以上選択必修	環境倫理	2
	国際関係論	2		公共哲学	2
	環境法	2			
	政治学	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	公共演習	2	選択	人権演習	2
選択	平和演習	2			

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法Ⅰ	2	必修	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法Ⅱ	2	必修	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1

（２）保健体育

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	２	１科目選択必修	英語コミュニケーション（１）	２
必修	スポーツ（１）	１		英語コミュニケーション（２）	２
必修	スポーツ（２）	１	必修	情報処理	２

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め３３単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体つくり運動	１	必修	運動学	２
必修	器械体操	１	必修	生理学	２
必修	陸上	１	必修	スポーツ生理学	２
必修	水泳	１	選択	解剖学	２
必修	野球	１	必修	衛生学	２
必修	サッカー	１	必修	公衆衛生学	２
必修	バレーボール	１	必修	学校保健概論	２
必修	柔道	１	必修	救急処置法	２
必修	ダンス	１			
選択	バドミントン	１			
１科目選択必修	スポーツ原理	２			
	スポーツ心理学	２			
	スポーツ経営管理論	２			
	スポーツ社会学	２			
	体育史	２			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	２	選択	武道演習	２
選択	球技演習	２	選択	ダンス演習	２

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	２	必修	保健体育科指導法Ⅲ	２
必修	保健体育科指導法Ⅱ	２	必修	保健体育科指導法Ⅳ	２

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数

必修	教育原理（中等）	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1

（3）英語

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２８単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語表現（writing）	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語表現（conversation）	2
必修	英語文学論（1）	2	選択	英語表現（presentation）	2
選択	英語文学論（2）	2	必修	異文化理解	2

必修	英語文学講読（１）	２	選択	異文化間コミュニケーション	２
選択	英語文学講読（２）	２	選択	国際関係論	２
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	２	選択	比較文化論	２
必修	実践英語コミュニケーションⅡ	２	選択	国際ジャーナリズム論	２

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習（１）	２	選択	英語演習（２）	２

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	２	必修	英語科指導法Ⅲ	２
必修	英語科指導法Ⅱ	２	必修	英語科指導法Ⅳ	２

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	２	必修	特別活動の指導法（中等）	１
必修	教職概論（中等）	２	必修	教育方法・技術論（中等）	２
必修	教育経営・学校安全論（中等）	２	必修	生徒・進路指導論（中等）	２
必修	教育心理学（中等）	２	必修	教育相談（中等）	２
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	２	必修	教育実習（中等）Ⅰ（１）	５
必修	教育課程論（中等）	２	選択	教育実習（中等）Ⅰ（２）	３
必修	道徳の理論・指導法（中等）	２	選択	教育実習（中等）Ⅱ	３
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	１	必修	教職実践演習（中等）	２

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	２	選択	授業実践演習（中等）	２
選択	発達障害概論	２	選択	アクティブラーニング演習	２
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	２	選択	多様な生徒の支援演習	２
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	２	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	１
選択	ワーク・ライフ・バランス論	２	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	１

５．高等学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

（１）地理歴史

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	２	１科目選択必修	英語コミュニケーション（１）	２
必修	スポーツ（１）	１		英語コミュニケーション（２）	２
必修	スポーツ（２）	１	必修	情報処理	２

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２４単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本史Ⅰ	２	必修	人文地理学	２
必修	日本史Ⅱ	２	必修	自然地理学	２
選択	日本史演習	２	選択	地理概説Ⅰ	２
選択	歴史概説Ⅰ	２	選択	地理概説Ⅱ	２
必修	外国史Ⅰ	２	選択	地理情報システム（GIS）演習	２
必修	外国史Ⅱ	２	必修	地誌概論	２
選択	外国史演習	２	必修	地誌	２
選択	歴史概説Ⅱ	２	選択	風土と内発的発展	２
選択	アジアの近代と社会	２			

②各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	地理歴史科指導法Ⅰ	２	選択	地理歴史科指導法Ⅱ	２

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	２	必修	教育方法・技術論（中等）	２
必修	教職概論（中等）	２	必修	生徒・進路指導論（中等）	２
必修	教育経営・学校安全論（中等）	２	必修	教育相談（中等）	２
必修	教育心理学（中等）	２	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	３
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	２	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	５
必修	教育課程論（中等）	２	選択	教育実習（中等）Ⅱ	３
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	１	必修	教職実践演習（中等）	２
必修	特別活動の指導法（中等）	１			

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

（２)公民

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２４単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	法学Ⅰ	2	いずれか1科目選択必修	哲学・倫理学	2
必修	国際法	2		宗教学	2
1科目以上選択必修	法学Ⅱ	2	1科目以上選択必修	心理学（1）	2
	国際関係論	2		心理学（2）	2
	環境法	2		環境倫理	2
	政治学	2		公共哲学	2
いずれか1科目選択必修	社会学	2			
	経済学	2			
1科目以上選択必修	医療社会学	2			
	比較文化論	2			
	環境社会学	2			
	国際ジャーナリズム論	2			
	問題解決のための国際協働論	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	公共演習	2	選択	人権演習	2
選択	平和演習	2			

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法Ⅰ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法Ⅱ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

（３）保健体育

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体つくり運動	1	必修	運動学	2
必修	器械体操	1	必修	生理学	2
必修	陸上	1	必修	スポーツ生理学	2
必修	水泳	1	選択	解剖学	2
必修	野球	1	必修	衛生学	2
必修	サッカー	1	必修	公衆衛生学	2
必修	バレーボール	1	必修	学校保健概論	2
必修	柔道	1	必修	救急処置法	2
必修	ダンス	1			
選択	バドミントン	1			
1科目選択必修	スポーツ原理	2			
	スポーツ心理学	2			
	スポーツ経営管理論	2			
	スポーツ社会学	2			
	体育史	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	2	選択	武道演習	2
選択	球技演習	2	選択	ダンス演習	2

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	2	選択	保健体育科指導法Ⅲ	2
必修	保健体育科指導法Ⅱ	2	選択	保健体育科指導法Ⅳ	2

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

（４）英語

ア．以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目選択必修	英語コミュニケーション（１）	2
必修	スポーツ（１）	1		英語コミュニケーション（２）	2
必修	スポーツ（２）	1	必修	情報処理	2

イ．以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め２４単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語表現（writing）	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語表現（conversation）	2
必修	英語文学論（１）	2	選択	英語表現（presentation）	2
選択	英語文学論（２）	2	必修	異文化理解	2
必修	英語文学講読（１）	2	選択	異文化間コミュニケーション	2
選択	英語文学講読（２）	2	選択	国際関係論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	2	選択	比較文化論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅡ	2	選択	国際ジャーナリズム論	2

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習（１）	2	選択	英語演習（２）	2

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	2	選択	英語科指導法Ⅲ	2
必修	英語科指導法Ⅱ	2	選択	英語科指導法Ⅳ	2

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ．先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2

選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

６．特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者･病弱者）の取得に関する必要単位について

（１）小学校･中学校･高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有しているまたは取得見込みであること。

（２）以下の特別支援教育に関する科目より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	特別支援教育論	2	必修	聴覚障害教育総論	2
選択	障害児教育総論	2	必修	視覚障害教育総論	2
必修	知的障害児･者の心理･生理･病理	2	必修	発達障害概論	2
必修	肢体不自由児･者の心理･生理･病理	2	選択	発達障害教育指導法（１）	2
必修	病弱児･者の心理･生理･病理	2	選択	発達障害教育指導法（２）	2
必修	知的障害児・者への支援	2	選択	発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	1
必修	肢体不自由児・者への支援	2	選択	発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	1
必修	病弱児・者への支援	2	選択	自閉症児・者の心理	2
必修	知的障害教育総論	2	選択	自閉症児・者への支援	2
必修	肢体不自由教育総論	2	必修	教育実習（特別支援）	3
必修	病弱教育総論	2			

（教育実習の要件）

第５条　「教育実習」は、以下に掲げる要件を満たす者に限って履修できるものとする。

１．共通要件

①総修得単位数

学士未取得者	学士既取得者
総修得単位数が９３単位以上であること	なし

②ガイダンス

以下のガイダンス等に参加していること。

ガイダンス名	参加年度

教職課程ガイダンス	教職課程登録年度以降
教育実習ガイダンス	教育実習を履修する年度
教育実習内諾活動ガイダンス	教育実習内諾活動を行う年度
内諾活動事前面談	教育実習内諾活動を行う年度
介護等の体験ガイダンス	介護等の体験を行う年度（小・中のみ）

③本学で懲戒処分を受けていない者

２．科目履修要件

①幼稚園教諭一種免許状

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
領域及び保育内容の指導法に関する科目	【領域に関する専門的事項】より３科目以上 【保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より３科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修５科目を修得していること。 「教育原理（初等)」「教職概論（初等)」「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解」「教育課程論（初等)」「教育方法・技術論（初等)」

②小学校教諭一種免許状

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	【教科に関する専門的事項】より５科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より５科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修６科目以上を修得していること。 「教育原理（初等)」「教職概論（初等)」「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解」「教育課程論（初等)」「道徳の理論・指導法（初等)」「教育方法・技術論（初等)」

③中学校教諭一種免許状（社会）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須科目８科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「歴史概説Ⅰ」「歴史概説Ⅱ」「地理概説Ⅰ」「法学Ⅰ」の４科目修得必須。 「社会学」「経済学」のいずれか１科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか１科目 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より 「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の２科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修６科目を修得していること。 「教育原理（中等)」「教職概論（中等)」「特別の支援を必要とする生徒の理解」

	「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

④中学校教諭一種免許状（保健体育）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計１１科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（選択必須科目含む）９科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の２科目
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修６科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑤中学校教諭一種免許状（英語）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須９科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」・「英語学概論Ⅱ」・「英語文学論（Ⅰ）」・「英語文学講読（Ⅰ）」 「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」「異文化理解」 の７科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の２科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修６科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑥高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須１０科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「日本史Ⅰ」・「日本史Ⅱ」・「外国史Ⅰ」・「外国史Ⅱ」「人文地理学」「自

	然地理学」「地誌概論」「地誌」の８科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より 「地理歴史科指導法Ⅰ」「地理歴史科指導法Ⅱ」の２科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須５科目を修得していること。 「教育原理（中等)」「教職概論（中等)」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等)」「教育方法・技術論（中等)」

⑦高等学校教諭一種免許状（公民）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須６科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「法学Ⅰ」「国際法」２科目必須。 「社会学」「経済学」のいずれか１科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか１科目 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より 「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の２科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須５科目を修得していること。 「教育原理（中等)」「教職概論（中等)」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等)」「教育方法・技術論（中等)」

⑧高等学校教諭一種免許状（保健体育）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計１１科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（選択必須科目含む）９科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より 「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の２科目
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須５科目を修得していること。 「教育原理（中等)」「教職概論（中等)」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等)」「教育方法・技術論（中等)」

⑨高等学校教諭一種免許状（英語）

６６条の６に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の４区分のうち、３区分（６単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須９科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」「英語学概論Ⅱ」「英語文学論（１)」「英語文学講読（１)」

	「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」「異文化理解」の７科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)】より「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の２科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須５科目を修得していること。 「教育原理（中等)」「教職概論（中等)」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等)」「教育方法・技術論（中等)」

⑩特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

次の科目を含めて、必修科目を７科目以上修得していること。
・「特別支援教育論」　・「知的障害教育総論」　・「肢体不自由教育総論」　・「病弱教育総論」
・「発達障害概論」

３．特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）取得のための教育実習について

①基礎となる教員免許状を教育実習実施年度内に取得見込み、もしくは取得済みの場合のみ履修することができる。

②基礎となる教員免許の教育実習と同年度に履修する場合、その教育実習は基礎となる教員免許状の教育実習を先に行うこと。

（教育実践演習の要件）

第６条 「教職実践演習」を履修するためには、免許状取得に必要な単位を修得もしくは修得見込みでなければならない。

（教職課程登録申し込み）

第７条 本課程を履修しようとする者は、定められた期日までに「教職課程登録申込書」を教職総合支援センターに提出しなければならない。

（費用）

第８条 前条の届出をした者は定められた期日までに「教職課程登録費」および「教育実習管理費」を納入しなければならない。ただし、一旦納入した教職課程登録費用については、原則返金しない。

項　目	金額	備　考
教職課程登録費	１０,０００円	教職課程を履修する者
教育実習管理費（幼・小免）	５０,０００円	「教育実習（初等）（１）」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費（幼・小免）	５０,０００円	「教育実習（初等）（２）」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者

教育実習管理費（中・高免）	５０,０００円	「教育実習（中等）Ⅰ（Ⅰ）」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費（中・高免）	５０,０００円	「教育実習（中等）Ⅰ（２）」「教育実習（中等）Ⅱ」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状取得を希望する者
教育実習管理費（特支免）	５０,０００円	「教育実習（特別支援）」を履修する者で、特別支援学校免許状の取得を希望する者

（有効期間）

第８条の２　教職課程登録の有効期間について、教育実習を伴う登録は教職実践演習、もしくは教育実習終了の年度末までとし、登録のみの場合は３年とする。

（改廃）

第９条　この規程の改廃は、別に定める規程管理規程による。

附則

この規程は、２００６（平成１８）年４月１日から施行する。

平成２１.４.１　平成２９.４.１
平成２２.４.１　平成３０.４.１
平成２３.４.１　平成３１.４.１
平成２５.４.１　令和２.４.１
平成２６.４.１　令和３.４.１
平成２７.４.１　令和３.９.３０
平成２８.４.１　令和５.４.１

資料 1-1-2

19・20 カリキュラム

星槎大学 教職課程履修の手引

—2021 年度版—

SEISA 星槎大学

【教職課程の履修にあたっての留意点】

◆教職課程の履修にあたって、**『星槎大学　教職課程履修の手引』を熟読してください。**なお、**最新の年度の手引**をご使用ください。

◆教職に関する最新かつ重要な情報は**学生ポータルサイトの「教職課程登録者用ページ」**にてお知らせします。**必ず定期的に該当ページを確認**してください。

星槎大学・大学院「教員養成の理念」

星槎大学共生科学部における教員養成の理念は以下のとおりである。

【星槎大学共生科学部　教員養成の理念】
星槎大学共生科学部共生科学科は、人と人と、あるいは人と自然とが共生する社会の創造に貢献　することを目的とした「共生」という建学の精神をふまえ、21 世紀に適応する広い知力の育成、　　心の耕作、課題探求能力育成を主要な柱として、それを教育理念としている。
その人材養成目標は、次代へと続く共生社会に寄与する人材の輩出にある。
共生社会の創造に貢献するために、子どもたちへ本学で学修したことを伝えていくことができる　人材を輩出することが、本学における教員養成の理念である。

この理念をふまえ、星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻における教員養成の理念は以下のとおりである。

【星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻　教員養成の理念】
星槎大学大学院「教育学研究科教育学専攻」は、建学の精神に則り、教育の高度な学術研究を通じて、教育の各分野・領域に内在する次世代に繋ぐ教育の深奥な専門的知識・技能を培い、その卓越した能力を発揮することにより、教育における課題解決をもって共生社会の進展に貢献できる人材を養成していくことを目的とする。
また、すでに社会人経験等がある者に対して、本学教育学研究科教育学専攻で学ぶことにより、その社会人経験等を教育の現場に活かすことができる教員の養成を実現することを構想している。

また同様に、星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻における教員養成の理念は以下のとおりである。

【星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻　教員養成の理念】
星槎大学大学院「教育実践研究科教育実践専攻」では、広義の教員として、小・中・高の学校教員ならびに専門学校等の現職教員の資質・能力向上と、教員を目指す社会人の教育力の向上を目指すこととし、教員養成の理念としている。
養成する教員像としては、「教育の現場において起こる諸課題を適確に理解して対応でき、また学修者の特性を理解した上での適切な指導ができる教員」を挙げており、特に学校教員においては「教科指導力を持ちキャリア教育や学校特有の問題に対応できる能力を持った教員」を想定している。

星槎大学・大学院「教職課程の設置の趣旨」

星槎大学共生科学部における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

【星槎大学共生科学部　教職課程の設置の趣旨】
星槎大学は、「建学の精神」「教育理念」を「教員養成に対する理念」の基礎としている。
本学が教職課程を設置する趣旨は、それらを具現化することにある。具体的には、以下のような　　教員を養成することにある。
（１）21 世紀の変化に応じた知識・技能の絶えざる刷新を指向する教員の養成
（２）共生する心を耕作することのできる教員の養成
（３）課題探求能力をもった教員の養成
（４）発達障害児等を指導する能力をもった教員の養成
また、本学校法人の建学の精神である「社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる」ということと、教育理念である「必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現を目指し、それを成し遂げる」というものは、本学設置の大元にあるものであり、全ての教育活動に共通するものである。

この設置の趣旨をふまえ、星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

【星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻】

教育学研究科教育学専攻では、共生科学部の教職課程の設置の趣旨を基礎として、学校教育（小学校、特別支援学校）において十分貢献できる次のような教員を養成する。

「小学校教育（小学校教諭専修免許）」

（１）高度な授業実践力を備えた中堅教員の養成
（２）「特別な教育的ニーズ」をもつ児童に対応する専門的力量を備えた教員の養成
（３）学校現場が抱える諸課題を解決できる高度な実践力を備えた指導的役割を果たす教員の養成
（４）社会人経験等を教育の現場に活かすことができる教員の養成

「特別支援学校教育（特別支援学校教諭専修免許）」

（１）子どもの一人一人の教育的ニーズを把握し適切な教育的支援を行える教員の養成
（２）地域社会や住民との連携・協力を行いながら専門的力量を備えた教員の養成
（３）学校教育を巡る複雑で多様な課題に柔軟に対応できる実践力を備えた教員の養成

また同様に、星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻における教職課程の設置の趣旨は以下のとおりである。

【星槎大学大学院教育実践研究科教育実践専攻　教職課程の設置の趣旨】

教育実践研究科教育実践専攻では、共生科学部の教職課程の設置の趣旨を基礎として、学校教育（小学校、中学校、高等学校）において十分貢献できる次のような教員を養成する。

教員に求められる能力として、第一は教員という専門職として生きる上での「専門職性」であり、第二は教員としての現代社会の理解、すなわち教育課題の把握と理解とその課題への対応能力であり、第三は本研究科が主眼とするインストラクションの能力の３つの能力が重要であると考えている。

第一に専門職性の観点では、専門職として倫理規範をもち、職能開発を続けていけることが重要となる。

第二に教育課題の理解の点では、5 つの観点がある。それは、①アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、②ICT を用いた指導法、③道徳教育の充実、④外国語教育の充実、⑤特別支援教育の充実である。

第三にインストラクションの観点では、授業の設計・実行・評価、あるいはファシリテーションなどの展開技術といったすべての教員に必要な部分である。

以上の３点を踏まえて、養成しようとする教員像は次の通りである。

①教育の諸課題を適確に理解して対応できる教員
②学習者の特性を理解しつつ、自身の専門領域で確固たる指導力を持つ教員
③キャリア教育や学校特有の問題に対応できる能力を持った教員

教職課程登録費用について

「教職課程登録費」及び「教育実習費」については、星槎大学教職課程履修規程第８条により下表のとおり定められている。納入期日については、「教職課程登録費」は教職課程登録時に、「教育実習費」は教育実習年度４月以降の請求時となる。

※なお、大学院が開設する教職課程においては「教職課程登録費」は発生しない。

（表）

項　目	金額	備　考
教職課程登録費	10,000円	教職課程を履修する者（教育実習を伴わない場合を含む）
教育実習費	50,000円	教育実習費は全校種一律

※「教職課程登録申込書」の提出をした者は定められた期日までに「教職課程登録費」を納入しなければならない。一旦納入した教職課程登録費用については、返金しない（星槎大学教職課程履修規程第８条より）。

※教育実習科目の学費とは別に、「教育実習費」の納入が必要である（給食費は教育実習費に含まれない）。

※初等教育専攻の「教職課程登録費」は、専攻登録料としての納入となる。

目　次

第１章　本学で取得できる教育職員免許状の種類・教科　……　7

１　本学学部で取得できる教員免許状

２　本学大学院で取得できる教員免許状

３　教員免許状の取得方法

第２章　専攻別　教職課程科目履修について　……　9

１　初等教育専攻学生の教職課程科目履修

１）小学校教諭１種免許状の取得について

２）幼稚園教諭１種免許状の取得について

３）初等教育専攻学生の教育実習履修要件

２　共生科学専攻学生の教職課程科目履修

１）中学校教諭１種免許状（社会）の取得について

２）高等学校教諭１種免許状（地理歴史）の取得について

３）高等学校教諭１種免許状（公民）の取得について

４）特別支援学校教諭１種免許状
（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）の取得について

５）共生科学専攻学生の教育実習履修要件

３　スポーツ身体表現専攻学生の教職課程科目履修

１）中学校教諭１種免許状（保健体育）の取得について

２）高等学校教諭１種免許状（保健体育）の取得について

３）スポーツ身体表現専攻学生の教育実習履修要件

４　グローカルコミュニケーション専攻学生の教職課程科目履修

１）中学校教諭１種免許状（英語）の取得について

２）高等学校教諭１種免許状（英語）の取得について

３）グローカルコミュニケーション専攻学生の教育実習履修要件

第３章　教員免許状取得までの流れ　……　45

第４章　教職ガイダンスと教育実習内諾活動事前面接について　…　47

１　教職ガイダンス

２　教育実習内諾活動事前面接について

第５章　介護等の体験（小学校・中学校免許状取得希望者のみ）　…　48
1　介護等の体験 趣旨
2　介護等の体験 概要
3　介護等の体験 留意事項
4　介護等の体験 実施依頼に際して
5　介護等の体験終了「証明書」について
6　その他の注意事項
7　介護等の体験 実施申請から体験終了までの流れ
8　大学の介護等の体験お問い合わせ窓口

第６章　教育実習内諾活動の注意点　……　51

第７章　教育実習　……　53
1　教職課程登録から教育実習終了までの書類の流れ
2　教育実習の意義
3　教育実習の目的
4　教育実習の内容
5　履修資格
6　教育実習校の選定
7　教育実習科目の登録について
8　実習期間
9　教育実習事前オリエンテーション
10　教育実習における心得

第８章　教職実践演習と履修カルテ　……　58
1　教職実践演習について
2　履修カルテについて
3　「教職実践演習」スクーリング受講要件について
4　「教職課程履修カルテ」記入見本

第９章　教員採用試験に関して　……　64
1　公立学校への就職
2　私立学校への就職
3　大学における教員採用試験対策講座について

第１０章　教員免許状申請と既修得科目の単位認定について　……　65
1　個人申請
2　一括申請
3　既修得科目の単位認定について〈正科生かつ編入生のみ対象〉
4　教員免許状に関する証明書の発行について

第１１章　大学院（修士課程・専門職修士課程）
学生の教職課程科目履修…… 68

【各種様式】 70
・介護等体験　実施申請書
・教職課程履修計画書
・他大学での修得科目　認定申請書〈正科生かつ編入生のみ対象〉

※科目案内中の科目名「Ⅰ」「Ⅱ」は履修の順番を示す。「Ⅰ」を履修しないと「Ⅱ」は履修することはできない（同時履修可能）。

資料 1-1-3

教員用要項

2021 年度春期　星槎大学　4 月　教職ガイダンス実施要領 Zoom 版（最終版）

担当：丸本・堀川・酒井

【目　的】 次のことを説明し、理解してもらう。

＜教職課程ガイダンス＞

1. 星槎大学の「教員養成の理念」を理解し、教職に就くことの責任を自覚する。
2. 教職課程における履修から教員免許申請までの流れについて、その概要を理解する。
3. 在学中の学習計画を立て、学習上の努力と自己研鑽を積む心構えをする。

＜教育実習内諾活動ガイダンス＞

1. 教育実習の意義と実習依頼時の心構え、マナーを確認する。
2. 教育実習実施に関する申請書、履修要件等内諾を得るまでの流れを理解する。

＜教育実習ガイダンス＞

1. 教育実習の目的を考え確認する。
2. 教育実習の心構えを理解する。
3. 教育実習中の諸注意を考え確認する。

【日　時】

A 日程：　2021 年 4 月 25 日（日）

① **教職ガイダンス　1 部、2 部、3 部（10:00～11:40、13:00～14:45）**　※教職員事前打ち合わせ：9:15～9:30

② **内諾活動事前面接（15:00～17:00）**　※教職員事前打ち合わせ：14:15～14:30

※1 人 10 分（面接 8 分＋評価票入力 2 分間）、予約制（時間帯での申込）。10 分ごとに新たな面接者を案内

※面接ごとに評価票に所見記入（Web フォーム）（全面接終了後にまとめて Web フォームに入力することも可）

区分	ガイダンス名	時間	発信 事務局	対象者
第 1 部	教職課程ガイダンス	10:00～11:40	302	教職課程登録をした全学生
第 2 部	内諾活動ガイダンス	13:00～13:45	302	2022 年度教育実習のために内諾活動を行う学生
第 3 部	教育実習ガイダンス	14:00～14:45	302	2021 年度教育実習を行う予定の学生

※2021 年度実習を予定していない学生は 11:40 で退出。

※介護等体験ガイダンスについては配信で各自視聴。

【出席方法（学生・教員）】

Zoom による自宅からの出席

【当日の流れ】

時　間	項　目	担　当	内　容
4 月 25 日（日）教職ガイダンス			
9:00	接続テスト（学生）	事務局員	音声映像確認。希望学生のみ
9:15～	教員（Zoom 参加）	手島先生	教職員事前打ち合わせ
10:00	開講アナウンス	丸本先生	司会・進行。第1部流れアナウンス
10:02～ 10:05	第1部 挨拶～教員免許を取得するには	手島先生	・ 教職を目指すことについて ・ 星槎大学の「教員養成の理念」について
10:05～ 10:20	教職課程における履修から教員免許申請までの流れについて ※概要、注意事項	事務局員 （ 酒井 ） ※持参する手引が異なるのでページ案内注意	・本学で取得可能な専攻ごとの免許状について ・教員免許取得までのスケジュール ・ 学習計画について…必修科目の確認、履修相談、履修の順番等、計画の立て方 ・ 教育実習履修要件について（校種ごとの教育実習履修要件の確認、英語の語学力の注意喚起について触れる） ・ 実習までの流れについて ・ 教職実践演習、履修カルテ、自己評価について ・ 教職実践演習 ・ 教員免許申請について ・ その他
10:20～ 11:10	グループディスカッション	各運営委員	グループディスカッション ディスカッションテーマ：「私が教師を目指した理由」 ※学生 10 名で 1 グループの予定（当日の出席人数により異なる）。運営委員の先生は一人 2 グループほど担当し、適宜助言する。
11:10～ 11:35	発表	丸本先生	各グループの代表者がディスカッションの内容を発表 ※発表時間は 1 グループ 1 分程度
11:35～ 11:38	まとめ	丸本先生	第一部ガイダンス、グループディスカッションの振り返り
11:38～ 11:40	アンケートの案内/散会	事務局員	Web フォームからのアンケート提出の案内／休憩 次年度の実習予定でない学生はここで退出
13:00～ 13:02	開講アナウンス	堀川先生	司会・進行。第2部の流れアナウンス
13:02～ 13:10	第2部開始 挨拶～内諾活動について	手島先生	・星槎大学の教職課程について ・内諾活動ガイダンス実施の意義について ・星槎大学の学生として教育実習を実施することの意味
13:10～ 13:30	内諾活動の基本事項と注意点	事務局員 （ 椎橋 ）	・内諾活動を行う条件…教育実習履修要件（学習状況、学習計画について）

	（事務局）		・内諾活動を行うための書類について…教育実習実施申請（Web）、履修計画書（Web）⇒内諾に関する書類について、内諾活動事前課題について ・内諾を取り付ける上での基本的な姿勢について…連絡のとり方、 訪問時のマナー（服装等）、時期、日程期間の決め方等、複数校 からの内諾取得禁止 ・教育委員会、校長会を通して実習校が配当される場合、承認書の提出が必要な場合（※横浜市など申請が早い自治体があることを告知） ・内諾を取り付けられたことが意味することについて…公文書での やりとりであることの意味、キャンセル防止 ・内諾を得られた後の流れについて、提出書類の期限厳守 ・不明な点や変更等があれば速やかに大学へ報告をする ・実習の手引き等　配布物は必ず目を通す ・教職実践演習、履修カルテ、自己評価表について
13:30～ 13:40	質疑応答	事務局員 担当教員	
13:40～ 13:45	アンケートの案内／散会	事務局員	Web フォームからのアンケート提出の案内／休憩
14:00～ 14:02	開講アナウンス	堀川先生	司会・進行。第 3 部の流れアナウンス
14:03～ 14:10	第 3 部 挨拶～教員になるということ	手島先生	・教員になるということについて ・教育実習の目的について ・教育実習の心構えについて ・星槎大学の学生として教育実習を実施することの意味
14:10～ 14:25	①教育実習実施にあたっての注意事項等 （事務局）	事務局 （ 平林 ） ※ゲスト： 丸本先生	（教育実習のしおりを中心に説明） ・教育実習履修要件の確認（修得状況の確認と免許申請までの学 習計画について ・大学から学生に送付する書類についての説明 ・健康診断書の受診について（受診必須） ・感染症（新型コロナウイルス感染症含む）対策 ・実習先でのオリエンテーションについて ・実習中の諸注意について ・教育実習日誌の記載について

			・個別指導体制に関して（指導のあり方、指導を受けるにあたってのマナーや心構え、必要に応じて巡回指導にも触れる） ・実習終了後の書類送付の流れについて（レターパック） ・教職実践演習、履修カルテ、自己評価について （※ゲストスピーカー：丸本先生）
14：25～ 14：35	②免許申請について	事務局 （ 平林 ）	・個人申請対象学生と申請までの流れについて ・一括申請対象学生と申請までの流れについて ・申請時期と単位認定時期に関して ・申請年度の学習計画について
14：35～ 14：40	質疑応答	事務局員 担当教員	
14：40～ 14：45	アンケートの案内／散会	事務局員	Web フォームからのアンケート提出の案内／休憩
4 月 25 日（日）内諾活動事前面接			
14：15～ 14：30	教員（Zoom 参加）	担当教員 （全校種）	教職員事前打ち合わせ
15：00～ 17：00	面接	担当教員 （全校種）	面接 ※1 人10分 （面接 8 分＋評価票入力 2 分） ※面接ごとに評価票に所見記入（Web フォーム）（全面接終了後にまとめて Web フォームに入力することも可）
終了後	面接の所見提出	担当教員 （全校種）	教職総合支援センターに提出（Web フォーム） ※提出期限：当日中

以上

資料 2-1-7

2021 年度　教職ガイダンス　参加者数、アンケート結果

2021 年 6 月 9 日
集計担当者：酒井

2021 年 4 月 25 日実施
教職ガイダンス　アンケート集計結果（報告書）

【4 月 25 日実施　教職ガイダンス】

2021 年 4 月 25 日（日）に実施された教職ガイダンスのアンケートについて、数値の結果を以下にご報告いたします。

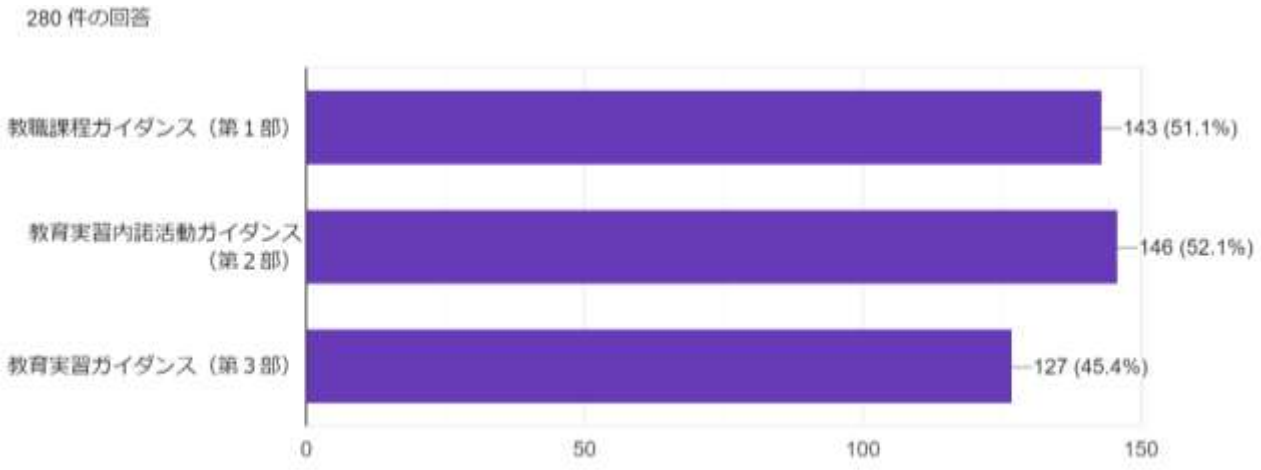
1. 出席者数

第 1 部 教職課程ガイダンス	第 2 部 内諾活動ガイダンス	第 3 部 教育実習ガイダンス	内諾活動事前面接
209（※）	216（※）	206（※）	179

（注）「※」の数値は暫定値

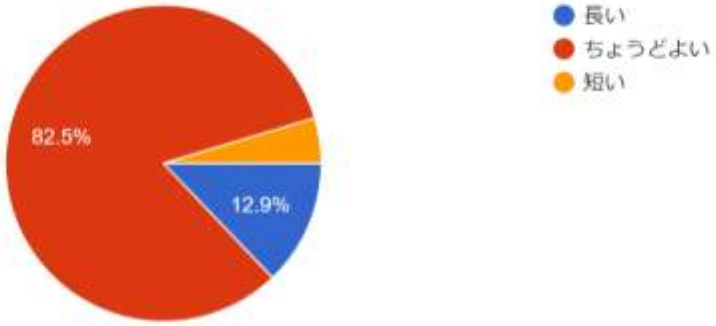
2. アンケート有効回答数について
　合計　280 名

3. 問 1：参加されたガイダンスにチェックしてください。



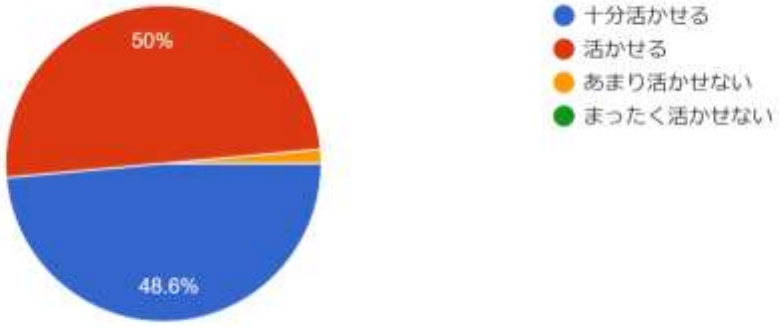
4. 問２：ガイダンスの時間はどうでしたか？

280 件の回答



5. 問３：本日の内容は今後に生かせそうですか？

280 件の回答



2021 年 6 月 9 日
集計担当者：酒井

2021 年 5 月 22 日実施
教職ガイダンス　アンケート集計結果（報告書）

【5 月 22 日実施　教職ガイダンス】

2021 年 5 月 22 日（土）に実施された教職ガイダンスのアンケートについて、数値の結果を以下にご報告いたします。

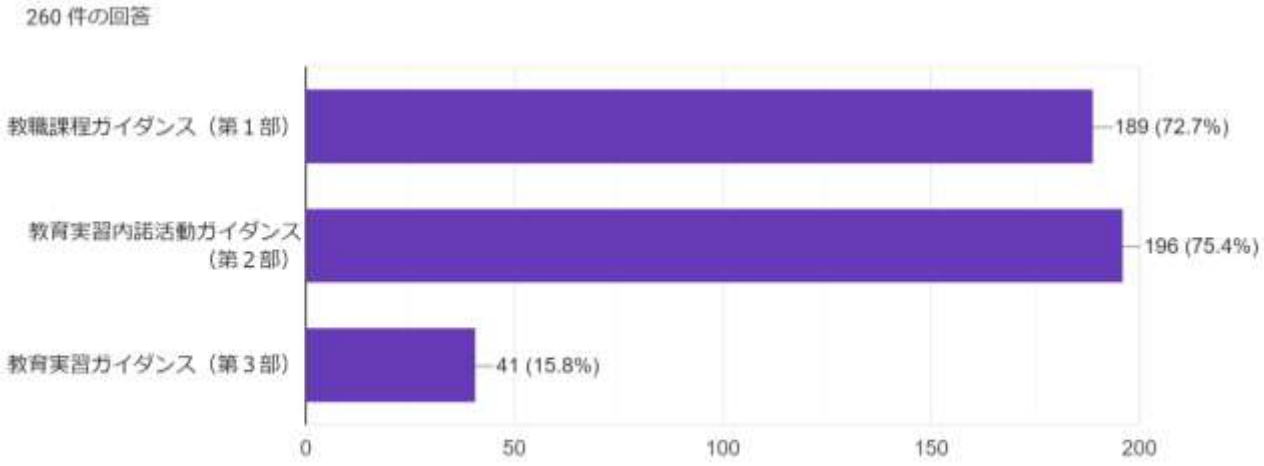
1. 出席者数

第 1 部 教職課程ガイダンス	第 2 部 内諾活動ガイダンス	第 3 部 教育実習ガイダンス	内諾活動事前面接
235（※）	254（※）	110（※）	236

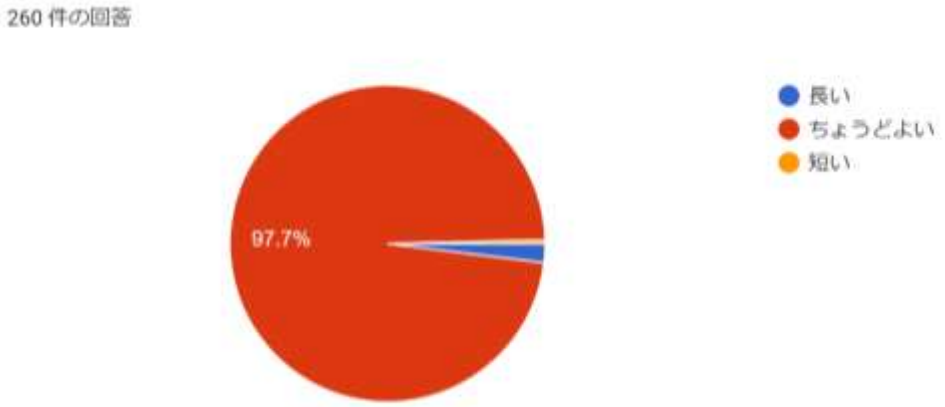
（注）「※」の数値は暫定値

2. アンケート有効回答数について
合計　260 名

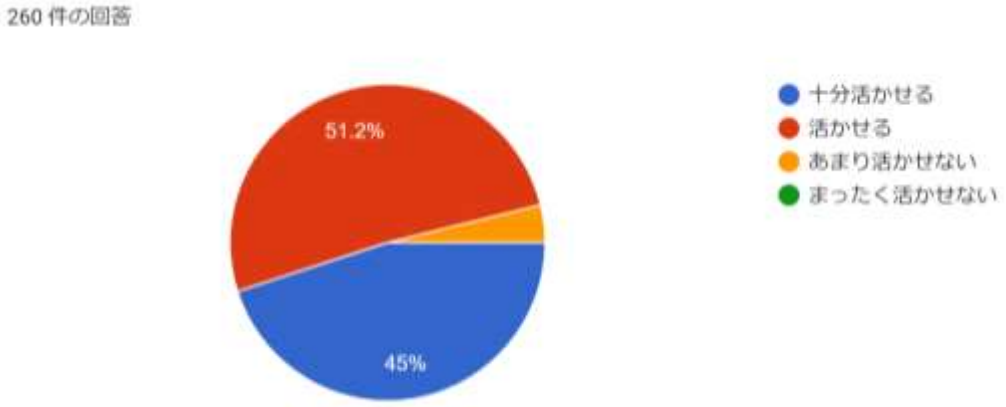
3. 問 1：参加されたガイダンスにチェックしてください。



4. 問２：ガイダンスの時間はどうでしたか？



5. 問３：本日の内容は今後に生かせそうですか？



2021 年 10 月 31 日
集計担当者：酒井

教職課程ガイダンス（2021 年 10 月実施）
アンケート集計結果（報告書）

2021 年 10 月に実施された教職課程ガイダンス（教育的事項・事務的事項）のアンケートについて、数値の結果を以下にご報告いたします。

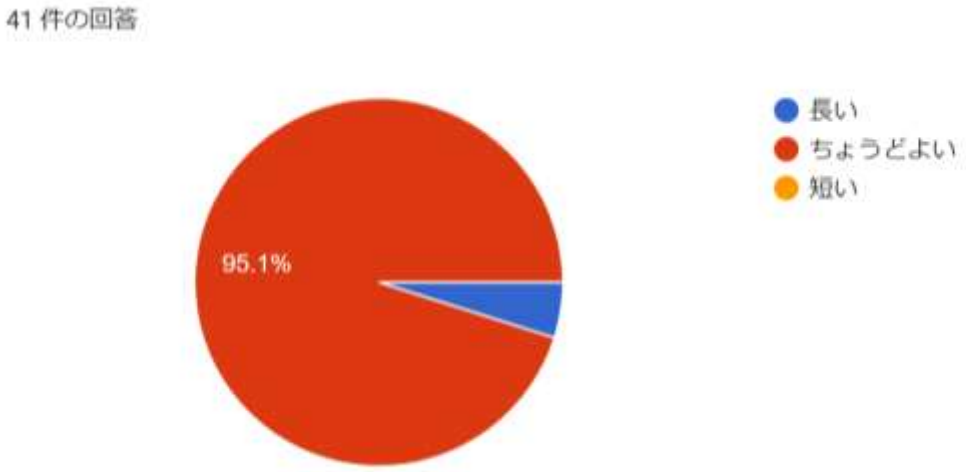
1. 出席者数

教職課程ガイダンス（教育的事項・事務的事項）
51（※）

（注）「※」の数値は暫定値

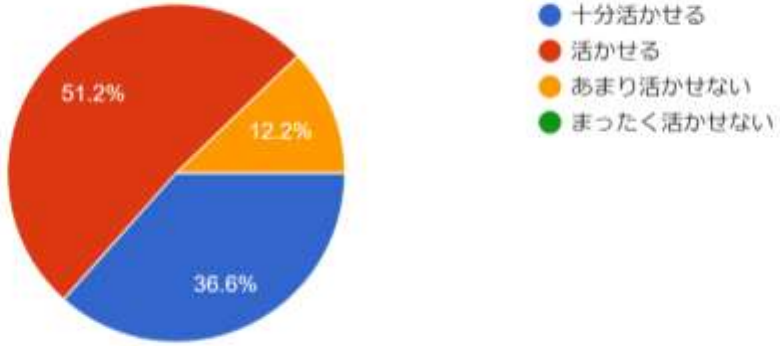
2. アンケート有効回答数について
合計　41 名

3. 「教職課程ガイダンス（事務的事項)」（オンデマンド方式）の時間はどうでしたか？



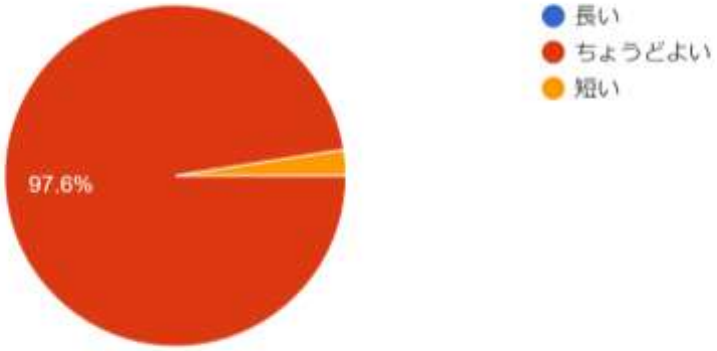
4. 「教職課程ガイダンス（事務的事項)」(オンデマンド方式）の内容は今後に生かせそうですか？

41 件の回答



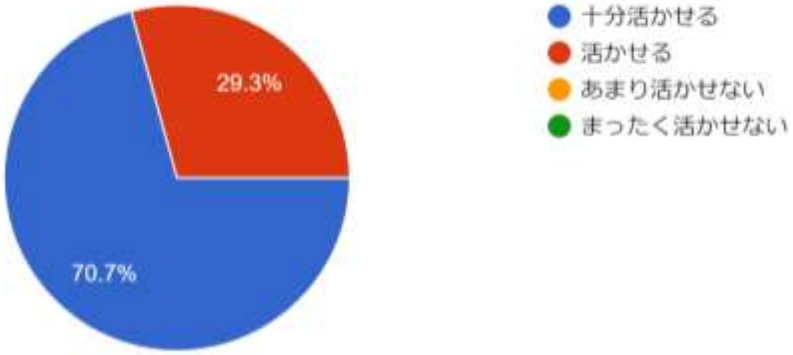
5. 「教職課程ガイダンス（教育的事項)」(Web ライブ方式）の時間はどうでしたか？

41 件の回答



6. 「教職課程ガイダンス（教育的事項)」(Web ライブ方式）の内容は今後に生かせそうですか？

41 件の回答



資料2-1-8

①教職課程履修カルテ

小学校1種免許状	学籍番号	19〇〇〇〇〇〇	氏名	星槎　花子	科目等履修生　又は　〇〇〇〇	専攻

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教科に関する専門的事項	（例）〇〇〇〇〇	2	2018	〇〇　××	A	（ **記入見本** ）　学修指導要領の内容や学修指導案の書き方を理解できた。	（ **記入見本** ）学修内容は理解できたが深い教材探求に裏付けられたものでになっていなかったので今後さらなる学修が必要である。
	教科（国語）						
	教科（社会）						
	教科（算数）						
	教科（理科 ）						
	教科（生活）						
	教科（音楽）						
	教科（図画工作）						
	教科（家庭）						
	教科（体育）						
	教科（外国語）						

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	初等教科教育法（国語）						
	初等教科教育法（社会）						
	初等教科教育法（算数）						
	初等教科教育法（理科）						
	初等教科教育法（生活）						
	初等教科教育法（音楽）						
	初等教科教育法（図画工作）						
	初等教科教育法（家庭）						
	初等教科教育法（体育）						
	初等教科教育法（外国語）						
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理（初等）						
	教職概論（初等）						
	教育経営・学校安全論（初等）						

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学(初等)						
	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解						
	教育課程論(初等)						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論・指導法(初等)						
	総合的な学習の時間の指導法(初等)						
	特別活動の指導法(初等)						
	教育方法・技術論(初等)						
	生徒・進路指導論(初等)						
	教育相談(初等)						
教育実践に関する科目	教育実習(初等)(1) または 教育実習(初等)(2)						

介護等体験について

学校ボランティアについて

・このカルテは4年次に履修する「教職実践演習」において参考資料の一つとして使用すると共に今までの学修状況の振り返りとなります。
・3月または9月の単位認定毎に記入してください。
・4年の「教職実践演習」受講年度の単位認定前の科目に関しては記入時点での振り返りを記入して空欄が無いようにしてください。
・他大学で修得された科目につきましては、それぞれの大学指定の「教職課程履修カルテ」をご提出ください。準備ができない場合は教職総合支援セン　ターまでご相談ください
・介護等体験・学校ボランティアは実施された場合のみ記入ください。

＜履修カルテ②＞（自己評価）（　　）専攻　学籍番号（　　）氏名（　　）　※19・20カリキュラム、13・14カリキュラム共通の様式です。

＜活用方法＞
①「5段階自己評定」欄は、「事前指導後」「教育実習後」それぞれの時期において、各指標について自分の現在の状態を5段階（5－そうである　4－ややそうである　3－どちらでもない　2－やや不足している　1－不足している）で評価する。
②「自己の課題」欄は各指標について教育実習を通して自分自身が感じた課題について具体的に記入する。

項目	指標	5段階自己評定		自己の課題（教育実習後に自己の課題を記載する）
		事前指導後	教育実習後	
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している。			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している。			
授業実践に関する力量	授業あるいは模擬授業、プレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている。			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、共に成長する存在となることを目指している。			
子どもとのかかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に子どもと触れ合う機会を持とうとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている。			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる。			

資料2-1-8

①教職課程履修カルテ

小学校1種免許状	学籍番号	19〇〇〇〇〇〇	氏名	星槎　花子	科目等履修生　又は　〇〇〇〇	専攻

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教科に関する専門的事項	（例）〇〇〇〇〇	2	2018	〇〇　××	A	（ **記入見本** ）　学修指導要領の内容や学修指導案の書き方を理解できた。	（ **記入見本** ）学修内容は理解できたが深い教材探求に裏付けられたものでになっていなかったので今後さらなる学修が必要である。
	教科（国語）						
	教科（社会）						
	教科（算数）						
	教科（理科 ）						
	教科（生活）						
	教科（音楽）						
	教科（図画工作）						
	教科（家庭）						
	教科（体育）						
	教科（外国語）						

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	初等教科教育法（国語）						
	初等教科教育法（社会）						
	初等教科教育法（算数）						
	初等教科教育法（理科）						
	初等教科教育法（生活）						
	初等教科教育法（音楽）						
	初等教科教育法（図画工作）						
	初等教科教育法（家庭）						
	初等教科教育法（体育）						
	初等教科教育法（外国語）						
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理（初等）						
	教職概論（初等）						
	教育経営・学校安全論（初等）						

区分	科目名	単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学(初等)						
	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解						
	教育課程論(初等)						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論・指導法(初等)						
	総合的な学習の時間の指導法(初等)						
	特別活動の指導法(初等)						
	教育方法・技術論(初等)						
	生徒・進路指導論(初等)						
	教育相談(初等)						
教育実践に関する科目	教育実習(初等)(1) または 教育実習(初等)(2)						

介護等体験について

学校ボランティアについて

・このカルテは4年次に履修する「教職実践演習」において参考資料の一つとして使用すると共に今までの学修状況の振り返りとなります。
・3月または9月の単位認定毎に記入してください。
・4年の「教職実践演習」受講年度の単位認定前の科目に関しては記入時点での振り返りを記入して空欄が無いようにしてください。
・他大学で修得された科目につきましては、それぞれの大学指定の「教職課程履修カルテ」をご提出ください。準備ができない場合は教職総合支援セン　ターまでご相談ください
・介護等体験・学校ボランティアは実施された場合のみ記入ください。

＜履修カルテ②＞（自己評価）（　　）専攻　学籍番号（　　）氏名（　　）　※19・20カリキュラム、13・14カリキュラム共通の様式です。

＜活用方法＞
①「5段階自己評定」欄は、「事前指導後」「教育実習後」それぞれの時期において、各指標について自分の現在の状態を5段階（5－そうである　4－ややそうである　3－どちらでもない　2－やや不足している　1－不足している）で評価する。
②「自己の課題」欄は各指標について教育実習を通して自分自身が感じた課題について具体的に記入する。

項目	指標	5段階自己評定		自己の課題（教育実習後に自己の課題を記載する）
		事前指導後	教育実習後	
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している。			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している。			
授業実践に関する力量	授業あるいは模擬授業、プレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている。			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、共に成長する存在となることを目指している。			
子どもとのかかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に子どもと触れ合う機会を持とうとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている。			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる。			

資料 2-2-2

「2021 年度 教員採用試験対策講座」実施要項

【学生用】

2021.4.8

2021 年度　「春の教員採用試験対策講座」実施要項

1　期　日　　2021 年 4 月 24 日（土）　10：00～17：00

2　目　的　本講座は、教員採用試験を受験する学生が、受験の心構え・勉強法・知識・技能等を学び、合格するために必要な力を身に付けることを目的とする。特に春講座は、直前の教員採用試験に向けての具体的な対策を重点的に展開する。

3　会　場　　自宅受講（ZOOM での受講）※会場での実施なし。

4　対象学生　　教職課程登録者。本年度（2021 年度）採用試験受験予定者（卒業生を含む）ほか、次年度以降の受験予定者も受講可。**先着 30 名**

5　指導教員　　教職総合支援センター教員

6　参加費　　5000 円 ※受講前に払い込みが必要。

7　内　容　　「教員採用試験の最新情報」「教育の情報化について」「論作文のポイント」「面接のポイント」「場面指導のポイントと演習」「合格者の体験談」等
（「模擬授業」等も必要があれば行う予定である。）

8　講座の内容と時程

時　間	項　目	担　当	内　　容
9:30	受講生 接続テスト		※入室時、名前の欄に「受験する校種（初等 or 中等 or 特支）・氏名・学籍番号」を入力し、出席すること。
9：50	受講生入室		
10:00	スケジュール説明 注意点等	大和	・スケジュール説明 ・教員自己紹介
10:15	教職総合支援センター長より	手島	・挨拶 ・教職を目指すことについて

10:20	教員採用試験について	手島	・教員採用試験の最新情報(30 分)
10:50	各校種別情報 （各 10 分）	岩澤 斎藤 (憲) 高木	・特支の採用試験対策と留意点 ・初等の採用試験対策と留意点 ・中等の採用試験対策と留意点
11:20	休憩(10 分間)		
11:30	教育の情報化について	堀川	
12:00	論作文について	嶋田	・論作文を書く上での注意点とポイント ※演習は行わない
12:15	昼食・休憩		
13:15	個人面接について	坂田	・個人面接のポイントを指導
13:30	場面指導について	全員	・ブレイクアウトセッションで演習 6 グループに分けて演習をする（20 分） ・場面指導のポイントを指導(20 分)
14:10	休息（10 分）		
14:20	教員採用試験 合格者の体験談		・初等・中等・特支
14:50	合格者との座談会	全員	・教員採用試験合格者を囲んでのブレイクアウトセッション
15:20	休憩(10 分)		
15:30	各セッションで別れて対応 （模擬授業・個人面接・集団面接・その他相談等）	全員	・それぞれのグループにて指導 ブレイクアウトセッション （グループ等は事前課題の内容にて判断）
16:50	まとめ	手島	
17:00	閉会	司会	連絡事項 （アンケートは Google クラスルームのフォームにて入力すること。）

公開日：2021年6月18日
星槎大学教職総合支援センター

教員採用試験個別対策講座（2021年度）

2021年度に教員採用試験を受験する学生を対象に、7月～8月に個別対策講座を開催いたします。学生個人のニーズに合わせた対策となりますので、是非ご検討ください。

詳細や最新情報は、学生ポータルサイト（「教職課程登録者用ページ」⇒「教員採用試験対策講座」）をご覧ください。

【期　　日】申し込み開始2021年6月19日（土）～8月18日（水）
実施期間2021年7月1日（木）～8月31日（火）
※手続きの関係上、実施希望日はお申込日の2週間以上先の日程をお申し込みください。

【対 象 者】2021 年度教員採用試験を受験予定の教職課程登録者
（教職課程登録者は採用試験受験予定者でなくても受講可）

【実施方法】Web 会議アプリケーション（Zoom）
※当日のミーティングURL は申し込みフォームに入力いただいたメールアドレスにお送りいたします。
※会場での実施はございません。

【申込方法】学生ポータルサイトのお申込みフォーム
（「教職課程登録者用ページ」⇒教員採用試験対策講座）
※メール、お電話、FAX でのお申し込み不可

【内　　容】免許種別で、個人面接、模擬授業、場面指導、論作文を受講生のニーズに合わせて実施します。
≪特典≫Googleクラスルームにて、春の教員採用試験対策講座（4/24）の「録画の一部（オンデマンド視聴可能）、および資料」を提供いたします。
※クラスコードは、は申し込みフォームに入力いただいたメールアドレスに通知いたします。

【費　　用】1講座5000円
【実施時間】1講座につき、1時間
【問い合わせ先】
教職総合支援センターE-mail：kyosyoku@seisa.ac.jp TEL：045-979-0261

【学生用】

2021.10.4

2021年度　秋の教員採用試験対策「スタート講座」実施要項

1　期　日　　2021年10月17日（日）　10：00～17：00

2　目　的　本講座は、教員採用試験を受験する学生が、受験の心構え・勉強法・知識・技能等を学び、合格するために必要な力を身に付けることを目的とする。特に秋講座は、約10か月後の教員試験に向けて何を学修すべきかを重点にして展開する。

3　会　場　　自宅受講（ZOOMでの受講）※会場での実施なし。

4　対象学生　　教職課程登録者。次年度（2022年度）採用試験受験予定者（卒業生を含む）ほか、次年度以降の受験予定者も受講可。**先着30名**

5　指導教員　　教職総合支援センター教員

6　参加費　　5000円 ※受講日の３日前までに払い込みが必要。

7　内　容　　「教員採用試験の最新情報」「教育の情報化について」「グループディスカッション」「論作文のポイントと論作文演習（添削あり）」「面接のポイント」「合格者の体験談」等

8　講座の内容と時程

時　間	項　目	担　当	内　　容
9:30	受講生 接続テスト		※入室時、名前の欄に「受験する校種（初等or中等or特支）・氏名・学籍番号」を入力し、出席すること。
9：50	受講生入室		
10:00	スケジュール説明 注意点等	大和	・スケジュール説明 ・教員自己紹介
10:15	教職総合支援センター長より	手島	・挨拶 ・教職を目指すことについて
10:30	教員採用試験 最新情報①	秋澤	・今年度の教員採用試験の情報
11:00	教員採用試験 最新情報②	高木	・今年度の教員採用試験の情報 ・学習計画と留意点も含む

11:30	休憩(10 分間)		
11:40	グループディスカッション	丸本	・テーマは当日に発表する
12:30	昼食・休憩		
13:30	論作文の基礎知識①	嶋田	・論作文を書く上での注意点とポイント
13:50	論作文の基礎知識②	手島	・補足
14:00	論作文演習	手島	・論作文を作成し、直接添削指導者にメールにて送る（締め切りは、翌日の 10/18 まで） 提出先メールアドレスは、当日告知する
14:50	休息（10 分）		
15:00	教員採用試験合格者の体験談		・初等・中等（保体、社会）・特支
15:30	休憩(10 分)		
15:40	合格者との座談会	全員	・教員採用試験合格者を囲んでのブレイクアウトセッション
16:30	補足とまとめ	手島 大和 高木 秋澤	
17:00	閉会	大和	連絡事項（アンケートは Google クラスルームのフォームにて入力すること。）

資料 2-2-3

星槎大学学生ポータルサイト「就職情報の提供」

資料 1-2-6

ISSN 2432-7697

星槎大学教職研究

第2巻第2号

星槎大学教職総合支援センター

「星槎大学教職研究」第７巻　目次

＜研究ノート＞

OECD Education2030 のラーニング・コンパスとこれからの教育課程
　－教育課程の視点から小学校教員養成課程の学習指導案作成について検討する－
北村克久　‥‥ 1

小学校教員養成課程の体育科指導法科目において直面する悩み
　－大学通信教育の社会人学生を対象に－　住本　純　‥‥ 9

歴史学習における主体性はどこにあるか　堀川　徹　‥‥17

通信教育課程における歴史科教員養成の課題と実践　堀川　徹　‥‥23

ブータンの情報化と伝統文化との共生
　－民俗音楽を手掛かりとして－　坂田映子　‥‥29

バスケットボールにおけるドリブルレイアップシュートの技術獲得に向けた段階的指導
髙木由起子　‥‥35

知的障害のある幼児児童生徒の個別最適な学びのあり方の検討
　－知的障害の心理・病理・生理の観点から－　伊藤一美　‥‥43

情報モラル教育の普及に資する教員研修に関する研究
　－「授業兼研修」教材「パスワード」の開発・実践と評価を通して－
関根達郎　‥‥51

新規採用教員の「教員として必要な資質・能力」の育成に関する研究
　－週案を活用した新規採用教員の気持ちの変容に着目して－
杉浦芳則　‥‥59

「学び続ける教員」を育成するために　―教員養成に着目して―
杉尾泰子　‥‥67

星槎大学教職総合支援センター2021 年度報告　‥‥75

「星槎大学教職研究」投稿規定・「星槎大学教職研究」執筆要領　‥‥77

編集後記　‥‥80